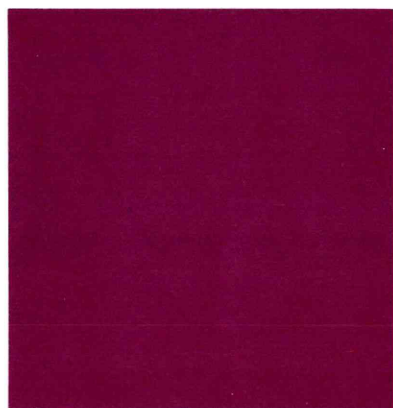
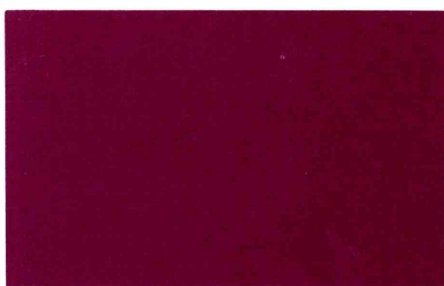
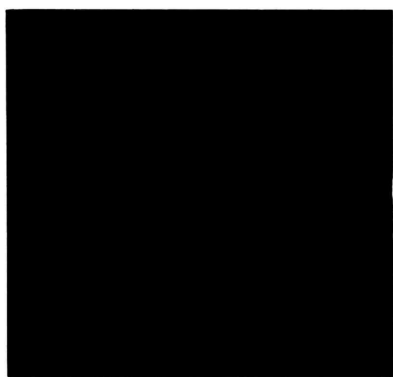


# 日本学校歯科医会会誌

昭和50年

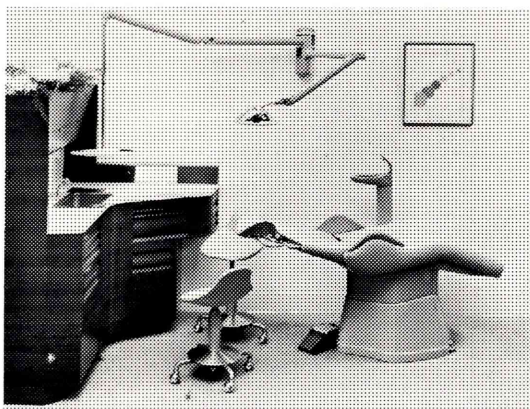


日本学校歯科医会

"Spaceline" CONCEPT

いよいよ 今年は……

世界が"スペースライン"システムによる診療  
に変わる時代を迎えました



株式会社

モリタ



# 日本学校歯科医学会誌

NO. 28

1975

もくじ

- 2 巻頭言 湯浅泰仁
- 3 加盟団体だより 岩手県・新潟県・名古屋市・滋賀県・大阪
- 10 学校の歯科活動
- 15 滋賀県における身障者施設の児童口腔審査結果から 小林恢・佐藤守・富永才助
- 19 むし歯のほくめつ 細井啓太
- 21 う蝕進行速度に対する一考察について 後藤宮治
- 22 学童期における初期う蝕とアマルガム充填 岡村新一郎
- 23 学校歯科医の責任と法解釈について 杉本茂春
- 25 学校歯科保健活動の新しい方向づけ 毛利彊
- 27 佐世保市立港小学校の洗口手洗場について 江崎清
- 30 昭和49年度へき地学校巡回診療終わる 栃原義人
- 49年度学校歯科保健講習会
- 32 学校保健の動向 倉地克次
- 33 学校保健法施行令等の一部改正と学校歯科保健 能美光房
- 38 学校における健康相談 山田茂
- 39 う蝕発生のメカニズムとその予防 丹羽輝男
- 41 ブラッシングの理論と実際 榊原悠紀田郎
- 42 学級指導における、効果的な歯科保健指導のすすめ方 内藤千成・羽毛田湊人
- 43 保健に関する行事として行なう歯に関する保健指導のすすめ方 平林ひさ子
- 45 歯科保健について問題をもつ児童の個別指導のすすめ方 尾崎末雄・茅野武代
- 47 歯科保健を効果的に進めるための協力体制のあり方、および進め方 本島章吉
- 50 整備された洗口場を有効に活用したブラッシング指導の進め方 梶川忠作
- 52 フッ化物イオン導入法を中心にしたう歯予防 石塚要次郎
- 54 本校における歯科保健の実践について 神代小学校
- 62 出席者からの質疑にこたえて
- 64 第15回よい歯の学校名簿

# 巻 頭 言

日本学校歯科医学会長

湯 浅 泰 仁

昭和50年の春を迎えて、みなさまとともに新年を寿ぐことを得ましたことは、御同慶のいたりです。さて先年来のインフレ傾向はいぜんとして止まず、産業的にも経済的にも動揺して、わが国の世相は深刻なものがあります。為政者も国民も互いに戒心していかねばなるまいと存じます。

医療界もまた重大な難局に立っております。医療の社会化は医療、医学の管理となり、学問の自由を阻害せんとする傾向が現われて参りました。元来医療というものは申すまでもなく医師と患者の人間関係によるものであるから、これをはばむがごとき制約は改善せねばなりません。私どもは医療担当者として、人間の生命、身体を扱う重要な責務を負っております。きびしい教育の関門と過程を経て医療の実践に寧日なき努力をつづけているのです。ことに私設医療機関の重要性を認識し、地域医療の理解に尽力してもらいたいものです。教育は決して知識と技術の売り買いではありません。医師と患者の人間関係こそ、大切な医療の姿勢であります。それでこそ社会にその存在価値と重要性を認識せしめる所以であろうと存じます。

今や地域社会への展望に立って、私どもの歯科保健対策は、国民の健康管理体制確立のため、社会福祉活動に一貫して、子どもらの心身両面における健康な成長のため、当面の諸問題について、幅広く地域ならびに関係の方がたと研究討議して、幾多難点の解決を見出そうとするものであります。

厚生省における歯科保健問題懇談会や文部省関係の学校保健センター的事業活動ならびに日本歯科医師会のう蝕抑制問題懇談会、また日本学校歯科医学会の諸委員会等々の活動・答申にも子どもや学童のむし歯は、その健康管理によることが第一とされております。

これら一連の事柄とあわせ、学童はじめ地域住民に対する歯科保健ならびに医療の円滑化をはかるため、その予防と医療対策を関係方面とともに力を合わせ、計画とその実施に断固推進をはかりたく存じます。

この困難な状況下において、業界一致団結して、ひたすら邁進する決意と気概を念じてやみません。



加盟団体だより

岩手県

大船渡市の現況から

当地方の歯科医対人口比率は1人対1万人である。近年道路が拡幅舗装され交通の便がよくなるにつれ、歯科医が朝から晩まで働き通しても、とても支えきれないものがある。その陰にひそむ幼小児のう歯問題はなんともいたましいものがある。ちなみに大船渡市の場合をみると

	3歳児	4歳児	5歳児
う歯罹患率	89%	98%	99%
一人平均う歯数	7本	10.5本	11本

(48年度調査)

以上の状態であり、これらの小児らは歯科医療に関しては日の当たらない存在である。

当地小学校の1、2の例を挙げてみると

A小学校は官庁商店街 (18学級)

B小学校は半漁半農無歯科医地区 (6学級)

う歯罹患率は

	45年度	46年度	47年度
A小	96%	97.7%	95%
B小	99.5%	100%	100%

A校は10年前から週1回午後集団治療(先生引率のもとに)をしても大海の一滴の観があり、学校保健会に働きかけ、昭和48年度各学級に洗口場を設備し、49年度は10月から歯科衛生士を派遣し朝礼の時15分間、1カ月に2回歯ブラシを持参させ、歯みがき体操をレコードに合わせて行なっている。

B校は昭和48年度から週1回やはり午後先生と父兄2人くらい引率のもとに、バスで集団治療を行ない始めた。洗口場は未設置であるが給食後洗

口を行なっている。

さらに両校とも年2回5月と11月に昭和48年度から全生徒にフッ素イオン導入法を行なっている。そこで両校の48年度からのう歯状態をみると

	A校(18学級)		B校(学級年)	
	48年度	49年度	48年度	49年度
う歯罹患率	87.6%	81%	99.4%	79.0%
う歯処置率	17.4%	24.6%	8.7%	29.2%
永久歯処置率	49.8%	60.0%	35.1%	66.3%
第一大臼歯の処置率	55.0%	69.5%	37.0%	68.3%
一人平均う歯数	5.0本	5.3本	8.8本	4.7本

以上にみるように、第一大臼歯を主眼として保存治療を行ない、乳歯は適期抜去を行なっている。小学校へ入学時すでに、う歯は98%も罹患し、しかも第一大臼歯はその萌出歯数の22%にも達し、C<sub>2</sub>C<sub>3</sub>になっている歯もある。

永年の学校歯科医である小生も、いかに地域的とはいっても慚愧の念に堪えない次第。

これらの乳歯はまずおいて、これから生えてくる永久歯だけでもなんとかして守らねばならないことに意をいたした。これは決して理想ではないが、先ほども話したように、地域性の永年の経験から、まずこの方法を少し続けようと考えた次第である。

そこで、今年の新入児童の父兄懇談会に臨み「みなさま方のお子さんの口の中をごらん下さい。よい歯を探すのに一苦労なさるでようでしょう。でもむし歯がたくさんあっても決して気を落とさな

いで下さい。

これはほとんどが乳歯です。永久歯はこれから生えてくるのです。今後、学校とわれわれを信頼して御協力下さい。

学校では年2回5月と11月フッ素塗布を行なっております。

むし歯をつくらない最大のひけつは、食後必ず歯をお掃除することです。しかしながら常識的に考えて、子どもたちがいくら習慣になって歯をみがいても、完全な掃除はできません。そこでむし歯になりにくい歯にしたらもっと効果的ではないでしょうか。それには歯にメッキしておきましょう。

それはフッ素塗布です。

つまり完全な掃除ができないから歯をメッキしてそれを補うのです。

フッ素塗布は年2回行ないますから、半年毎に歯をメッキしながら監視いたしましょう。それでも不幸にしてむし歯になれば、小さいうちに治療をして充填しましょう。

さらに乳歯は適期に抜きましょう。こうして6年生までつづければ卒業の時は乳歯は全部なくなり、りっぱな永久歯だけで御卒業できましょう」と話しました。

何事も経験である。今後5年くらい、この方式をつづけ、その時になったらまた考えたいと思う。

ここに悩みの種は、保育園のうちに第一大臼歯がC<sub>2</sub>C<sub>3</sub>になっていることである。そこで保育園最高学年組（両校の）だけに48年度からフッ素塗布を行なっていることを付記しておく。

（井上 丈夫）

## 新潟県

### 新潟県における水道水フッ素添加運動について

#### ——推進と阻害問題について——

#### 1. 「子どもの歯を守る会」結成

むし歯がすべての子どもに蔓延し、しかもその発生がますます増大しつつある現状を考えると、むし歯に対する現在の治療中心対策では、解決の見通しがたかないことは明らかである。また個人にまかされた甘味制限および口腔清掃など歯科衛生に対する努力だけでは、むし歯の問題は解決し得ない。

しかも、子どものむし歯が歯科医学的にも、治療がほとんど不可能である、という現実を深刻に受けとめ、現在このような公衆衛生的対策として、国際的にもっとも優れた手段とされている水道水フッ素添加を中心とする具体的な、むし歯の予防対策を推進することを主旨として「子どもの歯を守る会」は49年3月16日発会式を行なった。

6月4日には「子どもの歯を守る県民大会」を開催して第一歩をふみだした。

歯科医師会、大学歯学部、学校保健会、各種婦

人団体、PTA母の会、衛生士会などが参加協力して、水道水フッ素添加のPR、県・市町村当局への働きかけを行ない、小学校・幼稚園・保育園へフッ素水のうがい実施の働きかけをしている。

#### 2. 請願書を県議会へ提出

歯科医師会と子どもの歯を守る会から、県会議長あてに提出してあった「県民のむし歯予防に関する請願書」が、公安厚生委員会によって慎重に審議された後、49年7月26日の県議会本会議において、全員一致、一人の反対者もなく採択された。

このことは、請願の中心となった「水道水フッ素添加によるむし歯予防」が衛生行政施策として、最もすぐれた手段であると県議会が認めたことであり、その意義は大きい。

#### 3. 検討会開催



県衛生部長の招請により、県医師会、歯科医師会、薬剤師会、医学部、歯学部、水道事業管理者、保健所、県衛生部の各代表15名の専門家委員により6月21日に開催され、活発な質疑応答が行なわれた。

以後8月、9月にも、フッ素添加検討会が開催された結果、各委員から強い賛意の表明があった。ただし、水道関係者からは頑とした反対意見がでた。

#### 4. フッ化物応用による予防

県下各地で実施されている小学生、幼児のフッ素水による含嗽ならびに塗布の普及促進については、1人の反対者もなく、県衛生部長としても教育庁へ働きかけて、積極的な普及促進を計りたい意向である。

#### 5. 反対意見（水道関係者）

- a. フッ素による予防だけでは完全ではない。  
（母親妊娠教育、甘味制限、口腔清掃）
- b. 妊娠胎盤蓄積があるのではないか。  
（30年間の水道水添加によっても事故の報告がない。）
- c. 水道水は多目的に使用すべきである。
- d. 国の方針が決定していないことなどから必ずしも賛成できない。（日本の厚生省はWHOの水道水フッ素添加共同提案国である。）
- e. 副作用がないといわないで、十分調査をや

るべきである。（量が問題）

- f. 実施後に問題発生した時の責任はどうなるのか。水道関係者としては医療面にかかわりたくない。
- g. 補助金制度のないものは市町村はやらないだろう。
- h. 含嗽をやりたい市町村は多くあるので、県の態度を明確にして、助成措置を考えるべきである。
- i. 維持管理の問題—添加装置および人件費—  
（常時自動測定、自動記録、自動制御装置が開発され国産化されている。）

#### 6. 歯科医師に対する啓蒙

決定的な予防法が確立されていない現在、われわれは、個人に対する予防業務と、集団に対する予防業務を、同時に考えていかなければならない。したがって母親教育、甘味制限、刷牙指導などと並行して、水道水フッ素添加運動を中心としたフッ化物応用に対して、真剣に取り組むべきである。

フッ素化問題は歯科医師自身の反対が割合強く、これまでの日本国内での実施例が、住民運動や歯科医の強力な参加のもとでなされたものではないことを考えると、根気よく反対意見に対する問題を1つ1つ解決して、啓蒙を計らなければならないまい。（岡田耕衛）

### 名古屋市

#### 名古屋市学校歯科保健アラカルト

その1：子どもたちのむし歯治療に対する不満や苦情が増えた。

すなわち、児童らの健康診断事後措置についての苦労話が学校関係者の間でささやかれ、しだいにその声が大きく広がってきた。

またマスコミのキャンペーンの材料として、紙

上の声、発言欄などにも、子どもの歯科治療の問題をとりあげたさまざまな意見が見られるようになった。

歯科医療の需給バランス、計画診療の余波、最近の世相などの反映だとは思いますが、学校における健康診断、事後措置に対する管理面からの苦労が

増してきていることは事実のようである。こんなことにすこしでも役に立てばと考えてか、次のような会が開催された。

- 名古屋市教育委員会ほか
- 健康診断事後措置対策協議会
- 愛知県歯科医師会ほか
- 学校歯科疾患対策協議会

その2：う歯半減運動は継続されている。

全国的にこの運動が提唱されて久しい。当市においてもこれを受け「歯を守るよい子の会」として第22回を迎えた。ほとんどがライオン歯磨の後援によるものであるが、歯科衛生優良校の表彰、歯磨訓練大会を併行して多数の子どもたちを市公会堂に集め、う歯半減運動の集大成として行ってきたフェスティバルも、時流の中で困難さを増してきた。

学校側担当者の引率をやめ、母子同伴での参集に切りかえて何年にもならないが、結構盛大に開催している。

う歯半減運動の実績  
(昭和48年度 名古屋市立小・中学校の集計)

校 別	検査人数	罹患率	処置完了者率	処置歯率	1人平均所有歯数
小学校	177,080	62.5	45.4	61.0	1.74
中学校	72,605	86.7	38.5	62.6	4.23

その3：学校歯科医の報酬はいくぶん改善された。

9月、3月の2回に分けて所得税7%を源泉徴収され支払われる。年毎に増額されているが、昭和47年49年度分を列記して参考とする。

なお学校薬剤師は一律5万円（S49年）であるが学校医と学校歯科医は同額である。

人 数	47年度報酬	49年度報酬
1～ 500人	58,000円	84,000円
501～1000	68,000	98,000
1001～1500	78,000	113,000
1501～2000	88,000	127,000
2001～	97,000	139,000

その4：行政機関へのアプローチ

幼小児歯科疾患の実態から、地域関係機関における歯科疾患対策の充足を考慮して、昭和49年7月次のように上申を行なった。

請願書 保健所に歯科衛生士の配置をお願いする事由

近年、児童の歯牙う蝕の蔓延がいちじるしく、学校病としての対策に苦慮させられています。

さいわい名古屋市立小学校児童の永久歯う蝕は、この数年来処置歯率50%以上の水準を保っております。

ところが、小学校低学年児および就学前幼児の乳歯う蝕は別表のように、5・6・7歳児で96.8・97.7・97.9%の罹患率率を示しており、6歳児で1人平均所有乳歯う蝕数は9.4本にもなっております。

しかも罹患歯は重症なものが多く、继发症および障害に悩まされています。

このような乳歯う蝕高罹患の要因は、乳幼児期の生活環境によるものと考えられます。たとえば、別表による乳歯う蝕罹患の急増する時期は、低年齢幼児期にあることが解ります。この時期の育児環境は、食品の選択、摂食のあり方、歯の清掃などからみて、きわめてわるい条件の中におかれております。

乳幼児の発育の時期に応じた育児環境の整備によって、多くの子どもたちがう蝕の障害から開放されるであろうことを思えば、早い時期から指導された育児能力の高い母親によって育てられることが必要になります。さらに予防処置的なことが実施されたならば、いっそう効果を高めることが可能と存じます。

ところが、このような生活指導や予防処置を実施している施設はきわめて少ないことはたいへん遺憾です。

別表 乳歯う蝕の罹患状態（厚生省45年資料）

年 齢	2	3	4	5	6	7
罹 患 率	47.4	87.3	94.2	96.8	97.7	97.9
1人平均歯数	2.04	6.29	8.30	9.18	9.45	7.89



せめて、地域における公衆歯科衛生的な立場から、保健所の中に歯科医師および歯科衛生士を専従として配置いただけたらと思いますが、とりあ

えず歯科衛生士の配置をお願いしたいと思い請願する次第です。  
(田熊恒寿)

## 滋賀県

### 湖畔だより

#### 新しく学校歯科保健優良学校表彰制度を発足!!

従来の“健歯児童”表彰は、個人的なものであり、偶然性も多く含んでいる。“よい歯の学校表彰”とはまた別に、本県独自で、児童う蝕率が全国平均を上回る県下の現状を打破するために、特に未処置者をすこしでも減少させるため小・中学校の教育の中において強力に歯科保健の推進を図ることになり、県教委、県学校保健会と協議の結果、この制度を本年度から実施することになった。

49年度の結果は次のようである。

#### 小学校の部

1 位	石部小学校
努力賞	坂本 //
//	玉津 //

#### 中学校の部

1 位	びわ中学校
努力賞	長浜東中学校
//	愛知川中学校

#### 身障者診療の実態を発表

9月6日、第21回近畿学校保健学会が滋賀県で開催されたが、本会小林恆理事は、ここ数年の県下身障者の診療に従事した貴重な体験の中から“ダイランチン性歯肉増殖症罹患の実態について”(P.15参照)を発表、関係各方面に大きな話題を提供したので、日本学校歯科医会会誌の今月号に掲載の機会を得た。

#### 学校歯科医の栄光

小県であり、歯科医師過疎県であるだけに、平素学校歯科医としての各会員の努力はまことに涙ぐましいものがあるが、その労に報われてか本年度は下記の方がたが、それぞれ栄光を浴せられた。

#### 昭和49年度日本歯科医師会員有功章

住井亀太郎先生

知事表彰 山本良也先生

公衆衛生協会会長表彰 久木竹久先生

社会体育功労賞 高橋一男先生

心からお祝い申し上げますとともに、今後ますます御活躍されんことを祈る。

大津市学歯会・大津市歯科医師会と一本化する。

歯科医師会と、学校歯科医会の一本化のぜひは、行政面、会の内部事情などがからんで種々問題があるようである。

昨年“奥村賞努力賞”を受けた大津市学校歯科医会は、会長多田一夫氏の兼任就任を機に、今年から本会と一体化し、今後ますますその活動に精進することになった。

その成果は県下各方面から注目されている。ちなみに、副会長速水昭介氏、奥村佐久夫氏、専務理事古藤英夫氏である。  
(佐藤 守)

## 大阪府

### 大阪府立高等学校歯科医学会だより

(1) 昭和49年6月22日、大阪府立高等学校歯科医学会は、大阪府教育委員会、保健主事、養護教諭と合同でシンポジウムを開催、講師は、大阪歯科大学教授、山岡昭先生と会員の杉本茂春博士で演題は“口腔の疾病と異状”“法の一部改正に対処する具体的方策の考究”について各々講演されました。

引きつづいて座長を選出しての協議会があり、その中からの抜萃を掲載します。

提案：私どもが永年むし歯の予防を治療をといたことに専念してきたが、なかなか日本国中のむし歯をなくするのはむずかしいと思われます。

いつも申し上げますが、私はこれを治していくということよりも、むし歯にならないように教育する。

こういうふうに治療よりも予防、予防よりも鍛練、そういった方面へ学校歯科医学会が働きかける。

昔のことですが、戦時中、昭和13年から18年位までに生まれた人は、小学校へ入ってきて、口腔検診を受けても、大変むし歯の数が少なかったということは皆さんもすでに経験済みだと思います。それをもう一度、すっかり繰り返せということはむずかしいかもしれませんが、それに似た方法で生活態度を改めるならば、この日本中のむし歯は、全滅はむずかしいかもしれませんが、かなり減るであろうと。

私は治療よりも予防、それよりも鍛練、そしてむし歯を作らない身体に生徒児童を指導していく、といった方面へ力をそそいでいただいたならば必ず効果があると、こう確信いたします。

座長：全く同感です、あの時分、昭和13年～終戦後まではむし歯が少なかった。

全く鍛練が大切です。都会に比べて、いなかの

子どもは、太陽に恵まれてむし歯が少ないということもございます。

#### (2) 昭和49年度事業計画

##### 1) 各種大会への参加

イ. 全国学校歯科医大会 京都

ロ. 全国学校保健研究大会 宮崎 11/8～11/11

ハ. 大阪府学校保健研究大会 10/26の予定

ニ. 大阪府立高等学校保健研究発表大会、昭和50年1月下旬の予定

##### 2) 講習会ならびに協議会への参加

イ. 大阪府学校医、学校歯科医、学校薬剤師研修会(府教委)

ロ. 西部地区学校保健講習会(文部省、日学歯)  
10月29日・30日長崎

保健主事部会と養護部会から代表をおくりたい。

##### 3) 学術講演会の開催

##### 4) シンポジウムの開催

##### 5) 学校歯科衛生の啓発および推進

イ. 口腔衛生シリーズの発行

ロ. 府立高等学校歯科保健協議会の開催

対象：会員、保健主事、養護教諭

##### 6) 健康手帳の改訂に参画

##### 7) 研修、見学会

イ. 新任学校歯科医の研修

(13校新任、3校交代、計16校)

ロ. 各部会(保健主事部会・養護教諭部会等)へのオブザーバーとしての参加

##### 8) 会報の発行(新聞形式にて年2回以上)

##### 9) 大阪府立高等学校保健会誌発行に協力

##### 10) 法一部改正に対処する具体的方策の考究

イ. 「口腔の疾患」をテーマとしての研修

##### 11) 保健調査と選別式健康診断についての考え方

##### 12) 歯科健康診断結果の家庭への報告および事後



処置依頼書のあり方。

#### 追記

S49年9月19日ニューヨークの隣のバッファローにあるニューヨーク大学において、口腔衛生学担当、イングリッシュ教授から1時間にわたり個人講義を受ける榮に浴しましたが、そのお話の中で、“当地の生徒のむし歯保有率は50%である。

将来、生徒のむし歯予防処置法として、シーラント法により、レジン+フッ素の混合物を、大小臼歯咬合面に、予防充填して、3年目に1回ずつ取り替え、新しく充填する、予防法の法律を政府に働きかけて成立させ、予算の方も、現在は1人1回10ドル要しているのを国家負担に切り換えて実施したい”と、熱意をこめて話してくれました。

(塚本三郎)

#### 堺市学校歯科医会だより

私たちの街、大阪府下堺市は、前方後円墳で有名な仁徳天皇御陵と、徳川鎖国時代においても、南蛮貿易の中心地として栄えるとともに、千利休、食満南北等の華麗な文化人の血を引いた、河野鉄幹、与謝野晶子らの情熱の詩人を生んだ伝統ある文化都市であります。

現在人口約70万、文化都市に加うるに、工業都市として発展し、堺市立小学校64校、中学校24校、高校5校、養護学校2校、幼稚園20園があり、その他市立保育所、私立学校園が約70あります。

堺市学校歯科医会は教育委員会に積極的に協力し、各種事業を行なっています。

49年度においては、特に養護教諭、保健主事を対象として研修を行ない、学校保健法の改正を機会に、新しい「学校歯科保健の手引」の作製を計画し、これを堺市内全学校園において実行するよう指導している。

教育委員会に歯科衛生士の採用を実現し、加うるに堺市内保健所勤務歯科衛生士3名の計4名による地域社会の口腔衛生の指導を行なっています。

また堺市内全小、中、高校に、日歯指導ライオン歯磨制作による歯科保健掛図を、全幼稚園に口腔衛生指導用の顎標型と歯ブラシを寄贈し、堺市当局から感謝されています。(岡田弘也)

#### 予告／第39回日本全国学校歯科保健大会

昭和50年11月15日(土)、16日(日)の両日、香川県の高松市において開催されます。15日は研究協議会、16日は大会という予定は、大体いままでのとおりです。学校歯科医のみなさま、歯科衛生士、教育委員会、養護教員の方がたとおさそい合わせて、多数ご参加ください。

# 学校の歯科活動

学校歯科活動と地域保健のアプローチ

日本学校歯科医会専務理事 丹 羽 輝 男

学校における歯科活動は、心身ともに健康な国民の育成を期するための歯科の活動分野である。歯科疾患、ことにう歯は、児童生徒間にまん延している疾患で、しかも昭和47年12月に保健体育審議会が答申したもののうちにもあるように、ここ十数年来のわが国児童生徒のう歯は、急激な生活環境の変化等のもとに、図1のように増加している。

う歯は、ほとんど自然治癒しないという特殊性を有し、歯の喪失、咀嚼機能の低下、さらには全身疾患との関連性などを考えるとき、心身の発育・成長期にある児童生徒に及ぼす影響ははかり知れないものがある。

一方、学校歯科関係者は、これに対処すべく長年献身的な努力をつづけている。しかし、このようにう歯がまん延し、しかも増加の傾向をたどってきた最大の原因は、学校における歯科保健教育の不徹底さと、地域保健、国の行政の不備が社会変化に応ずる態勢をおろそかにしたためといえよう。

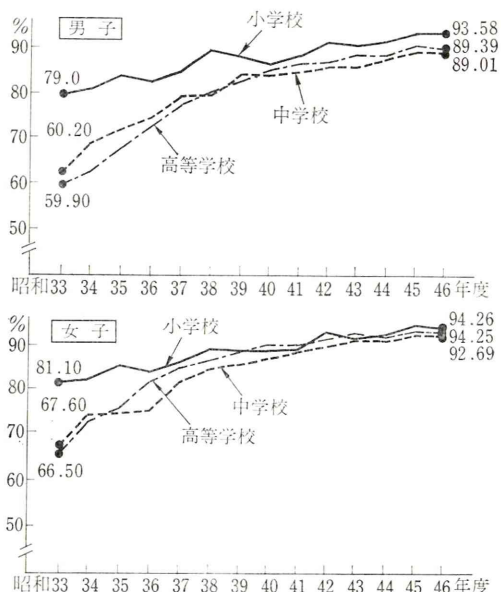
すなわち、従来の学校歯科活動は、どちらかといえば児童生徒のう歯の早期発見とその事後措置、たとえばアマルガム充填を実施するという方向に、その重点があり、また予防面でも、予防処置といった歯科の専門的スキルが直接的に必要な保健管理面が主に行なわれてきた。

もちろん、このような管理面ばかりでなく、歯口清掃の普及という方法もとられてきたが、これとても歯科医が中心となり、少数の熱心な教師がこれに協力するという形であった。つまり、学校歯科活動は学校歯科医と少数の教師によって推進

されてきたというのが、おおよその趨勢であったといえよう。

もとより今後もこのような歯科活動を度外視すべきではないが、今日のように生活環境の急激な変化を背景にしているわが国の児童生徒の歯科活動は、学校内の関連分野との関係を十分に連絡協調して、すべての教育活動を通じ、学校保健計画の中に位置づけられ展開されなくてはならない。

また学校における歯科活動と密接な関係にある地域保健との緊密化をはかることはもちろん、さらには国の行政を完備して、総合的に、かつ積極



注：児童生徒のう歯の罹患率は、男女とも急激な増加を示している。

資料：文部省「学校保健調査報告書」による

図1 児童生徒のう歯の状況

的な学校歯科活動の実現を指向すべきである。ここでは学校における歯科活動のうち、地域保健と関係あるものについて述べることにする。

### 学校歯科活動と地域保健との関係

学校における歯科活動も地域保健も総合的な保健の有機的な一環であるが、それぞれの位置づけを考えてみると、学校歯科活動は、学校を中心とした教育関係の分野において取り扱われ、地域保健は地域性を考慮にいたった保健所が直接担当している保健である。

しかし、学校歯科活動と地域保健との関係は不可分であるといえる。学校歯科活動が地域社会から孤立したものでなく、その社会から強い影響を受けている以上、学校歯科活動は社会からいろいろの制約や刺激をうけるのは当然である。

たとえば学校のある地域社会の保健、とくに歯科が貧弱であれば、学校が歯科活動にどんなに努力しても、理想的な保健管理を行なうことは困難である。また学校においてどんな理想的な保健教育が行なわれていても、地域保健の状態がわるければ児童生徒は困惑してしまうおそれがある。

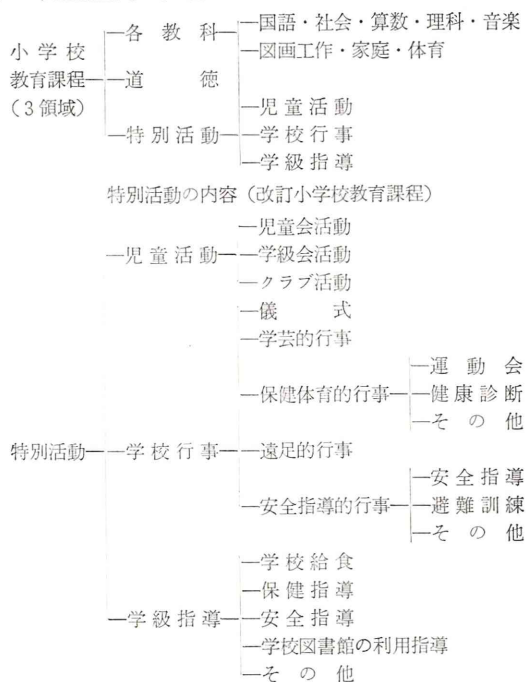


図2 改訂小学校教育課程の領域構成

しかしまた、これとは反対に、地域保健とくに歯科の向上が、学校歯科活動の発展にまつところが大きいことはいうまでもない。歯科保健教育の面では、地域保健が学校歯科活動に依存するところが、きわめて大きい。

これは歯科保健教育を普及徹底させるためには、その基盤として学校における歯科保健教育に期待せざるをえないからである。したがって学校歯科保健活動は教育の分野、地域保健は衛生の分野という行政系統上の差こそあるが、互いに当事者間の協調をはかることが大切である。

公的機関である保健所または保健団体とくに歯科関係者は、いろいろの面で学校を尊重し、学校歯科活動に協力することは当然であり、また学校歯科関係者は、地域の保健関係の機関や団体の援助や助言を受け、これに協力することは歯科疾患のまん延性からみて、まことに重要なことといわねばならない。すなわち両者の理解と協力によって学校歯科活動のみならず、地域社会の歯科衛生事業の進展が期待されるものである。

具体的には、母子衛生の面で学校保健委員会から地区保健委員会へ、また地区組織活動から地域組織化活動へ発展の核心として、小学校区育成をみた事例がある。

### 学校歯科活動に関する法的根拠の動き

学校における歯科活動と地域保健との関連性についてはすでに述べたが、地域保健にたずさわるものは、その活動に関する法的根拠の動向について十分理解することが必要である。

学校歯科活動は、学校保健のうちの歯科活動であるので、学校保健をよく知ることが大切である。学校保健とは、学校における保健管理と保健教育の2つの柱からなっている。この管理も教育も児童生徒の健康や能率を向上させるための方法的な分け方であり、基本的目的は変わらない、したがって、この2つの柱のすべての活動を円滑に推進することは、両者が有機的に関連づけられて、組織活動として展開していくことになる。

この両者の関係がうまくいくと、保健教育の充実が保健管理の成果を高め、また保健管理の徹底



が保健教育の効果を向上させるといったような、相乗的なよい結果を期待することができる。

学校における保健管理は、主として学校保健法（昭和33年法律第56号）の規定によって行なわれ、また保健教育は、学校教育法（昭和24年法律第26号）の規定に基づく教育課程の一環として行なわれることになっている。そして学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）の定めにより、学校教育課程の基準を示す学習指導要領などによって、その内容が具体的に示されているが、近年その学習指導要領が改訂された。

### 1. 学習指導要領の改訂

改訂された学校教育課程は、小学校では昭和46年度から、中学校では昭和47年度から新しい学習指導要領によって行なわれている。

この第1にあげられるところは、教育課程における領域の改正である。すなわち従来は各教科、道徳、特別活動および学校行事の領域をもって編成されていたが、今回は各教科、道徳および特別活動の3領域によって編成されることとなった。

特別活動の内容には、児童（生徒）活動、学校行事および学級指導の3分野があり、学級指導のなかに健康指導がその内容として位置づけられ、健康診断、歯の衛生週間などが学校行事のひとつとして、教育活動にとりあげられることになった。

第2は、教育の内容において調和と統一のある教育課程の実現を図ったことで、健康や体力の増進に努力している。とくに学校の教育活動全体を通じて、体育に関する指導を重視している。

### 2. 健康診断についての考え方の動き

学校保健法によって、健康診断の時期、検査の項目、方法、技術的基準、健康診断票、事後措置については、すでに決められているが、社会的変化にともなう児童生徒の健康問題の変容、医学の進歩などの諸般の事情が変化している。

そこで、学校における健康診断の疾病異常については、施設、設備や時間的制約から、スクリーニング・テストとしての性格が強められてきた。

かつ学習指導の改訂によって、定期の健康診断が教育課程のうちの学校行事で教育活動としてとりあげられることになった。

さらに、改訂により、歯科保健は学校では全領域と関連をもって指導されるが、小学校では体育科の5学年の保健領域で多少系統的に指導されることになった。

このように、このたびの学校歯科活動と関係の深い健康診断は、特別活動のうちの学校行事のひとつとして扱われるが、主体的には学校歯科医が学校保健法施行規則第24条に基づいて、主として保健管理面の職務として実施面を担当することになる。

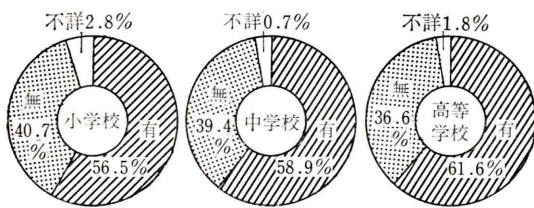
しかし学校行事という教育活動の面が強調された改訂の趣旨にてらし、学級におけるショート・ホームルーム活動などの形成で、学級担当教師の責任のもとに、効果的に保健指導の面に、この健康診断を生かしていくことが大切である。今後の学校歯科活動は保健管理、保健教育の2つの側面から展開していくことになる。

一般教員は、児童生徒の歯の問題はもちろんのこと、体格、体力、性格、健康状態などを総合的に把握したうえで指導するというように、保健管理の実施面で重要な役割をもつものである。そのようなことから、この分野における現職教育の充実に努めることが必要で、また学校歯科医、歯科医師会をはじめ、地域保健にたずさわる人びとと密接な連携を図らなければならない。

### 学校保健委員会

児童生徒の数が全人口の20%以上を占めているという量的な面はもとよりであるが、その児童生徒が次代をになう世代であり、学校生活が人間形成と保健管理、保健教育を通して国民として必要な健康生活の実践力を身につける意味からいって、地域保健における学校の役割は重要である。

これには、学校教育にかかわりあいをもつすべての地域関係者の協力が必要で、それぞれの関係者の協力をうるために系統的な組織をもつことが大切で、その組織としてこの学校保健委員会がある。



注：昭和45年5月1日現在の状況である  
資料：文部省学校保健課「学校保健実態調査」による

図3 小学校、中学校、高等学校における学校保健委員会の設置状況

現在、学校保健委員会を設置している学校は60%前後である。その活動状況も必ずしも十分であるとはいえないが、今後とも委員会の設置を促進し、その運営の強化を図ることは学校における歯科活動をはじめ学校保健、さらには地域保健の向上を図るために大切である。

学校保健委員会は、学校や地域の実状に応じて、校長、保健主事、養護教諭、体育主任、安全主任、学校給食主任、保健担当教員その他の一般教員および学校医、学校歯科医、学校薬剤師等の学校側代表ならびに家庭、保健所その他の地域保健関係機関の代表をもって組成することになっている。

これは年間を通じて計画的に開催し、学校内の協力体制はもとより、家庭や地域社会との協力関係を確立して、地域保健との密接な連携を図るものである。ここで協議される歯科関係事項は、次のようなものがある。

- (1) 歯科活動推進対策を学校保健の中へ位置づける事項
- (2) 児童生徒の歯科疾患の罹患率を再認識させ、適切な対策の推進がはかられるような事項、たとえば臨時の健康診断の実施による継続観察の具体化、巡回歯科衛生士制度の活用などの問題
- (3) 歯科疾患の治療勧告を合理的、能率的に実施する具体的方法の検討に関する事項。たとえば通院証明書の発行などにより、治療勧告と処置が効果的に行なわれるような具体的方法の検討など
- (4) 歯科治療の具体的方策の検討に関する事項

項。たとえば地域歯科医師会、学校歯科医会などへの協力依頼、学校巡回歯科診療車の活用などの問題

- (5) 歯科医師、養護教諭など、また地域保健関係者による歯科保健関係情報の提供に関する事項
- (6) 児童生徒自身が歯科保健的健康生活を実践するような働きかけに関する事項
- (7) 歯科的健康診断、保健指導などに必要な器材、材料、教材などの整備、充実にに関する事項
- (8) 歯科治療を受けることが困難な児童生徒に対する特別な配慮に関する事項
- (9) 学校における歯科活動と家庭、地域保健との協調方法に関する検討
- (10) その他、学校における歯科活動に関するもの

#### 歯科活動推進のために将来つくるべき施設、立法、学校歯科保健センター

児童生徒のぼう大な歯科疾患の対策を積極的にすすめるためには、学校歯科活動関係者と地域保健機関とによる地域の特性に重点をおいた学校歯科保健センターの設置は大いに効果がある。ここでは次の業務を行なう。

- (1) 児童生徒の歯科疾患と地域社会の生活環境ならびに地域保健との関連性の調査と研究
- (2) 学校における歯科活動の充実にに関すること。たとえば学校歯科活動に関する内外の資料・整理・保存および提供、歯科活動に関する広報、資料、図書の発行、刊行、歯科活動に関する地域的研究協議会・研修会、展示会など
- (3) 児童生徒の歯科疾患の状況ならびにこれに関する情報の収集、整理、分析およびその提供
- (4) 児童生徒に対する積極的な歯科疾患対策の研究とその評価方法
- (5) 児童生徒の歯科疾患と学習能率との関連性についての調査と研究
- (6) 児童生徒の発育段階と歯科との関係、とく

に注意すべき歯科疾患・異常

- (7) 学校における健康診断の結果、とくに口腔、歯に問題があると思われるものについて、教育的配慮のもとに健康相談を行なう
- (8) 児童生徒でなんらかの理由で、ヘルスサービス、つまり予防、治療、リハビリテーションを受けられない者に対するサービス
- (9) 以上の調査、研究、健康相談、ヘルスサービスなどの結果をふまえて、歯科活動を推進するために、とくに留意すべき事項に関しての研究と、その結果の提供などである。

#### 学校歯科に関係ある法規

学校保健における保健管理の面で、伝染病予防法、予防接種法、結核予防法その他多くの公衆衛生関係法規は児童生徒に健康保持増進に大なる成果をあげている。

児童生徒がほとんど罹患している歯科疾患に対して効果ある歯科活動を行なうには、前に述べたような公衆衛生関係法規、たとえば歯予防法のような法規を立法化すべきであり、これはまた歯科を含めた地域保健の向上に役立つものである。

#### むすび

学校における歯科活動は、昔から学校歯科医と歯科関係者の積極的な活動によってすすめられてきた。しかし児童生徒の間に著しくまん延している歯は年々増加の一途をたどっている。

従来の歯科活動は、保健管理の性格の強い歯科疾患の早期発見と、その事後措置が主で、その予防活動にしても、それがなくては歯が生じないものを主因といい、そうでないものを誘因といっ

ているが、そのうちの主因対策にあまりにも重きをおきすぎた観がある。

すなわち、歯科の専門技術技能が直接必要であるう蝕予防処置、また歯病原体除去を目的とした歯ブラシによる歯口清掃習慣の普及も行なわれてきたが、これとても歯科医が中心となって推進されたものである。

しかし、疾病発生の現実をみると、主要なものがつねに比重が最大であるとは限らない。たとえば結核や性病の場合、それらはともに感染症であるが、その感染と発病には社会因子が著しく影響している。つまり誘因によるものが強く、社会病とよばれるのはこのためである。

歯もいわゆる社会病といわれる疾病である。すなわち、歯を対象とした歯科活動は、もちろん主因対策を度外視してはならないが、その誘因対策として学校における歯科保健教育を充実し、歯科保健に関する理解を身につけさせ、管理に必要な知識、習慣、態度、技能を得させるよう努力し、歯科の保健管理と保健教育を計画的・組織的に行ない、また、地域保健と密接な連系をはかりながら、時間的要素を加えて行なっていかなければならない。

さらに、学校で効果ある歯科活動を行なうには、その学校がおかれている地域社会と家庭への歯科管理に発展する必然性をもっている。

また、その逆も真である。このような観点から、役所のセクト主義のような阻害因子があるかもしれないが、それをのりこえて、学校歯科の諸活動と地域の諸活動とが相互理解のもとに、有機的に組織化され、総合的な歯科保健活動の成果をあげることを期待してやまない。

(公衆衛生 38.6 1974から)



## 滋賀県における身障者施設の児童口腔審査結果から

——とくにダイランチン性歯肉増殖症罹患の実態について——

滋賀県学校歯科医会 小林 恢・佐藤 守・富永才助

### 緒 言

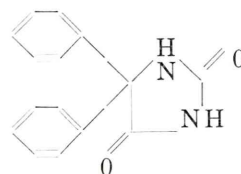
身障者を収容する施設は全国に数多くあるようであるが、施設に収容されている児童の生活状態とか口腔審査等に関する詳細な報告について、筆者は寡聞にして知らない。もちろん、このような施設の模様を公表することは人権問題にも波及する恐れもあるため、あるいは公表を控えている向きもあると思う。しかし、学齢期の児童で、てんかんの病歴を有する患者のとくに Dilantin の副作用として招来する歯肉増殖症は、われわれ学校歯科医としての立場からもっと真剣に究明する必要があるのではなからうか。また、本県の施設に収容されている患者は学齢期の児童が主で、同じ学齢期の健康な児童と比較して、悲惨な状態にあるこれら施設の児童を、なんとかわれわれの手で救済できればと思い、そのためには基礎資料もぜひ必要であると考え、本来なら、この種の論文は口腔衛生学会その他の学会誌に掲載すべき内容であるが、一部の学究者のみを対象とする機関誌か

ら学校歯科医全体に理解してもらいたいとの考えから、あえて本誌に執筆する次第である。

### ダイランチン性歯肉増殖症

本論に入る前に、本症についてすこし述べてみよう。Dilantin は hydantoin 誘導体で、1938年にメーリットおよびプトナムによって発見された真性ならびに症候性てんかんの発作に対する特効薬で、本邦においては Dilantin sodium または Aleviatin の名称で発売されている。

Aleviatin は日本薬局方 Phenytoin で、次の化学構造を有する。



Phenytoin : C<sub>15</sub>H<sub>12</sub>N<sub>2</sub>O<sub>2</sub> : 252, 28  
5,5-diphenyl-2,4-imidazolidinedione

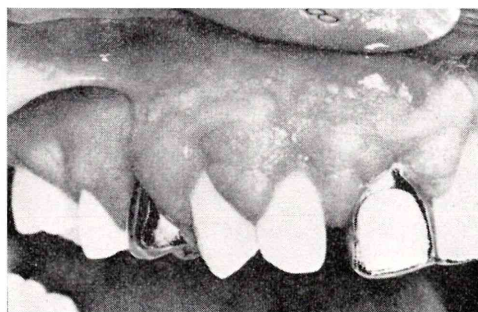


写真1

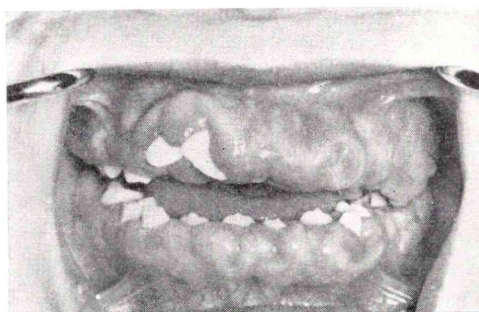


写真2

Phenytoinは白色の結晶性粉末で無味無臭，エタノールまたはアセトンにやや溶けにくく，エーテルまたはクロロホルムに溶けにくく，水にはほとんど溶けない。

本剤の作用機序には諸説があり，Goodman & Cilmanによれば，神経細胞内の一時的な高  $\text{Na}^+$  状態に由来する機能障害を改善し，けいれん誘発の閾値を上昇させ，active focusからの異常波のひろがりを阻止するという。

本剤は，大発作その他のけいれん発作を完全に抑制または著明に減少させる効果がある。このように特効的な効果を現わす本剤も，とくに若い人かん患者の長期服用は，しばしば特徴ある強靱な歯肉増殖を招来し，これは，最初は歯間乳頭に始まりしだいに唇側，頬舌側の歯肉に拡大する。しかし歯牙のない口腔粘膜には発症しない。重症ともなると歯牙が完全に組織塊によって被覆され，ちょうど歯肉象牙病のような観を呈するが，歯肉象牙病は固有歯肉の増殖であり，Dilantin性の歯肉増殖症は，歯肉縁に現われる特徴があって，歯列は乱れるが，歯牙の骨植も比較的堅固で出血を伴うことが少ない。

写真1は比較的軽症に属する症例で，歯間乳頭に分断した不連続型である。

写真2は数年間にわたる投薬の結果，高度の歯肉増殖症の症例である。拡大した硬靱な組織塊は歯冠の大部分を被覆している。

写真3は同じ患者の口蓋側からの所見である。左側の多数の臼歯咬合面が，完全に組織塊によって被覆されており，対合歯の圧痕が著明である。

写真4は2次的炎症をおこした症例である。て

んかん発作により転倒の結果，上顎前歯部における歯冠破折と重複した炎症のため，これが誘因となり増殖症を増長させた例で歯牙の転位もみられる。

以上がこの薬剤と歯肉増殖症に関する概要である。

施設の概要

本県では，次の表1に示すような児童福祉施設があって，それぞれ学齢期の児童が収容されている。

次の表2はこれらの施設の中から，とくに精神薄弱児施設・精神薄弱児厚生施設・重症身心障害児施設を選び，設置経営主体・施設名・収容人員・所在地別に分けて示したものである。

われわれが今回調査したのは主として精神薄弱児を収容している施設で，ここでは将来社会人と

表 1

種 類	区 分	設 置 主 体		
		県	法 人	計
養 護 施 設	—	4	4	4
教 護 院	1	—	1	1
精 神 薄 弱 児 施 設	2	4	6	6
盲 児 施 設	1	—	1	1
ろ う あ 児 施 設	1	—	1	1
乳 児 院	—	1	1	1
肢 体 不 自 由 児 施 設	1	—	1	1
虚 弱 児 施 設	—	1	1	1
重 症 心 身 障 害 児 施 設	—	1	1	1
肢 体 不 自 由 児 通 園 施 設	—	1	1	1
精 神 薄 弱 者 厚 生 施 設	1	1	2	2

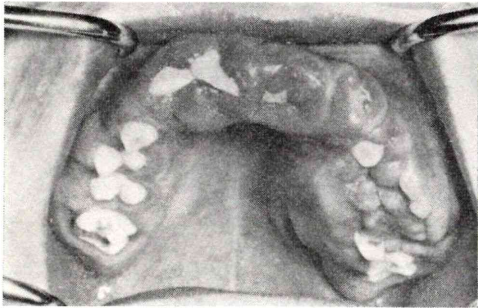


写真 3

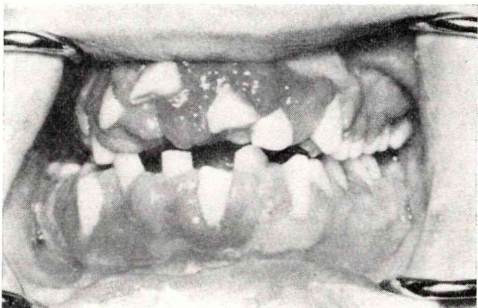


写真 4

表 2

## 精神薄弱児施設

設置经营主体	施設名	収容定員	所在地
県	近江学園	150名	大津市石山南郷町1006
〃	信楽学園	60	甲賀郡信楽町神山473
社会福祉法人	落穂寮	80	甲賀郡石部町大字東寺217
〃	彦根学園	55	彦根市高宮町2671
〃	止揚学園	30	神崎郡能登川町佐野885

## 精神薄弱児更生施設

設置经营主体	施設名	収容定員	所在地
県	しやくなげ園	90名	蒲生郡日野町小御門280
〃	あざみ寮	30	甲賀郡石部町石部3814—7
社会福祉法人	彦根青年寮	50	彦根市高宮町
〃	一麦寮	50	甲賀郡石部町大字東寺125

## 重症心身障害児施設

設置经营主体	施設名	収容定員	所在地
社会福祉法人	びわこ学園	230	野洲郡野洲町大字南桜

して自立できるよう、その能力に応じた教育を施している。児童たちはそれぞれ生家を離れて、ここの職員とともに大家族的な生活をいとなんでいる。同時に義務教育としての学校生活も修めている。児童は低学年から高学年まで年齢層で4班に大別され、各班別に生活区をもち、あるものは手芸に、あるものは陶器の作製に精出して、一面では健康児童の作品を上まわる出来ばえであり、なかには驚嘆に値する逸品も、ここの児童たちによってつくられている。

正規の教員によって義務教育を受ける。

## 調査の目的

われわれは過去2年にわたって身障者の口腔審査を実施し、患者の実態を詳細に調査した。その結果、う蝕症・軟組織疾患ともに健康児童と比較して多く、とくにてんかんの病歴を有する患者が多く収容されており、必然的に抗てんかん剤の長

期服用の結果、副作用として前述の歯肉増殖症を招来した事例が多くみられた。この疾患そのものが特殊なものであると同時に、患者が身障者であるがため、処置に対する指針が全く等閑視されていたことは否めない事実である。そこでわれわれは審査で得た詳細な資料を基にして、処置に対する指針を究明することを目的とした。

## 調査の方法

## ① 被検者

被検査は男子61名、女子47名、計108名である。

## ② 現症

現在、全身的疾患に罹患している者の代表的な疾患を選んでまとめた。表3は疾患別に分けて示したものであるが、この表示以外はごく軽症の精神薄弱児であり、特定の処置を必要としないもので表示からは除外した。

表 3

てんかん			分裂躁鬱的			自閉的傾向			心臓疾患			色素性乾皮症			ダウン症		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
16	11	27	4	4	8	15	2	17	4	6	10	1	1	2	8	5	13



### ③ 投薬と使用薬剤

てんかん患者にどのような薬剤が使用されているかを調べた。表4は、とくに抗てんかん剤を主として掲上したものであるが、1人の患者で1剤だけの投薬は皆無で、ほとんどが5剤程度あるいはそれ以上の投薬を受けている。抗てんかん剤以外に精神神経安定剤・利尿降圧剤・催眠鎮静剤・複合ビタミン剤などが使用されているが、今回の調査にはあまり関係がないので表示から除外した。

表4

薬品名	主成分	患者数	率
アレビアチン	ジフェニールヒダントイン	22	75.0
ミノアレビアチン	トリメジオン	2	7.0
ゲモニール	メタルピタール	8	28.0
フェスロン	フェナセチルウレア	1	4.0
マイソリン	ブリミドン	4	14.0
テグレートール	カルバマセシン	3	11.0
ヒダントールF	フェントイン	4	14.0
トリヌライド		2	7.0
フェネトライド		2	7.0

### 調査の結果

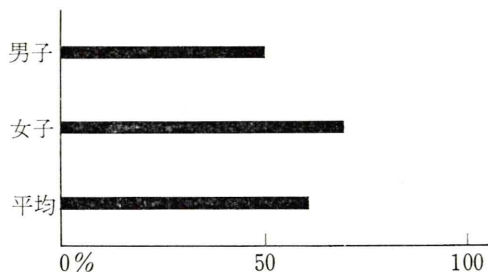
口腔内の一般状況から、う蝕症についても詳細に調査を行なったが、本論ではとくに軟組織、それも薬物性の歯肉増殖症に重点を置いているのでう蝕に関してはこれを除外する。

歯肉に病変のあるものはすべて罹患者とみなして調査した。児童の中には表3に示すように、てんかんの病歴をもつものが27名いて薬物療法を受けている。また口腔清掃も充分できない児童の中には、不潔から招来する歯肉炎もみられることであろう。そのため永久歯がまだ萌出していない乳歯だけの児童も全部を対象とした。

図1に示すように、歯肉に病変のあるものは男子が約半数で女子は70%とやや高く、平均して約60%が罹患していた。

次に問題のダイランチン性歯肉増殖症であるが、アレビチン服用者は表4に示すように22名で、全投薬者中75%を占めている。そこで、服用者の中からどの程度にこの病変が現われるかを調

図1



べた。調査の結果は次の表5に示したが、それぞれ服用者、罹患者および罹患者率を表わしている。

表5

男 子			女 子			計		
服用者	罹患者	率	服用者	罹患者	率	服用者	罹患者	率
10	8	80.0	12	5	41.0	22	13	59.0

### 総括ならびに結論

以上の調査結果を総括的にまとめると次のようである。

まず歯肉増殖症の発生率は、男子の80%と高率であり、女子の41%の低率と合わせ平均59であった。文献には一般的に56~62%の発現をみると述べられている。平均値で判断すれば妥当であろうと思われるが、問題はこの発現率をいかにくいとめるか究明の必要がある。

ダイランチン性歯肉増殖症の治療法として、大量のビタミンCが効果的であるとされている。しかし、精薄患者および心身障害者、しかも重症ともなると服用さすのが一苦勞である。投薬法を聞けば、たいていごはんの上にふりかけ、おそらくまいともまずいとも判断しかねる患者が、薬も飯もいっしょに食べてしまうのであろうことを期待して服用させているらしい。悲惨この上もない話である。

もう一つの方法は増殖した歯肉を取り去る歯肉切除術がある。しかしこの方法も投薬をつづけているかぎり絶対に治らない。術後1週間にしてまた元の状態に復してしまう。まことにやっかいな疾患である。

歯肉増殖症がこの薬剤によって頻発する事実は疑うべきことではない。しかし、いまだに発症機序が解明されていないため、はたして薬剤の絶対的な副作用の結果招来する、と解釈するのは早計といわねばならない。なぜなら、てんかん患者にはこの薬物投与と無関係に、歯肉増殖に対するある種の素質を有するという事実があるようである。そのため他の未知の因子が同じような役割を演ずると信じられている。このことからさらに考えられることは、アレピアチンで治療を受けただけでもが全部これらの歯肉増殖症にかかっていないということである。加えて局所刺激(因子)が誘因となって助長することは決定的であるが、写真4に示すような症例も2次的炎症性変化への傾向は、適切な口腔衛生と、規則的な口腔衛生と、規則的な歯科検診によって減少するともいわれている。もっとも端的な方法としては担当医と充分討議の上、アレピアチンの減量、または他の抗てんかん剤に変えてもらうことが先決であるが、他科の診療方針を侵す越権行為は慎むべきである。

以上を要約すれば、われわれの立場では、すべ

ての局所の刺激因子の除去と適切な口腔衛生について指導もでき、適切な処置を施すことをたえず実行できるならば、ある程度の改善が期待されるのではないかと考えられる。

本県には前述のように、県が主体となっているものと社会福祉法人の経営する施設とがあり、この中には精薄患者、重症心身障害児が数多く収容されている。われわれの過去2年にわたる調査でも約3割程度投薬を受けている患者がいたが、全部の施設にはまだ多数の患者がいることが推察できる。われわれの日常の診療は多忙をきわめ、加えて歯科医師数においても本県は全国的にも屈指の過疎県である。しかし薄幸の児童を救済できるのはわれわれしかなく、全国的にはまだ知られていない実態も早急に調査してもらい、児童らに福音をもたらすことこそ学校歯科医の聖職たる意義であると考えます。

擱筆するに当たり、本調査に御協力賜った各位に深謝するとともに、資料として寄与できれば幸いである。

## むし歯のぼくめつ

——歯ブラシはむしばを防ぐ道具ではない——

町田市 細井 啓太

歯はガラスくらいの硬さがありますが、ガラスのようになめらかではなく表面には小さなあなやデコボコがたくさんあります。体の中では一番硬いのですが、カルシウムでできているので、強い酸にありと溶けてしまい、むし歯のできはじめになります。むし歯のバイ菌はいつも皆さんの口の中に住んでいて、バイ菌が働きやすい条件を与えてやれば少量ですがすぐ強い酸を作ります。強い

酸の原料は含水炭素食品(糖・穀物)です。

しかし人体の仕組みはよくできていますから、すこし気をつければ、自然の自浄作用で口の中は掃除されて澄んだ流れのようになります。歯を養っている血液も全身を流れている血液も同じですから、健康で栄養のよい場合は、自浄作用もよく働いて歯も歯肉も病気に対して強くなりますが、病気の時とか、食物のとり方がアンバランスになっ

注 (1) これは著者が来院の患者に配布するために作ったものです。

(2) 会誌第26号のP.102の「歯ブラシでたんねんに清掃することが必要だと思ふんです」という著者

の発言を次のように訂正したいという申し入れがありました。

「歯ブラシをたんねんに使っても、食物のバランスがあるければ予防には無効です」

た時は、口臭などもでて口の中は不潔になってきます。こういう状態の時は歯の治療をしてもなかなか治りません。そこで気をつけていただきたいことは、

1. 白砂糖をできるだけ食べないこと
2. すき・きらいをしないこと
3. 食事の時よくかむこと
4. 含水炭素食品を食べたあとは、水でいいのですからブクブクうがいをして早く洗い流すこと

です。さらにむし歯を防ぐ薬を使ったり、地域社会全体でむし歯予防に努力するのが大切なことです。

#### むしばの予防薬

水道の水1リットルの中へ「フッ化ソーダ」を0.6ミリグラム(1ミリグラムは $\frac{1}{1000}$ グラム)入れた水を飲料水として使っていると、むし歯が平均40%減ります。もちろん、人体に害はありません。アメリカでは国民の1/3以上の人たちがこの水を使ってむし歯を防いでおり、費用は1人年間36円と報告されております。この薬は水に入れても味・色・臭気などを一切感じません。日本の法律ではこの薬が0.8ミリグラム以下であれば上水道水として使うことを認めています。

ねずみとりの薬を使う場合、町中でいっせいに使うのと同じで、近所の人たちに白砂糖のお菓子を贈れば互いに食べすぎになってしまいます。砂糖ばかりではなく地域社会全体として健康・歯の衛生に関する知識の啓蒙は大変必要なことです。

#### 食べもの

##### 白砂糖

白砂糖は食品ではなく嗜好品です。白砂糖を食べるとこれを消化吸収するために、他の食物からとった栄養分を使わなければなりませんし、食べた時は甘くも体の中へ入ると酸性を強くします。同じ量の白砂糖を1日1回食べさせたのと、好きな時に何回も食べさせた場合とでは、あとの方が10倍もむし歯になったという実験があります。

さらに白砂糖の消費量と、むし歯のできる関係は比例していることもわかっています。現在日本人は1人1日80グラムの白砂糖を食べています

が、大人で1日30グラムまで、3歳の小児では10グラムが限度といわれており、多すぎると害になります。人間は三度の食事で生きているということの基本にして、黒砂糖かハチミツを食べるのは心配ありません。おせんべいは甘くなくも穀物であることを注意して下さい。

菓子類の中の白砂糖の量

生クリームで飾ったケーキ(1切) 20~30g

カステラ(普通の1切) 15g

まんじゅう(1個) 18g

ジャム70~80%が砂糖 おはぎ(1個) 32g

アイスクリーム(100g中) 20~25g

シュークリーム(1個) 15g

チョコレート(普通の大きさ) 17~20g

ドーナツ(1個) 8g しるこ(1杯) 45~70g

コーラ(1本) 13g ぜんざい(1杯) 36g

ジュース(1本) 20g

中華まんじゅう(あん) 1個 32g

カルピス(1杯) 6倍にうすめて9g

角砂糖(コーヒー・紅茶で案外使われている)

大1個 6.3g 小1個 3.3g

砂糖の小袋 10g

疲れたら甘いものを! は誤りです

日常の社会で普通の食事をとっている人が仕事をして疲れたら休めば治ります。オリンピックの競技中疲れるでしょうが、アメを食べている選手が1人でもあるでしょうか。

#### 野菜

米・麦・野菜・大豆があれば健康が保てるといわれます。季節の野菜を種類多くとるべきです。「なま」にこだわる必要はありません。煮たりいためたりした方が食べやすくなります。海藻も忘れないうで下さい。くだものは野菜の代りにはなりません。くだものにはくだものの特徴があります。大人で1人1日500グラムの野菜が必要といわれます。野菜・くだもの・イモ・海藻等はアルカリ性食品です。

#### 肉・魚

獣肉・マグロのさしみなどは大きな動物の筋肉だけを食べるわけで、酸性食品ですから多すぎる



と害になります。小魚は骨も食べられますからよいわけですが、たん白質は100%動物性にしないで、大豆たん白のように植物たん白をとる努力も必要といわれます。動物たん白が多くて野菜が少ないと、歯肉が赤黒くなって血がでやすくなり、将来、歯槽膿漏になることもあります。

#### チューインガム

以前はガムは歯をきれいにするといわれました。けれどガムは白砂糖をたくさん含んでいる上に、かむと強い力で白砂糖とばい菌を歯の溝や小さなあなの中へ押しこんでしまいます。これは絶対に食べないことです。

#### 歯ブラシ

むし歯の原因はむしではなくてばい菌です。このばい菌は長いもの（桿菌）と丸いもの（球菌）の2種類です。そして桿菌の長さは1から2ミクロン（1ミクロンは $\frac{1}{1000}$ ミリメートル）で球菌の直径は0.5ミクロンです。奥歯のかむ面に開いている溝の幅が50~200ミクロン、深さが500~1000ミクロンです。むし歯の三大好発部位といわれて

いるところは、奥歯のかむ面・歯と歯の隣り合っている面・歯の根もとの歯肉に接している部分です。ばい菌はどこでも自由に入っていきます。けれど、歯ブラシの1本の毛の直径は300~400ミクロンありますからバイ菌の長さを1センチメートルとすると歯ブラシの毛1本の直径は3~4メートルあることになります。ですから小さなばい菌を掃除しようとしてもむりです。歯ブラシは朝、顔を洗う時に口の中もたしなみとして使うほどのもので、食物のとり方をわるいままにしておいて1日に何回歯ブラシを使ってもむし歯予防の効果はありません。しかし歯肉をマッサージする目的でローリング法を正しく行なえば歯肉炎・歯槽膿漏の予防には役立ちます。もちろん食物のバランスを心掛けてのことです。使用上大切なことは、歯を横に強くこすり過ぎて、歯のつけ根のところを減らさないように注意するべきです。

最後に、歯が腐ってくるような食物のとり方をしたり、子どもにさせたりしながら、いかに熱心に治療にかよっても結果はよくなりません。歯科医師は神ではないのですから。

## う蝕進行速度に対する一考察について

京都府歯科医師会 後 藤 宮 治

う蝕進行の速度について、これを科学的に究明し実証することは、しばらく他日に譲り、過去20年に及ぶへき地巡回診療の実施から得た。体験に基づいて臨床的に考察する時、下記のような事実をあげることができる。

- (1) う蝕1度から2度に進行するには大体8カ月を要す。
- (2) う蝕2度から3度に進行するには大体5カ月を要す。
- (3) う蝕3度から4度に進行するには大体2カ月を要す。

というのが通常であるが、その理由としてはもとより一様に律することはできないが、次のよう

に考えられる。

(1) う蝕1度から2度に進行するには、かなり時日を要するのがふつうで、これはハウロウ質がう蝕進行に対し、抵抗力が強いによるものである。

(2) う蝕2度から3度に進行する速度の早められるのは、象牙質がハウロウ質に比べ抵抗力が弱いことによるのである。

(3) さらに、う蝕3度から4度に進行するのは、速度がいっそう早く、この段階にいたっては、歯髄が壊死し、歯質が脆弱となっているので、短時日に進行するものである。

このう蝕進行の速度を左右すると考えられるの

は、

(1) 歯質のう蝕に対する抵抗力の強弱……については、遺伝的關係および妊娠中の栄養摂取が考えられ、かなり大きな理由としてあげられ、これを実際にみることができるものである。

(2) 歯牙清掃が完全であるか否か……その方法の適否、回数と時期として、食事直後、就寝前、起床後などの実施時を合理的に考慮すべきである。

(3) 嗜好品の種類と摂取量……くだもの、野菜などを好む者と糖分を多く含む菓子類を好む者、およびこれらの物に対する摂取量とその回数も理由となるのである。

(4) 唾液の性状と分泌量……唾液の粘稠度および分泌量の多少により、自然的に行なわれる清掃度に左右されるもので、粘稠度が少なく分泌量の多い場合は、常時唾液によって清掃されるので、う蝕の進行が阻止される。

(5) 咀嚼の問題……完全咀嚼は消化を助け、栄養分の摂取を助けるとともに、摩擦による自浄作用によりう蝕の進行を阻止する。

(6) その他、すべての生活環境とう蝕に対する自覚の多少が支配するのは当然というべきである。

ここにおいて、う蝕の進行を阻止すべき対策と

して考えられることは

(1) 年2回以上学校における歯牙の検診を行ない。早期にう蝕を発見し、早期に処置すべきである。

(2) 処置後も歯牙の清掃を完全にし、2次う蝕の発生とう蝕の進行を阻止すべきである。

(3) 完全な咀嚼を励行し、歯質を強化すべき栄養を充分にとり、同時に日光浴により歯質の強化をはかる。

(4) 妊娠中の栄養摂取に留意し、胎児の歯質を強化することを根本的対策として重視すべきである。

(5) 糖分の過剰摂取を避け、児童生徒の間食についても、つとめてくだものなどを主体とすべきである。

(6) 学校における給食後の口腔清掃を実施し、この良習を家庭に延長し、習慣形成を行なうべきである。

これを要するに、う蝕進行速度は、歯質の強弱と清掃のいかに加うるに、う蝕に対する衛生観念と意欲のいかに大きく作用するのは当然なので、この点について自覚を促し指導すべきで、他人によって強制されるのではなく、自らがこれを自覚して自発的に実践することの必要を痛感するものである。

## 学童期における初期う蝕とアマルガム充填

大阪府公立学校歯科医会常務理事 岡 村 親一郎

処置率の向上競争はほんとうの意味で、う蝕の進行抑制に役立っているだろうか？。判断の甘さが医原性二次う蝕を多く作っている。……ということ。

学校歯科検診におけるポイントの第一は C<sub>1</sub> のチェックである。C<sub>1</sub> が将来、より重篤な経過をたどらないための早期処置を期するのが目的であり意義である。熱意のある学校ではただちに処置を勧告し、歯科医師はそのほとんどすべてをアマ

ルガムによる修復で終わっているが、昨今の二次う蝕発症パーセントはみのがせない問題であることに気づく。

近年のう蝕発症年齢の低下は周知のとおりで、はなはだしいものは「むし歯が生えて来た」ともいえるほど歯質がわるく、早くう蝕に罹患している。

正常な歯質でも出歯後3年くらいは石灰化が進行中であり、歯根端はもちろん未完成であるから、

この時期の充填は辺縁封鎖の完全な金合金インレー以外は、二次カリエスを予防できるものではない。

早期治療が人工う蝕 (Iatrogenic Caries) を作ってはいけない。

出齦時期と、う蝕活動性、歯質を頭においた処

置が大切である。

もう一つは過剰水銀の廃棄、吸収による公害であるが、これは本論とは別の次元で論議さるべきものであるから触れないが、重要なものであろう。

## 学校歯科医の責任と法解釈について

大阪府立高等学校歯科医会 杉 本 茂 春

### はじめに

学校保健法一部改正を機会に、学校歯科医の法解釈の甘さ、ひいては、国の施策のとらえ方が必ずしも充分でなかった点を反省し、さらに、今回の歯科関係改正点について、今後の問題とその対応策を考えてみたい。

学校保健法制定の根拠を考えると、学校保健法は、学校教育法第12条(健康診断等)「学校において、別に法律で定めるところにより、学童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図るため健康診断を行い、その他その保健に必要な措置を講じなければならぬ」の条文に則って、制定された。

### 学校保健法の説明

学校保健法第1章総則のなかには

第1条(目的)

第2条(学校保健計画)

第3条(学校環境衛生)

がある。

第2章健康診断及び健康相談のなかには、第4条・第5条(就学時の健康診断)、第6条・第7条(児童、生徒、学生及び幼児の健康診断)、第8条(職員の健康診断)、第9条では、以上の健康診断に対する事後措置が義務づけられている。第10条(健康診断の方法及び技術的基準等)とあって、学校保健法施行令・施行規則が定められている。

第11条(健康相談)「学校においては、児童、生徒、学生または幼児の健康に関し、健康相談を行なうものとする」となっていて、前条までの義務づけられたきびしい命令形でない、弱い表現となっている。

第3章伝染病の予防

第4章学校保健技師並びに学校医、学校歯科医及び学校薬剤師

第5章地方公共団体の援助及び国の補助

第6章雑則

第19条(保健室)

第20条(保健所との連絡)

第21条(学校の設置者の事務の委任)

となっていて、大きな学校保健関係諸問題に対して、もれほうだい、抜けほうだいの粗い網目がかけられているといえる。

たとえば、学校保健法の目的は、

第1条「この法律は、学校における保健管理に関し必要な事項を定め、学童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図り、もって学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする」とあって、主たる目的は学童、生徒の健康の保持増進を図ることである。また、その目的の範囲は、あくまでも学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することに尽きる。

たてから読んでもよこから読んでも(むし歯の予防・むし歯の治療)をうたった箇所は全くない。



歯科に関するかぎり、関係法令の不備が指摘されなければならないし、学校保健法自体がザル法の譏りをまぬがれることはできないであろう。

#### 学校保健法の成果をたずねる

学校保健法を読むほどに、法の網の目の粗さがめだつ。

これで、どんな成果が期待できるのであうかということであった。

たとえば、健康診断後、保護者に診断結果を通知し、治療を指示しなければならないと義務づけてはいるが、拘束する力はない。

また、健健相談にいたっては、これを行なうとあって、必ずしも行なわなければならないと解釈する必要はない。

しかも、歯科に関しては事実ほきびしく、う歯被患率の急激な増加となつてあらわれてきた。

（文部省指定15号・学校保健統計）戦後30年、学校歯科医は何をしていたのか、学童、生徒に何をしあげられたのかという自責の念にかられる。

#### 学校教育法関係法令とその効果

学校保健法の、粗い法の網の目をぬりつぶすように多くの関係法令がある。

学校教育法第12条運用についての関係諸法令は次の通りである。

##### 学校保健法

- （学校保健計画）
- （学校環境衛生）
- （児童生徒の健康診断）
- （職員の健康診断）
- （児童生徒の健康相談）
- （伝染病の予防）
- （医療費の援助）
- （保健室）

##### 関係法令

（環境衛生）

水道法

清掃法

下水道法

（疾病の予防）

結核予防法

予防接種法

伝染病予防法

トラコーマ予防法

寄生虫病予防法

（保健所との関係）

地方教育行政法

公害対策基本法

目の粗い学校保健法に、目の細かい関係者法令をかぶせることによって、今日では、結核も、トラコーマも、寄生虫病も非常に少なくなった。

これは関係法令の実効果があらわれてきたことを意味するといえよう。

#### 6 むし歯予防法

むし歯予防法が、今日なお、制定にいたらないのは、むし歯が個人個人の咀嚼障害を伴うやっかいな疾病でありながら、社会的な弊害が少ないとみる国の施策の甘さにもよる。

しかし、一面には、学校歯科医の法解釈の甘さが大きくわざわざしたのではなからうか。

#### 7 学校保健法一部改正と将来の見通し

不正咬合、歯牙の異常のほか、歯齦炎、歯槽膿漏から口腔領域の新生物にいたるまで、口腔軟組織疾患の診断が新しく義務づけられた今回の法一部改正は、診断権の拡充という名において、学校歯科医の立場が、歯牙処置医の位置から、口腔科医としてランクづけられたと考えてよからう。

将来は、公害問題、環境衛生諸問題の口腔内発現率把握にあずかって貢献し、その発現機序解明に役立つ日も、やがて、やってくるであろうことを予測するものである。

## 学校歯科保健活動の新しい方向づけ

大分県歯科医師会副会長 毛利 彊

### はじめに

学校保健活動には、児童・生徒の現在の健康を守り、健康を高めるように配慮するところの保健管理と、成長過程の中で、健康の原理にかなったことを実践し、将来自分のことだけでなく、家庭、地域社会、国といったそれぞれのレベルで、健康を考える人間になることを期待して行なう保健教育と、さらに、管理と教育がうまく展開されるため、学校内外の人びとが力を合わせて行なう組織活動とがあります。

したがって、保健管理、保健教育、保健組織活動の三者が、うまくかみ合い、有機的、総合的に一体となってすすめて行かなければ大きな効果が生まれません。

この三者を、継続的に、意図的に実施するための施策が、学校保健計画でなければなりません。

だから、学校保健計画は、それぞれの学校が、それによって実施する教育的な保健のプログラムの展開ということになります。

学校歯科の保健活動についてもさきに学校保健活動で言及しました三つからなっております。ただ、歯科という専門の立場から児童生徒の歯や口の健康を守り、その健康を保持、増進するような人間を作るということになります。

ここで注意したいのは、学校歯科保健の大事なことは、そのことによって、児童・生徒の心身の健康、子どもの生活する社会の健康という広がりがあるわけで、ただ単に、歯の病気がどうであるとか歯の健康がどうであるとか、それ自体はもちろん大事なことではありますが、それは結局、こどもたちの全身の健康とか、こどもたちの住む社会の健康な文化生活といったものにつながっていくということを念頭におかなければなりません。したがって、学校の歯科保健活動は、学校保健全

体の中でとらえて行かないと、どうしても意識過剰になって、空回りする結果を招きます。

そうならないためには、学校保健計画の中に、学校歯科保健計画をセットし、それによって実施しなければなりません。

しかし、その場合、歯科の特異性を把握する必要があります。ここでは、歯科分野で特に注意しなければならない二つの点について申し上げたいと思います。

### 健康診断、つまり歯科検診について

これは児童・生徒の健康状態をつかむために欠かせない仕事であって、この実態に応じて、学校歯科保健活動が展開されるわけです。

しかし、学校における健康診断は、スクリーニングを目的とするもので、原則的には、病気や異常の存在を自覚しない集団の中から病気や異常のあるもの、または、その存在のおそれのあるものをふるい分け、選び出すものです。

むし歯があるかないか、歯ぐきの病気があるかないかをチェックして、もしそういった疾病、異常があれば、精密検査に回して、診断の確立、治療、その他の必要な処置をうけさせなければならないので、必要な予防処置や指導を行えばよいわけです。

ところが歯科に関する限り、病気や異常は 100 人のうちほとんどの児童・生徒が、なんらかの形でこれに冒されているのが現状で、極端に言えばスクリーニングをしなくてもいいということになってしまいます。

この無数に存在するむし歯や、歯ぐきの病気を、いかに処置するかという方策は、学校保健の範囲だけで考えないで、国家的な体系を樹立し、その中で考えていかなければならないが、文部省に

も、厚生省にも、そのような気運が見られないことは、残念でなりません。さいわい、最近、各地に設置された地域保健委員会は、これらの問題を地域社会の問題として、優先的に、また重点的に取り上げることと思いますので、連絡を緊密にとって、学校内の保健活動と表裏一体の態勢を確立することが必要と考えます。

したがって、学校検診の時には歯科は大まかなスクリーニングを実施し、あまり健康診断そのものには力を使わず（軽視するわけではありませんが）、むしろ事後の予防処置や、健康相談、保健指導の面に、もっともっとエネルギーをそそぐといった方向で、学校歯科の管理活動を考えるべきではないかと思っています。

現在の学校歯科の姿勢は、検診と事後措置（主として処置率の向上）の直結が強すぎて、管理、教育、組織の三活動を軸とした本来の学校保健活動とは異質のもののような感じがします。

#### 歯は特異な発育過程をたどる

昨年の「教育大分」9月号に詳しく発表いたしましたが、2、3の例を挙げますと、乳歯と永久歯の2種類の歯が、小学校1年から中学1年の間に交換したり、生えた歯が根の先まで完成するの

は、永久歯に例を取っても小学校4年から高校1年という長い期間がかかることや歯をささえる顎、歯列の発育は高校1年頃にほぼ完了する等、胃や腸や肺を始め、他の臓器と非常に異なった性質を持っており、しかも病気になりますと、絶対に自然治癒をいたしません。

ここ数年にわたり、学習課程が改められ、定期の健康診断も学校行事の一つとして新たに教育活動の中に位置づけられ、学級指導においても、保健指導が明示され、主として学級担任が計画的、かつ継続的に保健指導を行なうべきことが明らかにされております。

学級指導や、学校行事の中で、授業として行なわれる保健指導もいくらか教育活動の中に位置づけられても、実際にこれを教え指導する教師に、歯科の特異性を理解した歯科保健の素養がなければ十分に教え指導することはむずかしいと思います。

教育課程の中に歯科保健関係の教育場面が、どういう場所に、どんな機会として存在するか、またどのような形でとり上げて行くべきか、1日も早く、学校（現場）における歯科保健の方向づけと、定着化につとめなければならないと考えます。



## 佐世保市立港小学校の洗口手洗場について

長崎県学校歯科医学会長 江 崎 清

待望の洗口場が、このたび市教育長辻光徳先生の英断によって、新設の港小学校に設備されたのであるが、学校保健の向上、施設の充実のためにまことによろこびにたえないことである。

また本校の洗口場は、熊本市城東小学校を視察し、検討して作られた、いわば城東小学校洗口場の改良型ともいべきものであって、この後次々と各地の学校に設備されるであろう洗口場のモデルケースにもなると思われるので、その意義はきわめて大きいのである。

ここに御許しを得て、紹介をさせていただくことにした。以下本校についての概要の一部を抄記しよう。

校名 佐世保市立港小学校

位置 佐世保市天神町 103 番地に建ち、雄大清澄な佐世保港の全貌が近々と眺められる風光絶勝の地、崎辺ヶ丘の中腹にある。

校舎 鉄筋コンクリート 4 階建……3 カ年で完成させる計画である。

昭和49年 4・1 創立、開校

昭和49年 4・2 第 1 期工事完成

現在、教室 8、職員室 1、放送室 1、保健室 1、教具室、更衣室、便所・各階、仮設（集中下足室・給食調理室・用務員室）である。児童は毎年ごとに逐次収容し、3 カ年で終わる。

昭和49年度：1 年生・4 年生 288 名

昭和50年度：1・2・4・5 年生 695 名

昭和51年度：全学年

洗口場は校舎の外側に突出して設けられていて、室ではないので以上の教室には加えられない。

洗口場について

洗口場の設計図は別ページに掲げてあるが、本校においては次の諸点を考慮して設計されている

ことを注目していただきたいのである。

(1) 学級ごとに洗口場を設けた。

(2) 1 つの洗口場につき自在カラン 7 個を取り付け、別にステンレス給水管を手前に取り付けて、この管に 8 つの噴水口をあけた。そのため 15 人が同時に洗口可能である。したがって 1 学級の児童は 3 交替で洗口ができるのである。

(3) 水量調節弁——児童たちが給水弁をいたずらして、水量の異常噴出を起こしては困るので、給水弁のほかに水量調節弁を設けた。この弁は先生でなければ開閉はできないようにバルブで水量を調節する仕掛けになっているから、児童たちが勝手に給水弁を開いても、水はつねに一定の高さに、また一定の量だけしか出ないのである。

(4) 噴水口の導管はステンレス鋼管で、ステンレスは、字の示すとおりさびない鋼管であるから、清潔感をもたせるためにこれにした。

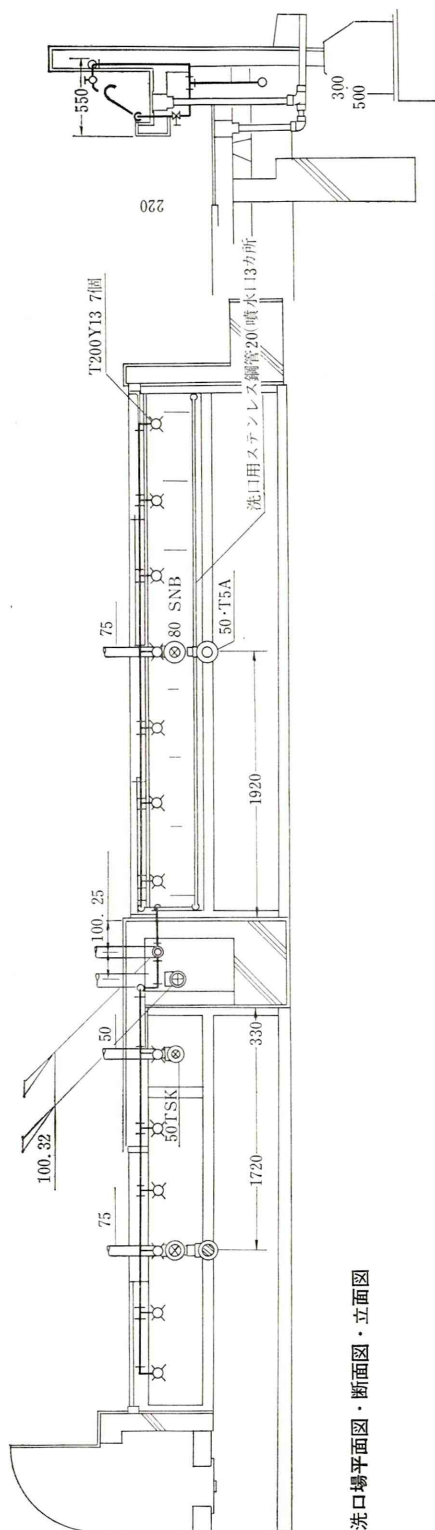
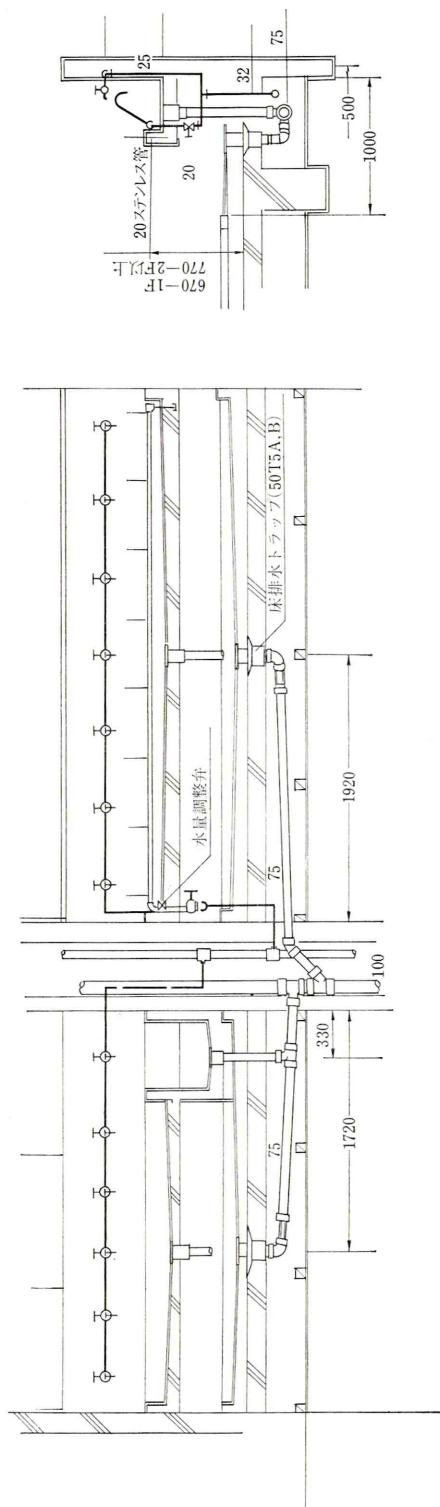
(5) 洗口場の床は人造とぎ出しにした。洗口に際して水のシブキは、はね返りなど床の水濡れを考慮して、とぎ出しにしたのである。

(6) 廊下の幅は洗口場を設備するためにやや広く 2.8メートルにして、洗口場を外に張り出して設けた。しかし外観上は一般建築と変わりはない。

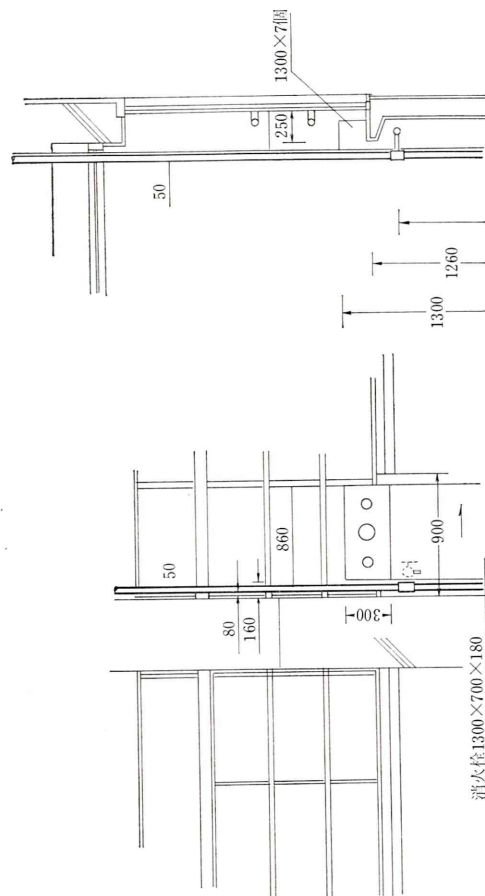
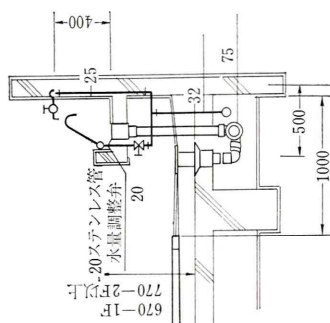
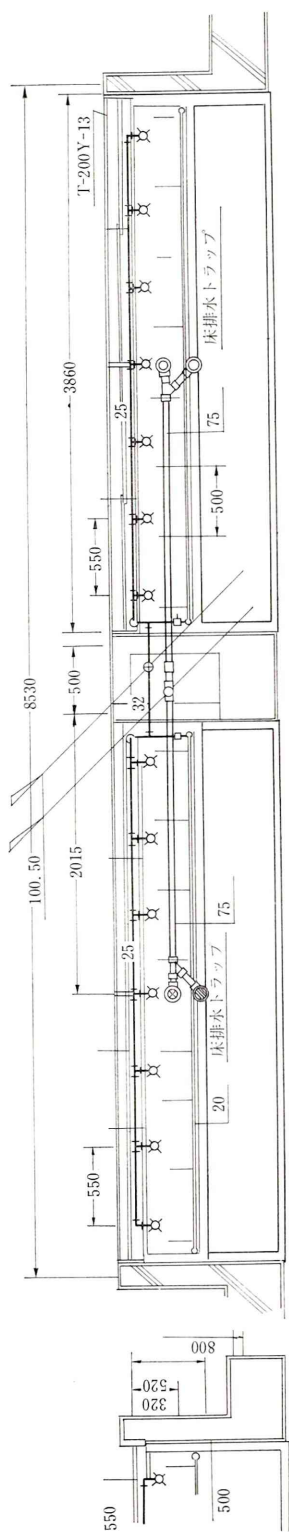
(7) 床の排水トラップは洗口場の床に取りつけた。これは床の水はけのためである。

以上挙げた 7 項目は、洗口場設備に当たって特に留意されたことがらである。今後、港小学校の洗口場が 1 例となって、各地において各学校がそれぞれに、その特質を生かして、洗口場を設備されることを祈ってやまない。

なお本校のように学級ごとに洗口場を設けることの費用概算は、校舎建築の約 10% 増という



洗口場平面図・断面図・立面図



洗口場設計図



ことである。

また設計図には洗口手洗場と記載してあるがこの洗口場は洗口専用には用いるのではなく、食事前の手洗いや、その他の手洗い、または必要時の咽・喉頭のうがいも兼ねるので、手洗場の名称をも加えたのである。

以上をもって、一応、佐世保市港小学校洗口場紹介の拙文を終わることにするが、どうか大方の御批判を仰ぎたく切望する。

終りに本稿を草するに当たって、佐世保市教育長辻光徳先生、市教委総務課施設係長中松正治殿、市営繕設備係機械技師茅原喜久夫殿、これらの方がたの絶えない御支援、御協力を得たことに心から感謝いたします。また遠隔地熊本にあつて、終始御指導御鞭達をいただいた日本学校歯科医会副会長栃原義人博士の激励も感激で、厚く御礼を申し上げる。

## 昭和49年度へき地学校巡回診療終わる

熊本県学校歯科医会巡回診療班代表 栃原 義 人

昭和38年以来実施してきた熊本県へき地学校の巡回歯科診療は、本年度もまた主催の県教委、関係町村教委・後援の県学歯会・県学保会の協力で、熊本県学校歯科医会巡回診療班によって、いわゆる熊本方式に則り下記の昭和49年度、へき地巡回診療の概要表の通り巡回を終わり、一応の成果を納めることができた。

昨年は、県教委が文部省の補助金を受けて新考案の窪山式へき地学校巡回歯科診療器械3セットを購入し、8カ所に学校診療所を開設して一巡した。その直後、その器械は、東京の製造元に返送し、十分に体験を生かし改善を加え本年に備えてあった。本年度の巡回診療が始まると、巡回診療班代表の名で全責任を負っている筆者は、この器械が最終まで無故障であるように神仏にひたすら祈りたいほど心配した。幸い大過なく9カ所を一巡しホッとしている。それは全行程に同行し終始診療器械一切の面倒をみてくれた県歯会職員原口喜義氏の努力に負うところが多い。県歯会ならびに原口さんのご厚意に深く感謝する。なお、現場に出動された会員の諸先生やアシスタントの方がた、器械運搬などに協力された歯材商店、ならびに関係方面の各位に敬意を表し深謝申し上げる。

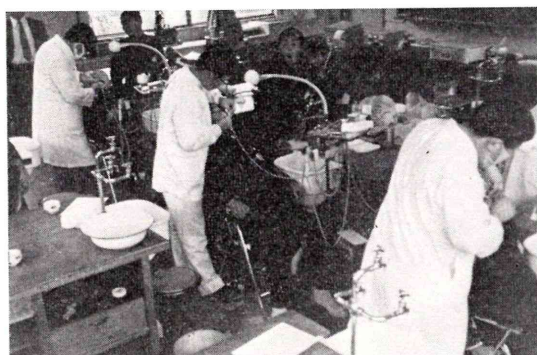
### 球磨郡山江中学校での巡回診療

昭和49年度、巡回歯科診療の最終診療所（第9番目）は球磨郡山江村立山江中学校に開設された。山江村は子守唄で有名な五ツ木村に隣接する宇土郡市にも匹敵する広面積の純農山村で、自然の景観が今もそのまま残っている桃源郷である。かねて、私は、信用できる標準型へき地学校巡回歯科器械セットの完成を熱望していたので、本年もまた、東京、大黒産業会社の窪山祐輔社長に現場の實際を視察研究して、重ねて改善を加えてもらうよう話してあった。この要請に応じて同氏は、本年度最終の診療所、球磨の山江中学校に筆者と同道することになった。

11月12日(火)曇、午前6時、窪山社長の車に県教委野口みどり主事、県歯会事務局原口さん、筆者とがそろって同乗し熊本市の自宅を出発、一路南下、8時20分、山江中に到着、早速、今村校長に挨拶した。隣接して山田小学校がある。

窪山式歯科器械3セットその他は藤江歯科商店さんが八代から運んでくれた。広い理科室に治療いす4台を据え診療場所の設営なる。本日の対象は中学生で、第2日は小学生である。人吉市歯科医師会からは、当校の学校歯科医熊野御堂吉人氏ほか、唐見、新名、那須、井上、武末憲一の6先生

が参加された。第2日には、診療所管理者の熊野御堂氏を残し、堤会長、瀬戸、松本、花田、岩崎先生らが新たに出動される予定である。球磨での学校巡回診療では、人吉市歯科医師会全会員が半数交代2日間出動するのが恒例になっている。器械の回転もまず快調、タービンの切れ味も新しいバア使用によりまず支障なさそうであった。ヒューズはしばしば飛んでいたようであった。現場で驚いたのは中学生にう歯の多いことで、多いのは



山江中学，理科室

10歯もあり、平均3本のア充となっらしい。

昼食は村教育長久保山先生、山下主事さんらの案内で、村立養魚場のある村立自然博物館のしゃれたあずまやで川魚料理、山菜料理をいただく。ここにはプール施設や珍しい源氏ボタルの養殖場があり、ソーメン流しの本場で、夏期はにぎわうそうである。診療は午後4時半終了。筆者はそれから帰途につき7時半無事帰宅した。

こうして、本年度の巡回診療は大した器械の故障もなく翌11月13日をもって全日程を完了することができた。そして、14日の午前・県歯会館で使用すみの現物器械について改善すべき点を詳細に協議した。ついで、器械はふたたび窪山社長により車に積載され帰京の途につき宮崎県の日本フェリー一日向港(細島)へ長駆し晩7時発の高千穂丸で東京に向かった。

さて、この巡回歯科器械は東京の製作元で充分改善され次の診療に備えられることになった。筆者は、自信をもって全国的に広く推薦できる“へき地学校巡回歯科器械セット”の出現を心から期待しているものである。(昭和49年11月15日記)

昭和49年度、へき地巡回診療の概要

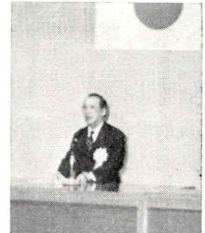
診療所 開設場所	期 日	受療者数	診療所 責任者	実施責任者	出 動 班 員	県係員	器械運 搬等
球磨 五木東小	9月20, 21日 (金, 土)	134	唐 見	人吉市学歯会 (堤)	唐見, 武末昂, 武末憲, 岩崎, 那須, 井上, 松本, 新名, 瀬戸	小田係長	藤江歯科 商 店
天草 大江小	10月1, 2日 (火, 水)	146	松 田 内 藤	天草郡学歯会 (渋谷)	渋谷(外1名), 青砥(外1名), 松田(外1名), 横山(外1名) 内藤, 規矩保(外1名), 深川 (外1名), 浜崎とし子(外1名)	上村主事	サンエス 木 材 店
天草 湯島小	10月4, 5日 (金, 土)	43	田 苗 毛 利	宇土郡市学歯会 (田苗)	田苗(外3名), 青山	木原 "	"
芦北 大野中	10月8, 9日 (火, 水)	68	竹 本	水俣, 芦北郡 市学歯会 (中村)	竹本(外2名), 中村, 野村	野口 "	"
阿蘇 山鹿小	10月18, 19日 (金, 土)	174	高 森	阿蘇郡学歯会	高森(外4名)	小田 "	内田歯科 商 店
阿蘇 菅尾小	10月22, 23日 (火, 水)	170	宇 治 菊 池	" (小島)	小島, 宇治(外2名)菊池	木原 "	"
上益城 清和中	10月25, 26日 (金, 土)	157	前 田	上益城郡学歯会 (前田)	前田, 神戸威(外2名), 田中(外 1名), 豊田, 原口(外1名), 四 宮(外1名)	野口 "	"
八代 泉 中	11月6, 7日 (水, 木)	123	矢毛石 吉 田	県学歯会本部 (矢毛石)	矢毛石, 師井(2名)奥田(1名)	"	"
球磨 山江中	11月12, 12日 (火, 水)	260	熊野御堂	人吉市学歯会 (堤)	熊野御堂, 唐見, 井上, 那須, 新名, 武末憲, 堤, 松本, 花田 瀬戸, 岩崎	"	藤江歯科 商 店
	計	1, 275					

# 49年度学校歯科保健講習会

長野県・長崎県



文部省 倉地課長



日学歯 湯浅会長

文部省との共催による学校保健講習会（歯科）は49年度は東日本を長野県にて10月17、18日、西日本を10月29、30日に長崎県で開催した。両地とも、文部省学校保健課倉地克次課長、日本学校歯科医会湯浅泰仁会長、地元県教育長、地元歯科医師会長、学校歯科医会長、などの挨拶があって、講義(1)～(5)、研究協議会、長野においては学校視察をまじえて、両会場とも500人程度が熱心に講習を受け、活発な質疑もあって、5カ年計画の第4年度を終えた。

## 講義 1

### 学 校 保 健 の 動 向

文部省体育局学校保健課長 倉 地 克 次

学校保健法施行令の一部改正については講義の



長野県の歯科巡回指導車・すずらん号、会場前にて

2で能美氏が説明するが、大きい変化としては

- (1) 色神を色覚とかえて検査を毎年しないこと、口腔ということを付加したこと、心臓のX線検査、尿検査を隔年に行なう、結核検診が小学校1年、中学2年だけになった。予診的アンケートをするなどである。
- (2) 学校環境衛生基準を作るため、目下、協議中である。
- (3) 養護教諭の定員増強、5年以内には75%の小中におかれるようにする。
- (4) 学校医の報酬引上げ
- (5) 学校保健センターで種々対策を研究中である。



学校保健法施行令等の一部改正と学校歯科保健

文部省教科調査官 能 美 光 房

学校における健康診断

- 1. 新しい健康診断のねらいとするもの  
保健体育審議会の答申（昭和48.12.20）  
答申の生まれた背景を色どる条件
  - ① 疾病様相の変化
  - ② 体位・体格の向上
  - ③ 生活環境の変容
  - ④ 保健・医療制度の変貌
  - ⑤ 生命観・健康観の変遷
- 2. 改正のポイント〔施行令・施行規則の一部改正（48. 5.17 政令138号・文部省令12号）・施行規則の一部改正（49. 6.20 文部省令30号）〕
  - 1) 児童・生徒等の定期の健康診断  
定期検診の検査項目：身長・体重・胸囲・座高、栄養状態、脊柱・胸郭の疾病・異常の

有無、視力・色覚・聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無

なお、以上のほか、肺活量、背筋力、握力等の機能検査は任意項目として行える。目下文部省においては、この検査に代わる新しい「運動機能検査（仮称）」として、① 閉眼片足立ち、② 連続片足とび、③ 腕まげ懸垂の3種目を加えるかどうかを検討中である。

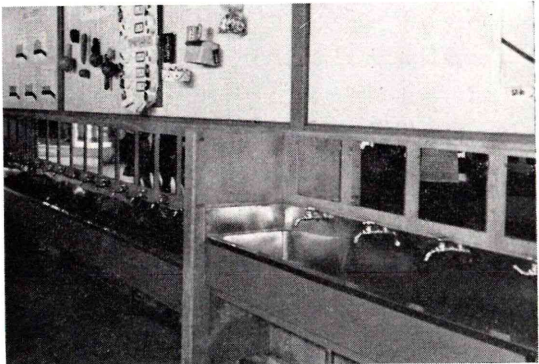
（定期検診の実施時期）  
毎学年6月30日までに行なう。（規則第3条第1項）

定期検診の実施手続

手 順	実 施 内 容	法 令 根 拠	教育活動との関連
予 診 的 調 査	保健調査（アンケート調査） 生育歴、既往歴、現症（自・他覚症状）等に関するアンケート調査	学校保健法施行規則 第8条の2	学級指導 （各学級をとおして実施）



熱心に聞き入る参加者（長崎県）



視察校山王小学校の洗口場（長野県）

手 順	実 施 内 容	法 令 根 拠	教育活動との関連
第 1 次 スクリーニング 検 査	学校が実施する検査 身体計測            運動機能検査 視力検査            色覚検査 聴力検査            その他 委託検査機関が実施する検査 ツベルクリン皮内反応検査 胸部エックス線間接撮影検査（肺と心臓のチエック） 尿検査                寄生虫卵検査 その他	規則第 4 条 第 1 項 第 1～12号 第 2 項	学校行事 （各教師の分担のもと に実施） 学校行事 （地域の委託検査機関 が実施）
第 2 次 スクリーニング 検 査	学校医・学校歯科医による検診 内科・小児科的検診      眼科的検診 耳鼻咽喉科的検診      歯科口腔科的検診 ..... 予診的調査、第 1・第 2 次スクリーニング検査 のすべての結果を総合した学校医による指導 ・助言 （総合判定） ..... 以上の検査を毎学年 6 月 30 日までに終える	同前 規則第 5 条 第 11 項 ..... 保健体育審議 会答申の趣旨 ..... 規則第 3 条 第 1 項	学校行事
事 後 措 置	教育的事後措置 保健指導            健康相談 医学的事後措置 精密検査            医 療	法第 7 条 法第 11 条	保健管理活動 ..... 保健管理活動 保健組織活動

## 2) 就学時（就学予定児）の健診

検査項目：栄養状態、脊柱・胸郭の疾病・異常の有無、視力・聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、その他の疾病・異常の有無

## 3) 歯科健康診断において問題となる疾病・異常

### A. 歯の疾病・異常

#### a) う歯（乳歯、永久歯）

#### b) その他の歯疾

数の異常：過剰歯、先天性欠除歯

形態構造の異常：癒合歯、円錐歯、倭小歯、巨大歯、ハッチンソン歯、斑状歯、エナメル質形成不全、外傷性歯冠破折

萌出部位の異常：異処性萌出、逆性歯、埋

伏歯

不正咬合（歯列異常）

要注意乳歯：う歯

### B. 口腔の疾病・異常

#### 疾病 a) 歯周組織

歯肉：歯肉炎、歯肉出血、エプーソス、歯根膜：歯根膜炎、歯槽骨：歯槽炎（全歯周組織が侵されると歯周炎、歯周症、歯槽のう漏）

口唇：ヘルペス、潰瘍、口角炎

舌：舌炎、溝舌症、黒舌症、潰瘍、鰐口瘡、扁平苔癬

口唇粘膜、頬粘膜：口内炎、アフタ、ヘルペス、扁平苔癬、コプリック斑

口蓋：口蓋粘膜炎（口内炎）、アフタ、ヘルペス、扁桃炎、扁桃肥大

口（腔）底：口底蜂窠織炎，ヘルペス，潰瘍，口内炎（口底粘膜炎症）  
 顎骨：骨膜炎，骨（髄）炎，骨瘤  
 顎関節：関節炎，強直症  
 唾液線：唾液線炎，唾石症，口内乾燥症

異常：口唇（兔唇），舌（大舌症，小舌症），口蓋（口蓋裂，口蓋隆起），顎骨（小顎症）  
 注）舌炎，歯肉炎の種類は多く，口腔の疾患には全身疾患と関連のあるものが多い。その疑いあるものは校医に連絡すべきである。

教育課程と歯に関する保健学習，保健指導のまとめ（小学校）

領域		内 容		摘 要
各 教 科	体 育	第 5 学年 G 保健の領域 (3)のウ 「う歯とその予防」（約 1 単位時間） ・そしゃくとう歯の関係 ・う歯の現状と原因 ・う歯の予防のしかた		保健学習として行なわれる内容であり，関連する内容としては，6 年の(3)のイ，ウがある。
	関連教科	理科 第 5 学年 A の(4)「人体の構造，機能」 エ．目・耳・歯の構造，機能のあらまし 第 6 学年 A の(3) ア，イ，食物の消化：そしゃく，酵素の働き，吸収，同化 ウ，栄養素の代謝：エネルギー代謝 家庭 第 5 学年 B の(1)「日常の食物の栄養」 第 6 学年 B の(1)「献立」 (2)「日常食の栄養」		理科・家庭のほか，社会においても地域の医療機関等について扱われることになっている。
道 徳		(1) 生命を尊び，健康を増進し，安全の保持につとめる。 (3) 身のまわりを整理・整頓し，環境を美しく清潔にする。 (5) 時間を大切にし，きまりのある生活をする。 2) 自分たちや世の中のため尽くしてくれる人々に対して，尊敬し感謝する。 25 規則や自分たちで作るきまりの意義を理解し，進んでこれを守る。		
特 別 活 動	児童活動	児童会活動	児童会における保健委員会の活動をととして，う歯の治療や歯口清掃に対する実践的態度を育てる。	
		学級会活動	学級会における話し合い活動や係り活動をととして，う歯の早期治療や歯口清掃励行について実践態度を育てる。	
	学校行事	保健体育的行事	健康診断 歯科の健康診断をととして歯牙・口腔の保健に対する意識を高め，う歯その他の口腔の疾病の早期治療や日常の健康生活に対する実践意欲を育てる。  病気の予防等に関する行事 歯の衛生週間 主として 6 月 4 日のむし歯予防デーを中心に行ない，スライドや映画，講話などによって，全校的に歯科保健に対する意識を高める。	学級を離れた，学年以上の全校的な集団で行なわれる教育活動である。



領 域		内 容			摘 要	
特 別 活 動	学級指導	保	自分の健康状態の理解 健康診断の結果の事後措置(う歯の治療その他の口腔の疾病) 病気の予防 「う歯」			学級担任が中心とな って行なう教育 活動である。 ・特設時間にお ける指導 年間10～11時 間の特設時間 による指導が 行なわれるが この中で歯の 関する指導は 1～2時間行 なわれる。 ・日常指導 くりかえし継 続的に行なわ れる指導であ る。
			低 学 年	中 学 年	高 学 年	
		健 指 導	むし歯について関 心を持ち、口の中 をきれいにするよ うにする。 自分のむし歯 うがい(ぶくぶ くうがい)や正 しい歯のみがき 方、歯の生えが わり	むし歯のようすに ついて知り、むし 歯の予防につと め、すすんでむし 歯の治療をうける ようになる。 むし歯のようす むし歯とそしゃ く むし歯の予防と 治療	歯の病気や異常のた め気をつけなければ ならないことを自主 的に実践するようにな る。 むし歯の予防や歯 ぐきの病気予防 不正咬合	
		環境の清潔 その他	洗口場の清潔な使い方 食べ物のえらび方	きまりのある生活		

教育課程と歯科保健に関する保健学習・保健指導のまとめ(中学校)

領 域		内 容			摘 要
各 教 科	保健体育	第3学年 保健分野 (5)病気とその予防 イ、青少年のかかりやすい病気 「う歯、歯肉炎の原因、症状および予防についての理解」(約2 単位時間) [う歯]・原因と症状 ・健康生活に及ぼす歯の影響 ・う歯の治療と予防 [歯肉炎(歯周疾患)] ・歯肉炎にはじまる歯周疾患の概念のあらまし ・歯周疾患の原因と症状 ・健康生活に及ぼす歯周疾患の影響 ・歯周疾患の予防と治療			保健学習として行 なう内容である。 関連する内容とし ては、第1学年の (2)のイ、第2学年 の(3)のウ、および 第3学年の(6)のウ、 (7)のウ、エなどが ある。 歯肉炎は、これに よって代表される 歯周疾患(歯そ うのう漏など)の概 念まで広げて指導 することが必要で ある。
	関連教科	理科[第2分野] 第2学年 (5)のイ「消化器のつくりとはたらき」 ・栄養分の摂取と消化吸収 ・酵素のはたらき(唾液中の消化酵素についても触れる) ・食物摂取と消化器の構造の動物による違い 技術・家庭(女子向き) 第1学年 B. 食物(6)「日常生活における食品と調理用具の選択」			理科・技術・家庭 (女子向け)のほか、 社会[公民的 分野]において、 家庭生活、社会生 活と健康などにつ いて取り扱うとき

領 域		内 容			摘 要
各教科	関連教科	(7)「食物と生活との関係」ア. 青少年の好みと食習慣 第3学年 C. 保育(1)「幼児の心身の発達」ア. 乳歯の重要性, (4)「幼児の食生活」イ. 幼児の間食の与え方, エ. 食べ方などの 生活習慣をつけることの必要性			に, 歯科保健と健康文化などの関連について考慮する。
道徳		(1) 生命尊重, 心身の健康増進, 節度調和のある生活 (2) 日常生活の基本的行動様式の体得と実践			
特別活動	生徒活動	生徒会活動	生徒会における「健康や安全に関する委員会」の活動 をとおして, う歯や歯肉炎(歯周疾患)の治療予防に 対する実践的態度を育てる。		
		学級会活動	学級会における話し合い活動や係り活動をとおして, う歯や歯肉炎(歯周疾患)の早期治療や予防のために, 定期的に歯科検診を受ける実践的態度を育てる。		
	学校行事	保健・安全的行事	健康診断 歯科の健康診断をとおして歯や口腔の保健に対する意識を高め, う歯・歯肉炎(歯周疾患)その他の歯科口腔の疾病・異常の 早期発見, 早期治療, 予防などの必要性を十分に認識させ, 日常の健康生活に対する実践意欲を育てる。		
			病気の予防等に関する行事 歯の衛生週間 6月4～10日の歯の衛生週間開催の機会をとらえ, スライド や映画, 講話などによって, 学校的に歯科保健に対する 意識を高める。		
活動	学級指導	健康・安全に関する指導	自分の心身の健康状態の理解と関心の深化 健康診断の事後措置(う歯, 歯肉炎等の治療, その他の口腔・ 歯の疾病異常の治療や予防) 健康手帳などの記録を活用し, 積極的に自分の口腔や歯の健康 管理につとめる実践力を育てる(定期検診, 日常予防措置の 励行) 病気の予防 「う歯」 「歯肉炎(歯周疾患)」		
			第1学年	第2学年	第3学年
			むし歯の原因, 症状および予防法について十分に理解し, すすんで定期的に検診を受け, 早期治療を受けるようになる。 むし歯の原因と症状	歯肉炎(歯周疾患)の現状について知り, その発現の有無を知るために定期的に検診をすすんで受けるようになる。 歯肉炎(歯周疾患)の現状	現在の歯科医療制度や歯科医療機関の実情を知り, 各種歯科疾患・異常の予防や治療のために, みずからすすんで定期的な歯科検診を受け, 適切な事後措置を受けるようになる。
			日常指導 朝や帰りに短時間の学級指導をくりかえし継続的に実施する。 このときに歯科保健のテーマを適切に取りあげて指導する。		

領 域		内 容			摘 要
特 別 活 動	学級指導	健康・安全に関する指導	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
			むし歯を予防する有効な方法 むし歯の治療 むし歯と健康の関係	歯肉炎（歯周疾患）の原因と症状 歯肉炎（歯周疾患）の予防と治療	歯科疾病・異常の現状 歯科医療を担当する要員と機関（施設）の現状 歯科医療に関する現行制度（医療保険制度） 歯科医療の望ましい制度
			環境の衛生 洗口場の必要性の理解とその衛生的な活用法（食後の歯口清掃の実践） その他 歯を清潔にし、歯肉（歯ぐき）を強くする食品をえらび、歯に粘着しやすい甘味食品を制限することの必要性の理解と実践		

### 講義 3 学校歯科における健康相談

日本大学教授 山 田 茂

健康相談は学校歯科において十分理解され、実践されているところが少ないように考えられる。またその解釈、考え方が学校保健の専門家、学校歯科医によってかなりの違いがあるようである。その理由は上述のように実践されているところが少ないこと、言葉そのものの解釈が多義的であること、対象のとらえ方があいまいであることなどによるものと考えられる。このほか健康相談にはいろいろな問題を含んでいる。

#### 健康相談の定義

健康相談は多くの人びとによる多くの定義があるが、自分は健康相談とは面接という手段を通して、クライアントの健康生活に対する建設的な態度の変容、行動の変化を期待する働きかけであると考えている。

#### 健康相談の対象

健康相談の対象は①すぐに処置を要するもの、②心理的条件や社会的条件から、子ども自身の治療を受ける態勢がととのっていないもの、③および本人あるいは保護者が健康相談を希望するものなどである。

#### 学校歯科における健康相談の特質

学校歯科における健康相談は特質をもっている。それは歯科疾患が一般疾病と異なった多くの特質をもっているからである。たとえば、①子どもの大部分がむし歯を持っており、小学校高学年、中学校生徒の大部分が歯肉炎をもっている。②むし歯は自然治癒をしない。③健康生活の改善によってむし歯や不正咬合を完全に予防できない。④歯科疾患は直接生命の危険にかかわること



がまれである。などである。ただし、児童・生徒にみられる単純性の歯肉炎は健康生活の改善によって予防でき、治療に向かわせることができる。

学校歯科医の行なう健康相談の法的根拠

学校保健法第11条、第19条

(——学校においては健康相談を行うものとする)

(——学校においては健康相談等を行うために保健室を設ける)

学校保健法施行規則第24条第1項4号

(——歯に関する健康相談に従事すること)

文部省次官通達(文体保45号、昭和33年6月16日)

(——健康相談は健康に異常あると思われる個人の者について行われるものである)

文部省体育局長通達(文体保55号、昭和33年6月16日)

(——1.健康相談の対象。2.——校長が——学校歯科医に行わせ、担任教員が立ち合うものとし、必要に応じ保護者も立ち合う——)

健康相談の実施

1. 保健に関する情報収集
2. 健康相談計画
3. 対象の選定、保護者への連絡
4. 実践、継続、観察、記録、評価

留意事項

1) 学校歯科医の行う健康相談は歯科疾患の特質から、指示的、治療的な面を持っているが、健康相談の効果を期待するためには、つとめてカウンセリングの原理と方法にそったものであることが望ましい。

少なくとも面接にあたっては

- (1) 子どもの間にラポートのあること。
- (2) 話はていねいに快活にすること。
- (3) あせらずに子どもの話を引き出してよく聞くこと。
- (4) 叱ったり、批判したり、命令したりしないこと。
- (5) 面接の主目的を始めからきめておくこと。
- (6) 子ども自身で考え、判断し、実践計画を立て、それを実践する決意と勇気を持つようにすること。

などを心がけねばならない。

2) 学校の保健指導計画との関連を考慮し、一方において保健指導の実践を進めながら、健康相談を実施しなければならない。この際、個別の保健指導との関係を考慮すること。

3) 学校保健関係者(特に保健主事、養護教諭)との密接な協力関係を保つこと。

現在低調であるといわれている健康相談の意義を考え、実践方法を探求し、学校や地域社会の実状に則した活発効果的な健康相談の展開に本講習会が多少とも役立てば幸いである。

## 講義 4 う歯発生のメカニズムとその予防

日本歯科大学教授 丹羽輝男

う歯予防の課題は学校保健の大きな問題のひとつである。しかも、それはなかなか困難な点の多いものである。その理由はいろいろあるが、う蝕という病気の性質が他のものといちじるしくちがった点をもっていること、その発生のメカニズム

がきわめてまれな、特別な条件とかかわり合うというより、日常生活の中のごくありふれた事柄と深くかかわっているために、その予防のためには、かなりひろく手をうたなければならないことがあげられる。

## 1. う蝕の特異性

- a. 代謝という性質を欠いた組織の疾患である。したがって自然治癒という方向がない。
- b. 最初の病変はエナメル質の脱灰であるが、脱灰だけではなく、ごくわずかの有機質の崩壊を伴うものである。
- c. その主働因子として微生物が関与しているから感染症であるといえるのに、特定のものを指定できない。(動物では *Streptococcus mutans* であることはほぼまちがいない。)
- d. 一般の慢性疾患と同じように素質 (host) の因子の占める割合が大きい。これにはいちじるしい個体差がある。
- e. 個体差だけでなく、同じ人の口の中でも歯種によってかかり方がちがう。
- f. 同一の人の同一の歯でも、エナメル質の耐う蝕性は萌出直後から経時的に変化する。(大体萌出後3~4年ぐらいのところがもっともかかりやすい)
- g. 有病のものが圧倒的に多い。
- h. 日常生活の条件が発病に大きなかわりをもっている。
- i. う蝕で直接死につながることはない。
- j. 発病と症状の進行とは少し異なった因子に左右されている。
- k. 予防や処置の手段は個別的なものが多い。

## 2. う蝕の原因 (メカニズム)

- a. 直接の原因  
エナメル質表面に脱灰とごく少量の有機質の溶解を起こさせる因子。  
(微生物とその産生物)
- b. 誘因 (別因)
  - I) 微生物の生態 (拮抗性, 共性)
  - II) だ液 (流量, 粘度, 抗菌性, 緩衝能)
  - III) 歯の沈着物 (歯石, 歯苔, 食物残渣)
  - IV) 飲食物の性質 (糖, 粘着性, pH)
  - V) 食習慣 (定期, 不定期)
- c. 歯の性質

### I) 歯の形成時の状態

(形成期のたん白質, Ca, P, Mg, F, V, A, D など)

### II) 歯の萌出後の変化 (萌出後成熟)

(posteruptive maturation)

### III) 歯の形, 萌出の状態

## 3. 予防のための手段

専門家によって行なわれるもの

(professional care)

- ・フッ化物塗布
- ・銀の応用 (と銀法, フッ化ジアミン銀)
- ・窩洞填塞法 (sealant の応用)
- ・初期う蝕の充填  
(免疫, 抗菌性物質の応用)

日常自分で行なうもの (home care)

- ・食習慣の規制 (砂糖の摂取制限)
- ・歯口清掃習慣の励行

管理的に行なうもの (public health)

- ・上水道フッ素添加
- ・給食へのフッ素添加
- ・洗口剤のフッ素添加

### まとめ

学校保健の現場では、保健教育 (保健指導) の面からは、ほんとうに有効な home care が行なわれるように、児童の心身の発達段階を具体的に考慮した対策をたてて、それを実践するようにすることがまず大切である。

それについて、個々の子どもについて、そのう蝕のかかり方 (う蝕活動性) をつかんだ上で、学校歯科医や歯科衛生士などの手による professional care を有効に行なって、処置していかなければならない。

こういうものにくわえて、フッ素によるうがいも管理的に行なうことはきわめて有効な手段であると思う。

(丹羽教授が病気のため、榊原教授によって講義されたもの)

## 講義 5 ブラッシングの理論と実際

愛知学院大学歯学部教授 榊原 悠紀田郎

はじめに

学校歯科の中で、ブラッシングは古くからとりあげられた問題である。口腔衛生といえば“歯みがき”か、というほどである。しかし、そのわりにはほんとうにわが国の学校の子どもたちの口のなかにはあまりきれいではない。またいろいろな調査結果からみても、日常生活の中のブラッシングの習慣は十分定着しているとはいえないようである。このことはもう一度考えなおしてみる必要がある。

1. ブラッシング習慣の十分徹底していない理由
  - a) あまり手近なところにあるので、問題意識としての新鮮さが乏しい。
  - b) 何故それをしなければいけないかの切実な感じが乏しい。
  - c) ブラッシングを怠った場合にも、すぐはげしい障害がみられない。
  - d) とくにブラッシングとう蝕予防との関係にははっきりした関係がないように考えられている。
  - e) 学校保健には他にいろいろの多くの問題があって手がまわらない。
  - f) ブラッシング指導についていわれていることが、いつも同じで迫力が乏しい。
2. ブラッシングの意味
  - a) 歯科疾患の予防および口腔健康の増進
    - 1) う歯の発生阻止の効果：う歯の発病についてのしっかりした把握と、その応用、とくに平滑面のう歯について
    - 2) 歯周疾患への影響：歯肉炎との関係
  - b) 生活の良習慣として：口臭、外観の不良についての防止
3. ブラッシングでできること。

a) 歯面に付着しているよごれたものがとれる。

よごれたもの：たべもののかす (food debris), それが分解し、さらにたまった微生物 (dental plaque), 歯の表面にくっついてあるもの

b) 歯肉を刺激してその抵抗力をつよめる。

4. ブラッシングは日常生活の中で行なうものであること

a) どうしても、自分で自分のものにしなければならない。

b) やりやすい条件が大切である。(方法、時期、環境)

c) まずその使用習慣を定着させることを図り、ついでその使用法を適切にさせるように向けていく。(歯みがき訓練と保健指導)

d) 自分で点検することができるようにする。(そめ出し法の応用法とその意味)

e) さらに必要な補助手段について知っておくこと。(フロスシルクの用法：歯みがき剤についての知識)

5. ブラッシング指導のすすめ方

a) motivationとしてのとりあげ方

b) 全般的な指導

c) 個別的な指導

d) とくに清掃の必要な部分の確認

e) とくに指導の必要な子どもの抽出

f) その習慣化への追及

6. 評価の指標

a) 歯面のよごれ方(うがいテスト, OH I, OH I Sなどについて)

b) 歯肉の炎症(PMA index について)

c) う蝕の発生阻止



歯に関する保健指導を効果的に  
進めるには、どうしたらよいか



1. 発表者：内藤千成（南佐久郡小海町立小海小学校教諭），羽田湊人（同 学校歯科医），平林ひさ子（北安曇郡松川村立松川小学校養護教諭），尾崎末雄（諏訪市立湖南小学校教諭），茅野武代（同 養護教諭），本島章吉（下伊那郡

松川町立松川北小学校保健主事），梶川忠作（長野市立山王小学校長），石塚 要次郎（長野県歯科医師会公衆衛生部長）

2. 司会者：矢崎直人（長野県教育委員会保健厚生課指導室主事）

## 学級指導における効果的な歯科保健指導のすすめ方

—— 発 達 段 階 に 応 じ て ——

小海町立小海小学校教諭 内 藤 千 成  
学校歯科医 羽田 湊 人

本校では、与えられたテーマに対し、次のような立場、方向で研究を進めた。

指導が効果的であるために考慮されなければならない観点は多くあるが、本校では、テーマの副題に示された——発達段階に応じて——という点を中心に考え、具体的には、学級の実態を正確にふまえて学習内容を決めだし、展開するという方向で研究をすすめた。

1. 本校の、学級指導における歯科保健指導の大目標

日常生活において、歯の健康保持増進のために、自分で判断し、処理できる態度や能力を養う。

2. 具体目標

- (1) 正しい歯みがき習慣を身につける。（1，2年）
- (2) おやつのあとのブクブクうがいの習慣を身につける。（1，2年）
- (3) 歯を大切にしなければならないことがわかって正しい歯みがきができる。（3，4年）
- (4) 自分からすすんで早期発見，早期治療につとめる習慣を身につける。（5，6年）
- (5) 自分からすすんで歯の健康保持増進のための行動ができる。（5，6年）

3. 指導事例（5年）

- (1) 実態と考察  
歯に関する既習事項，検査等の入学以来の

概略（以下別紙資料）

歯の健康状況

a. 4月と8月の歯科検査結果から：う歯の状況，4月～8月の間の発生本数，4月検査時のう歯の治療状況，未処置の原因

b. う歯予防についての関心度，理解度，習慣形成度：歯みがきについて，ブクブクうがいについて，歯によいたべものについて，早期発見について，早期治療について

c. 歯科保健の環境について：学校学級，家庭，歯科医

(2) 目標

早期発見のための，自己診断の方法がわかり，できる。

早期治療の大切さがわかり，できる。

(3) 授業の反省

4. 学級指導における効果的な指導

(1) 知っていても，実践できない子どもの指導の要点

学級指導の中でおこなう保健指導でなるべく次の点を考慮する：実践化を阻害している要因を個々の児童について明確に把握する，指導の中に，子どものアイデアや努力してい

る事実や体験が出せるように配慮する，教師が子どもを賞める場面を設定する，行為が定着できるよう，くりかえし反復できるようにする，目や耳を通して，心に強く印象づけるようにする，歯の大切さについての正しい理解を得させる，友だち・家族・教師が，実践化しようとするひとりの子どもに心から協力してやれるよう配慮する。

(2) 実践化のための学習過程（歯みがきの場合）

歯みがきをしなければいけないことを知っているのにもかかわらず歯みがけない自分への気づき（導入），歯みがきができない原因や歯みがきの大切さへの気づき（展開），正しい歯みがきができるためのくふうや，実践化（終末）。

(3) 特設時間を効果的にする事前・事後指導

バッテリー方式（教科指導・学校行事・朝の会・帰りの会などで本時間にそなえて計画的に指導していく）

セット方式（この時間を充実させるため，短い学習を事前・事後にとって実践化をねらう。）

## 保健に関する行事として行なう歯に関する保健指導の進め方

### 歯の衛生週間を中心として

松川村立松川小学校養護教諭 平 林 ひさ子

1. 計画と実践

ねらい：児童1人1人が自分の歯の健康の保持増進を自分の力でおしすすめる実践態度の育成

① 行事計画立案資料収集作成

地域の実情，児童の実態を個々に調査，収集し，行事計画立案のための資料を作成した。

(1) 対象全校児童

調査時期 事前（前週）

調査内容 「歯のことで，あなたのいまのきもちをかいてください。」

(2) 対象全家庭

(3) ポスター募集（3年生以上）

（週間への動機づけ）

作成上の視点として

できていることは何か。

できないことは何か。

つまづきは何か。

近い将来つまづくであろうと予想されるものは何か。

などを見きわめ、つまづきが解消され、実践されていることが深められるような資料。

## ② 行事計画立案・校内保健委員会

行事計画立案のための資料を中心に行事計画案を作成した。

メンバー

校長，保健主事，歯校医，学年主任係  
(養護教員含む)

児童係

行事計画立案の基礎資料・作成にあたって留意したことは

自主的活動に重点をおく

ねらいを明確に

指導事項，内容をできるだけ具体的に  
指導にあたる教師の役割を分担しておく

他領域との関連のとれるように

地域社会の協力関係

資料の検討

評価計画も立案しておく

保健委員会から提案の「行事計画案」を審議し全職員の意識統一と実践事項の確認が行なわれた。指導内容，役割分担について討議され，実践への具体的な方法が次のように決定された。

## ③ 行事計画決定

学 年

スライド会

指導計画・指導記録

学年だより・実態調査

担任教師

個別指導

学級指導・教科指導

ポスター展参加

歯みがきの歌練習

学級会

歯みがきしらべ

歯みがきボックス整備

児童委員会

クイズ出題とまとめ

紙芝居作成と発表

劇の脚本作成と発表

放送劇脚本作りと発表

ボックス作り

インタビュー

係 会

保健便り発行(児童家庭)

校内放送 校内で資料展

ポスター展(校内および県応募)

歯みがきの歌(全校集会)

劇の会 歯みがき練習

家庭・地域社会

地域関係機関

歯科保健指導車(すずらん号)の指導

有線放送・公報(全村)

PTA映画会(低・高学年・保育園別)

## ④ 評 価

むし歯予防週間が終わってから，歯のことでいまの自分のきもちを評価し，生活プログラムを立てる。

## 2. 実践結果

### (1) 児童の実態

項 目	区 分	指導前(週間初日)	指導後(週間後)
1. 朝晩の歯みがき実践(毎食後実践)		54.9%	89.8%
2. おやつあとのブクブクうがい実践		68.8%	92.4%
3. ローリング法での歯みがき実践		83.6%	96.3%
4. 洗口用具の整備(自分の口に合ったブラシ)		80.5%	98.9%
5. むし歯の治療	未 治 療 者	児童 550 名中 25 名	550 名中 2 名
	完 了 率	%	%



## (2) 保護者の実態

映画会のあとクラスごとに懇談会をもったが、歯のことに話が集中し、砂時計を使ってみがかせている例などが話題となり、最近では子どもから親が教えられたり、世話をやかれている実態である。

## (3) 地域の実態

保育園から要請があり（スライド使用して講演会を開催）、講師を担当した。その結果、歯についての問い合わせが殺到した。

村内の薬店から「よい歯ブラシ」の問い合わせがあり、「学校へ」今後よい歯ブラシを販売したい旨の連絡があった。

## 3. 反省

(1) 児童自身が問題設定をし、実態調査によって、意識を深め、なっとくして解決実践へむすびつけることができた。

(2) 教師自身が「どうして歯をみがけないのか」と叱責したり一方的にせめかけてばかりいたけれど実態調査によって、わかっているも実践できなかった子どものつまづきに気づ

き、それをとりのぞいてやる（援助）てだてもでき指導が深まった。従来の調査（調査項目を明示した）では知ることでもできなかった児童のありのままの姿に接し、教師のあり方を改めて新しくさせられた（相互理解）。

（人間理解）

(3) 全校のポスター展は自分がそこにある。友だちもある、という自分を中心に他のよい点、努力点を認め合い、生きた資料として関心も高かった。

(4) 週間に入る前に募集したのは、週間行事への動機づけとなり週間行事ももり上がった。

(5) 分野別の資料にもとづいて立案したことはよかった。

(6) 全職員が主体的にうけとめる方法についてはさらに検討を重ねたい。（保健委員会からの一方的なおしつけにならないように）

(7) 目を通し、耳を通し、自分自身に訴えていく方法として劇、スライド等は効果的であった。（感情のなっとく）

(8) 家族ぐるみで週間行事に参加できたことは今後の継続実践へつながり大変よかった。

# 歯科保健について問題をもつ 児童の個別指導のすすめ方

諏訪市立湖南小学校教諭 尾崎 末雄  
養護教諭 茅野 武代

## 1. 趣旨

昭和46年度から、よい歯の実践指定を受け、フッ化物導入を中心としたむし歯予防にとり組み、以来今日まで全校児童を対象にイオン導入とむし歯予防のための学級指導、全校いっせいの歯みがき励行、実践記録カードの活用、親子ぐるみ家族ぐるみ歯みがき運動、有放による呼びかけなど、また父兄対策として保健便りの発行、学級懇談、校長、学校医による講話などを

行なってきた。しかし、いっせい指導には限界があり、どうしても個々の児童の特性に応じた指導が行なわれないかぎり、むし歯予防の徹底はむずかしい。そこで歯みがきの実践状況を把握し、問題の所在を明らかにするとともに、むし歯の抑制状態から、児童の傾向性をつかみ、全人格的な立場を柱に歯みがき運動の徹底をはかった。

## 2. 歯みがき指導の基本的な考え方

むし歯予防には、歯みがきの励行がたいせつである。歯みがきを継続させ生活化させるまでには、自己のたゆまざる努力と強い意志と根気が必要とされる。たんに、強制強要しても形式的なみがきに終わってしまい成果があらならない。そこで、自らの意識を掘り下げ情感に訴えるという発想に沿って、児童ひとりひとりの心の世界、そして、その世界から発する生活実態など適確に把握し、不適応現象の除去を援助するために、①小坂動態体質による個体の特性の掘りさげ、②YG性格検査による児童の行動様式の理解など基本的調査の上になつて、⑦日常生活指導による実践能力態度の養成、④食べ物の嗜好や食生活の改善、⑤積極的に自己の問題解決に取り組む気構えへの援助、⑥家庭での家族ぐるみ歯みがき実践などの基本的対策がうちたてられてきた。

### 3. 児童の実態

(1) 歯みがき実践状況：家庭での実践、冬期の実践、1日の実践

(2) 児童の傾向性の類型：Ⅰ型、Ⅱ型、Ⅲ型、Ⅳ型

### 4. 指導の方向

(1) 自己のあるがままの姿の理解（自己受容）  
(2) う歯に対する基本的知識  
(3) 歯科保健的生活態度の改善とその能力の養成

(4) 担任の指導計画

### 5. 個別指導

(1) 児童の傾向性：Ⅰ型・勤勉努力型、責任感旺盛、Ⅱ型・動作緩慢節度乏しく持続性に欠ける。Ⅲ型・社会適応よく積極的指導性あり、Ⅳ型・社会性乏しく消極的、ものにあきやすい。

(2) 指導の方向

(3) 具体事例

K児・S児

生活環境、性格（社会性、思考活動）とりくみへの姿勢など

### (1) 児童に直接

ときどき歯を見せてもらう。きれいになるまで何回でもみがきなおさせた。

（4回もみがきなおして、ようやくきれいになった時もあった。）

カードを見ては、なぜできないのだろうかと考えさせ、またいっしょにその方法的なものも工夫し、何回も考えた。

月ごとの集計のまとめ（全校的な）によって他と比較しながら、自覚させようともしてみた。

個人的にカラーテストを何回も使って、汚れを意識させようともしてみた。

給食時の歯みがきだけは自分の指導下にあるので、この時に徹底してやらせることによって、気持ちいい口の中を情感に訴えてみようとも考えてやってみた。よくできる児童とグループ編成し、触発されるよう、また班責任としてもやってみた。

知的理解の不足も考えて指導してみた。

強要の姿勢

・やらなければダメだ。

・できなければごはんもたべるな、テレビも見ろなよ。等々性格的なもの、指導の限界をしみじみと感じた。

### (2) 家庭との協力

家庭連絡を盛んに行なった。

連絡帳にも書かせた。（注意を喚起するため）

懇談会の時、参観日の折など、直接に実態を話し、協力を依頼した。

食卓に、ブラシに薬をつけて出しておくように依頼もした。

家庭の関心も低く、あまり協力的ではなかった。

冷淡な親子の関係であり、歯みがきどころではなかった。

## 2. 養教による個別指導

### (1) 趣 旨

なかなか効果のあがらない児童をみるとき学習以前に大きな問題のあることがうかがえ

### 事例 1

#### 1. 学級担任の行なってきた指導

る。YG検査によると、その多くがブラックリストに入る。したがって防衛規制を弱め成長への衝動を生みだすことが何よりも必要と考え、カウンセリングによって担任の個別指導を側面から援助する。

(2) 対象児へのかかわり

サンドプレイにより週1回の面接を原則とし、14回で終了。

(3) サンドプレイによる自己実現への過程

第1回：混乱期、歯みがき1日に1.1回、第3回：防衛規制弱まる、第6回：攻撃期、自己洞察さらに深まる 第8回：整理期、歯みがき2.6回、第14回：創造適応期、意識深まる

人間は、つねに古い自我をこわしつつ、新しい自我を再体制していくものであるといわれている。しかし、いっきょにこの大仕事は行なえるものではない。なぜならば、非常な

危険と、不安を感じるものであるから。したがって、すこしこわしては新しく築き、またすこしこわしては新しく……と、この過程をくりかえしつつ、彼の人格は再体制されつつ適応創造期へと入って終結した。そしてこの終結時の歯みがき実践状況は1日に2.4回となり、その後順調に成長して1月には2.8回、2月には2.7回、3月には2.9回となる。本人が自らやろうとする思いが湧いてきた時、彼自身の力によって、力強く、歩み始めていくものであることを思う。

まとめ

歯みがきの生活化を狙う場合担任の立場からおりてくる指導的一面と、心の健康に目を向ける治療的一面とが必要であり、両面がうまく有機的に働いて、はじめて歯みがきの生活化が行なわれるものであると思われる。

## 歯科保健を効果的に進めるための 協力体制のあり方、および進め方

松川町立松川北小学校保健主事 本 島 章 吉

### 1. 本校における歯科保健の現状

#### (1) 実態調査について

本校児童のむし歯の実態とその推移の状態を把握するために、昭和39年度入学児童（現在高校2年生）から、昭和48年度入学児童（現在小2年生）までの10年間を対象とし、小1年から中3年までの9年間に渡って、定期検診の結果を調査した。調査人員400名である。

#### (2) むし歯の実態

むし歯の増加数は学年が進むにつれてどうなっているか

##### ① 乳歯のむし歯の推移

##### ② 永久歯のむし歯の推移

入学年度別にみた児童のむし歯増加の比較

### 2. 歯科保健上における協力体制の必要性和その立場

#### (1) 児童（生徒）のむし歯の実態の理解はどうであろうか

むし歯に対する知識や保有数等の実態が、児童、教師、家庭ともによく理解されていない。

歯みがきについての担任の指導、家庭の理解について、歯みがきが理解された上での習慣であるだろうか

#### (2) むし歯予防に対する認識と活動はどうであろうか

フッ化物塗布による関心の高まり、食生活の工夫（砂糖の消費量、おやつの与え方）、



実 態 調 査

(調査家庭数 188) 松江北小

歯が美しい 歯ならびがよい 歯を丈夫にする	歯のことについていつも考 えて話をする	時々考えたり、話をしたり する	ほとんど考えないし、話も しない
	44 23%	113 60%	31 17%
乳歯と永久歯の区 別	区別はよくわかっている	乳歯・永久歯ということは 聞くが、区別はよくわから ない	なんのことかわからない
	135 72%	48 25%	5 3%
むし歯はそのままに しておけば自然にな おると思いますか	痛がらないのでそのままに しておけば自然にぬけてな おる	医者について治療したり予 防しなければなおらない	むし歯について考えたこと がない
	18% 9%	162 87%	8 4%
歯みがきやうがい について	家族全員でみがく	子どもは毎日みがくが大人 はみがかない	子どもも大人もあまりみが かない
	150 84%	10 5%	21 11%
歯医者についてむ し歯について相談 しますか	年1回は医者について相談 する	考えるが、なかなか思うよ うにできない	全然考えない
	35 19%	129 68%	24 13%
子どものむし歯の 保有数について	たくさんあると思う (8~10本位)	そんなにたくさんはないと 思う(5~6本位)	すくないと思う (1~4本位)
	18 9%	129 68%	24 13%
子どもはミルクで 育てたか、母乳で 育てたか	ミルクを多く使って育てた	ミルクと母乳を半々ぐらい 使った	母乳で育てた
	84 26%	40 21%	100 53%
砂糖の消費量につ いて	時々使う量が多くなって来 たと思う	よくわからない	だんだん少な目に使うよう になったと思う
	63 34%	97 51%	28 15%
カルシウム分につ いて	カルシウム分に気をくばっ ている	時々考えるが、あまり気 をくばっていない	全然考えない
	137 73%	45 24%	6 3%
おやつについて	平均して甘いものが多いよ うに思う	どちらともいえない	甘味が少ないものが多いと 思う
	78 42%	34 18%	76 40%
母親のつとめにつ いて	一年中つとめに出ている	時々つとめるが家にいる方 が多い	家にいる
	34 18%	22 12%	132 70%

歯みがき、うがい等の習慣化、予防活動への積極性

(3) 治療への活動はどうであろうか

治療のために医者に行くことが少ない

日常生活の多忙さから、内科的、外科的病  
気にくらべて驚きが少ない、医者の診療制限  
により消極的となる。

### 3. 歯科保健活動の推進体制

#### (1) 協力体制はどうあればよいだろうか

体制の分析と好ましい方向、保健委員会の構成

#### (2) 関係機関の協力による推進活動の方向

むし歯に対する理解と、実態を把握するための活動

①町の公報による ②家庭に向けての有線放送による ③学校からの通信 ④PTA

の会合 ⑤教師自身の理解

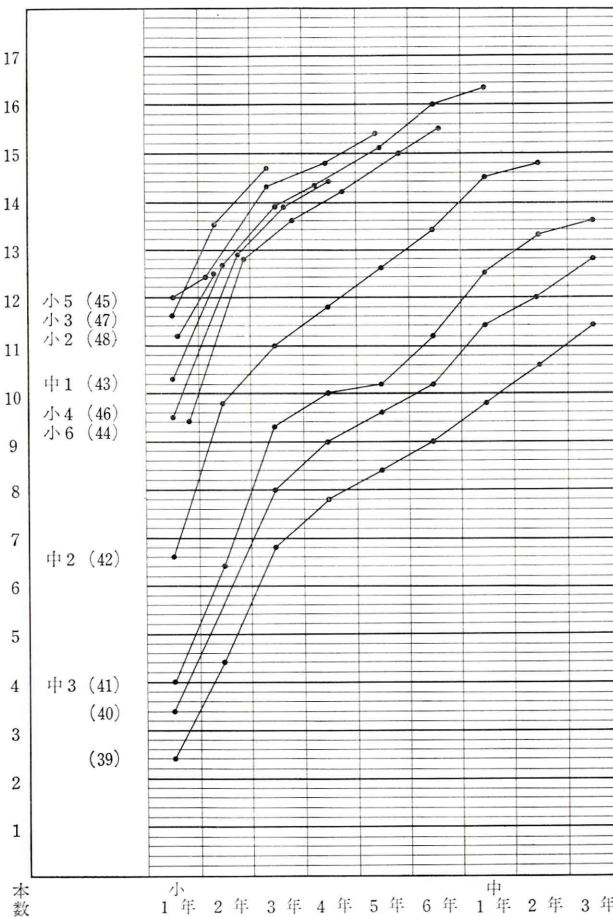
予防に対する活動と方向

①フッ化物の塗布 ②正しい歯みがきやうがい ③予防活動への積極性の喚起 ④食生活への工夫

治療活動への方向

①グループによる治療活動、PTAの協力を得て交替で治療に出かけられるようにする ②医師会（医師）への協力要請

入学年度別によるむし歯増加比較表（調査人員各学年40名） 松川北小



# 整備された洗口場を有効に活用 したブラッシング指導の進め方

長野市立山王小学校学校長 梶 川 忠 作

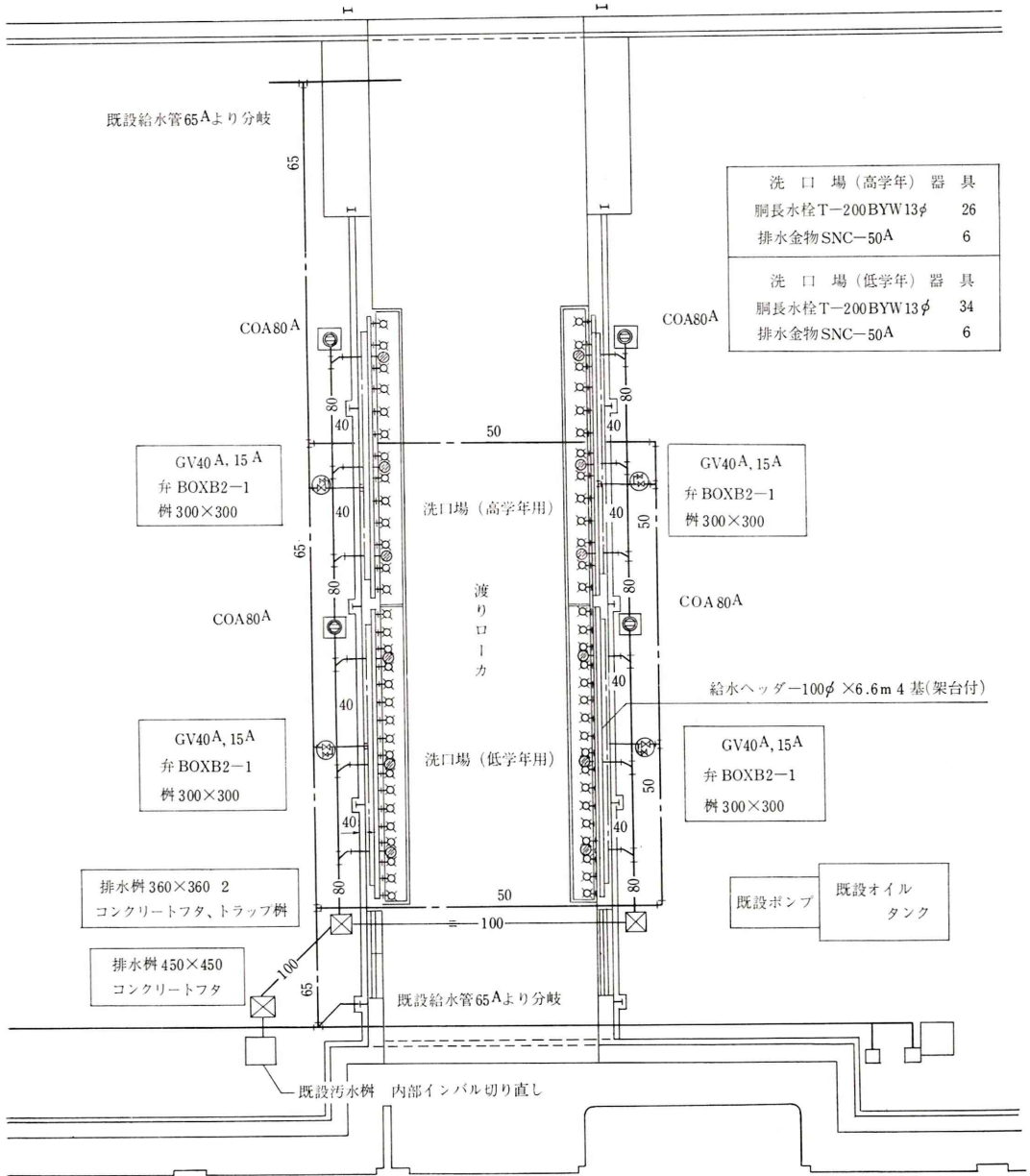
## 1. 当校児童のう歯罹患の実態

歯 牙 別 罹 患 状 況 (昭和49年4月) (%)

項目	性別 歯 学年	男							子						
		7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7
右	上 歯	一	9.8											9.0	
		二	29.1		0.5							0.5		34.1	
		三	43.3	1.0	0.5							1.0		49.5	
		四	51.8	4.3	4.3		1.4			0.7		4.3	2.1	58.4	
		五	55.7	4.5	11.3							11.3	2.2	71.6	
		六	2.3	67.4	11.6	9.3		2.3				11.6	4.6	69.8	
	下 歯	一		22.0										17.7	
		二		52.8										47.7	
		三		67.8	0.5	0.5								62.8	
		四		59.8	2.1								0.7	70.8	
		五	1.1	80.6	3.5								2.2	78.4	
		六	2.3	83.7	6.9								2.3	76.7	4.6
右	上 歯	一		15.4										17.7	
		二		33.8								1.0	1.0	38.0	
		三		39.8	1.0	3.8						2.7	1.0	56.2	
		四		57.2	0.8	4.7		0.8				5.5	3.0	64.9	
		五	1.2	72.3	1.2	7.2		1.2		1.2		9.6	2.4	73.5	
		六	6.9	67.4	2.3		2.3			2.3		9.3	4.6	69.8	
	下 歯	一		31.1										34.3	
		二		63.4										65.7	
		三		71.0	0.5	0.5						1.0	1.5	73.2	
		四		74.9	0.8	1.5						0.8	2.3	79.3	0.8
		五	6.0	86.7	2.4	2.4		1.2		1.2		1.2	4.8	83.1	1.2
		六	9.3	83.7	4.6	4.6		2.3				4.6	9.3	81.4	4.6



山王小学校洗口場図



## 2. 洗口施設の整備

- (1) ブラッシングの実践と学校施設
- (2) 学校改築と洗口施設の整備  
関係機関の指導援助  
洗口施設の現況

## 3. 実践力を高めるための指導

- (1) 学校の指導態勢
- (2) 実態に即した重点的指導
- (3) 全体指導と個別指導
- (4) 家庭の啓もう
- (5) 治療処置

## 4. むすび

# フッ化物イオン導入法を中心にしたう歯予防

長野県歯科医師会 石 塚 要次郎

農山村部の多い本県は児童生徒のう蝕罹患率  
が年々高くなっていく中で、児童生徒はもとより、  
全県民を対象に県、県教委、県歯、その他各  
層が一体となって“よい歯作り”の諸施策を展開  
している。

1. 長野県口腔衛生協会の設立
2. 正しい歯のみがき方指導：全県下小中学校  
実施。
3. 巡回歯科診療車：へき地や無歯科医地区小  
中学校の巡回診療。
4. 巡回歯科保健指導車：県内各学校の歯科保  
健巡回指導。
5. よい歯の実践指定校：フッ化物塗布を含む  
歯科保健の実践活動を行ない、その成果を他  
の学校に波及を図り、児童生徒の保健の向上  
を目的とする5カ年計画事業。

今年度は実践記録を編集して、小中学校の  
学級担任を対象とする歯科保健の手びきにな  
るような指導書作りをする。

来年度は5年目の最終年度であり、全県下  
の学校で歯科保健指導の講習を行なう予定で  
ある。本日のシンポジウムの研究討議をこの  
参考に供したい。

ここでは、よい歯の実践指定校で過去3年間行  
なってきたフッ化物イオン導入の状況を報告す  
る。

1. イオン導入器を用いて行なうフッ化物塗布法  
である。

2. 経費の大部分は県費により、一部を市町村負  
担とし、児童からは料金をとらない。
3. 実施人員構成は、学校歯科医、地域歯科医師  
会員、歯科衛生士、学校教職員、PTA、その  
他である。

## 4. 成績

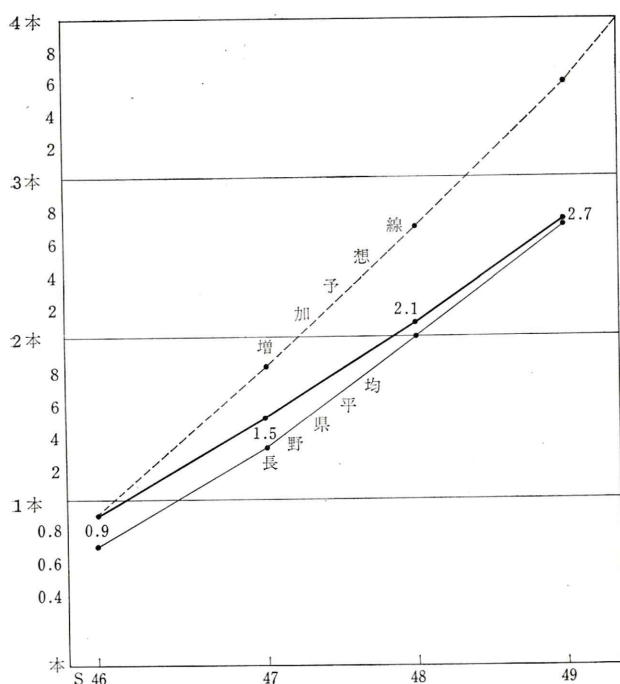
3カ年の追跡調査を行なった結果、県平均と  
比較して25パーセントから54パーセントの抑止  
効果が認められた。

## 5. 評価

- (1) よい歯作りの実践活動の効果も当然含まれ  
ている。
- (2) 高学年より低学年の方が効果が高い。
- (3) 都市部より農村部の学校の方が効果が高  
い。
- (4) 児童をはじめ家庭や地域の歯に対する関心  
が高まっている。
- (5) 積極的に歯をよくしようとする気持が強  
くなる。

## 6. 問題点

- (1) 県下の全児童にフッ化物塗布を行なうこと  
は、経費、時間、スタッフ構成の上で不可能  
に近い困難さがある。
- (2) フッ化物塗布のかわりに、フッ化物含嗽か  
フッ素歯磨剤などの方法ではどうか。
- (3) スクリーニングによって、特定の児童にフ  
ッ化物の塗布を行なってはどうか。  
乳歯がひどくむし歯になっている児童。



実践校 1 人平均罹患歯数 (永久歯)

偏食などにより歯の形成に必要な栄養を摂っていない児童。

永久歯冠形成期 (4 歳 ~ 6 歳・7 歳) にハシカを含む熱発性の病気やひどい下痢をとまなう消化器疾患の病歴のある児童。

100 人 20 中人前後いる。

大流行期に当たった学年は倍位の率となる。

これらの児童は 5 年生になると、他の児童の 2 倍以上の歯数になってしまう。

## 西日本：研究協議

歯に関する保健指導を効果的に進めるには、どうしたらよいか



- (1) 演者：岑力 (国見町教育長), 谷守裕 (国見町立神代小学校校長), 尾形担 (国見町立神代小学校教頭), 芝田明 (国見町立神代小学校保健主事), 金子道子 (国見町立神代小学校養護教諭), 堺正己 (国見町立神代小学校学校歯科医),

片岡皓一 (国見町立神代小学校 PTA 会長), 江崎清 (長崎県学校歯科医会長)

- (2) 司会者：永川達男 (大瀬戸町立雪の浦小学校長)



## 本校における歯科保健の実際について

長崎県南高来郡国見町立神代小学校

### 1. 構成

児童数452名、学級数13（特殊学級1）、職員数18名、外6名（校長1、教頭1、教諭14、養護教諭1、事務職員1、外用務員1、給食調理婦4、図書館事務1）

### 2. 本校経営方針について

- (1) 教育の理想実現をめざし、民主的な学級経営につとめ、教職員の親和協力、積極的に推進する体制をすすめる。
- (2) 教育運営は、健康教育を基盤に道德性の涵養を主軸として教科経営の充実徹底をはかる。
- (3) 教育実践にあたっては、児童の自主自立、個性を伸ばすことに努力するとともに教育研究に専念し、構想、計画、実践、記録、評価、反省を怠らず常に生氣ある学校をめざす。
- (4) 学校教育全般にわたり、むりなく、むだなく、むらなくするために、つねに評価反省して経営の能率化につとめる。

### 3. 学校保健について

- (1) 学校保健は教育の基盤である。
- (2) 教育計画の中に位置づけ、三領域との関連を明確にする。
- (3) 教師の共通理解と連帯感を高める。
- (4) 児童の主体的自覚を高める。
- (5) 地域、社会、家庭との連けいをはかる。

### 4. 歯科保健のねらい

- (1) 歯の学習 (2) 歯の清潔（歯みがき励行、習慣化）(3) う歯の予防処置 (4) 歯に関する施設の充実 (5) 地域社会、家庭の協力

### 5. 歯科保健の位置づけ

各教科、道德、特別活動の三領域の中で、各学年で歯科保健に関する指導内容を考え、カリキュラムを通して指導の徹底をはかる。

### 6. 歯科保健の実態

- (1) 疾病被患状況：胸郭異常0.4%、近視12%、色覚異常0.8%、扁桃肥大1.6%、う歯未処置者74.8%

#### (2) 全校児童の未処置率（乳歯、永久歯）%

昭和38	39	40	41	42	43
59.2%	73.0	79.4	58.5	60.9	61.1
	44	45	46	47	48
	67.8	61.1	71.5	81.5	74.8

#### (3) 定期健康診断時の永久歯う歯処置完了率

昭和38	39	40	41	42	43
61.4%	48.4	77.9	84.5	79.6	81.5
	44	45	46	47	48
	80.4	80.2	93.3	79.4	82.8

#### (4) 事後処置状況

昭和38	39	40	41	42	43
77.8%	90.4	83.8	93.8	96.0	93.8
	44	45	46	47	48
	95.4	92.4	93.0	94.1	92.5

定期健康診断後……年11月末までの)

- (5) 歯みがき調査：朝ごはんの後歯をみがいていますか(a)、夜ねる前に歯を磨いていますか(b)

毎日：(a) 39%、(b) 34%

ときどき：(a) 41%、(b) 54%

みがいていない：(a) 20%、(b) 12%

- (6) 歯口清掃成績：普通85%、中15%

- (7) 歯口清掃評価：自分から進んでみがく40%、めんどくさいががまんしてみがく22%、家の人に注意されてからみがく21%、学校で調べられるからみがく17%

## 7. 48年度における歯科保健活動について

委 員 会	開 催 に つ い て	歯科保健に関するおもな議題
学 校 保 健 委 員 会	歯科保健問題を議題としたもの2回	1. 定期歯科検査結果について
児 童 保 健 委 員 会	〃 2回	2. う歯予防週間行事計画について
P T A 保 健 体 育 委 員 会	〃 2回	3. う歯予防のための問題点 う歯治療状況, 歯口清掃の習慣形成 歯みがきの習慣
項 目	内 容	
健 康 診 断 健 康 診 断 と 事 後 処 置	1. 全校児童に対する歯牙検査は定期健康診断を含めて年2回実施した 2. 歯科受診票による治療勧告2回 3. 治療勧告をうけて治療をすませたもの92.5% 4. 治療勧告をうけ, 歯科通院の方法 個人で治療に行ったもの66%      集団治療をうけたもの34%	
健 康 相 談	歯科保健に関する相談日を毎月5日とし実施回数6回(おもに歯口清掃状態を調べる)	
保 健 室 の 設 備	健康診断, 健康相談用として 歯鏡20本      歯科用探針20本      ピンセット10本 各教室      歯ブラシ      コップ棚      保健箱(鏡, くし, はさみ, 爪切り)	
歯 口 清 掃 指 導	給食後指導している	
歯 科 関 係 保 健 調 査	歯みがき調査      歯口清掃成績調査      態度の評価 父兄の口腔衛生に関する調査	
歯 科 保 健 教 材 教 具 歯 科 保 健 関 係 行 事	歯の模型6個      大型歯ブラシ6個      スライド      紙芝居      掛図      書籍      図画      ポスター 作文      講話      個人パール表彰(町長賞)      学級表彰(歯科校医賞) 歯みがき体操      う歯予防週間行事      歯のまつり	
歯 科 保 健 計 画 指 導 計 画	学校保健の中に位置づけ      カリキュラムのもとに学級指導をととして      また全校的に指導の徹底をはかることにしている	

8. 歯科保健指導について

(1) 保健指導の年間計画主題名一覧表(月別) 特設時間 常時指導(給食時間, 朝の会, 帰りの会)

学校保健 生活目標	4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年	からだの検査のうけかた 身のまわりをきちんと	正しい姿勢 検便のうけかた けがなを洗い手洗い	歯みがき訓練 つゆどきの食物 からだをきれいに	夏の健康 ・ねぐさ ・食べ物 ・日課表 ・早ね早おき	からだをきれいに ・つめをみじかく ・汗のしまつ	目を大切に ・へやの明るさ	どれだけのびたて のびたて 身長と体重	うがい、歯のしめ、 ひげの予防、 もやけの予防、 外で遊ぶ	部屋の空気を入れかえ 寒さを防ぐためのもの	外でのよい遊び方	耳や鼻をきれいに 健康な生活をしよう
2 年	からだの検査のうけかた 教室をきれいに	正しい姿勢 検便の手のかた	むし歯をなくそう つゆどきの食物 からだをきれいに	夏の健康 ・ねぐさ ・食べ物 ・日課表 ・早ね早おき	男女の生活習慣 ・強いからだ ・汗のしまつ	目を大切に ・へやの明るさ ・テレビの見方	どれだけのびたて のびたて 毎月の体重をはかる	うがい、歯のしめ、 ひげの予防、 もやけの予防、 かんづめ、 外で遊ぶ	部屋の空気を入れかえ 冬のたべもの	外でのよい遊び方	耳や鼻をきれいに 健康な生活をしよう
3 年	健康診断のうけかた 正しい姿勢	正しい姿勢 検便	むし歯を防ごう つゆどきの食物 ・食生活 ・かみの手入れ	夏の健康 ・夏の帽子 ・汗のしまつ ・日課表	男女の生活習慣 ・運動と休養 ・汗のしまつ	目を大切に ・へやの明るさ ・テレビの見方	自分の体 ・位置 ・体重の増減	強いからだ 外での遊び、 下着のとりかえ、 かんづめ	部屋の空気を入れかえ 冬に必要な食べもの	外でのよい遊び方	耳や鼻の病気 健康な生活の反省
4 年	健康診断のうけかた 正しい姿勢	正しい姿勢 検便	むし歯を防ごう つゆどきの食物 ・食生活 ・伝染病の予防 ・体の洗い方	夏の健康 ・夏の帽子 ・汗のしまつ ・日課表 ・寝る時間	からだの生活習慣 ・男女の生活習慣 ・運動と休養	目の衛生 ・読書、 ・姿勢、 ・姿勢の矯正	病気の予防 ・病気の予防	外での運動 かぜの予防、 かんづめ	部屋の換気 冬の着物の入れかえ 冬に必要な食べもの	冬のよい遊び方	耳や鼻の病気 健康な生活の反省
5 年	健康診断 学校のうけかた	姿勢と健康 寄生虫	歯と健康 つゆどきの食物 ・伝染病の予防 ・食生活 ・体の洗い方	夏の健康 ・運動と休養 ・睡眠と健康 ・日課表	からだの生活習慣 ・発育と体の変化 ・発育の男女差 ・運動と休養	目の衛生 ・目の病気	体位の測りかた ・変化	戸外運動 冬の病気の予防	採光・換気と健康 ひげのたれ、 冬の食事の献立	冬のよい遊び方	耳や鼻の病気 健康な生活の反省
6 年	健康診断 学校のうけかた	姿勢と健康 寄生虫	歯と健康 つゆどきの食物 ・食生活 ・体や衣類の清潔	夏の健康 ・運動と休養 ・睡眠と健康 ・日課表	からだの生活習慣 ・発育と体の変化 ・発育の男女差 ・運動と休養	目の衛生 ・光のとり方	体位の測りかた ・変化	戸外運動 冬の病気の原因と予防	採光・換気と健康 ひげのたれ、 冬の食事の献立	冬のよい遊び方	耳や鼻の病気 健康な生活の反省
保健生活目標	自分のからだの育ちを 知ろう 学校のうけかた	よい姿勢を保とう 寄生虫を防ごう	むし歯を防ごう つゆどきの食物 に注意しよう	夏を健康にすごそう	強いからだを つくる 男女の生活習慣 協力しよう	目の衛生 ・注意 ・友達と仲よく ・助け合おう	体の育ち ・具合に注意しよう	冬の病気を 防ぐ かんづめ、 かんづめ	寒さに負けない ようにしよう 食事と栄養について 考えよう	元気に外で遊ぶ 日光にあたらよう	耳や鼻を大切に 1年間の健康な生活を しよう



(2) 歯に関する保健指導学年別配当表

学年	主 題 名	ね ら い	指 導 内 容	備 考
1	歯みがき訓練	歯みがきのたいせつさを知らせ、正しい歯のみがきかたや、いつも口の中をきれいにすることを続けて実践する習慣をもたせる	歯みがきの大切なわけを知る 自分のむし歯を知る 正しい歯のみがき方やうがいの方法を知る 実践	指導用歯の模型 ハブラシ カラーテスター 歯みがき順序表 鏡
2	む し 歯 を な く そ う	じょうぶな歯のたいせつさを知らせ、正しくていねいな歯のみがきかたや口の中をきれいにすることができるようになさせる	むし歯と病気 むし歯の予防 自分のむし歯を知る 正しい歯のみがき方やうがいの方法 実践	むし歯の図 指導用歯の模型 ハブラシ カラーテスター 歯みがき順序表 鏡
3	む し 歯 を 防 ご う	むし歯のようすについて知らせ、すすんでむし歯の予防や治療をするようにさせる	むし歯のようすと歯のはたらき むし歯の予防法 早期治療の必要性 正しい歯のみがき方 実践	むし歯の図 健康ノート 指導用歯の模型 ハブラシ カラーテスター 歯みがき順序表 鏡
4	じょうぶな歯	歯に対する正しい知識をもたせ、じょうぶな歯にするための計画をたてさせ実践させる	歯の検査結果の反省 歯の働き むし歯の進行状態 むし歯の予防法 治療の必要性 よい歯の生活実践	健康ノート 歯の働きを示す掛図、スライド 歯の模型
5	歯 と 健 康	歯の病気や異常の予防のために気をつけねばならないことを進んで実践させる	歯の検診結果の反省 むし歯の原因 むし歯と食物との関係（そしゃくとう歯） う歯の予防のしかた 治療の必要性 各自の治療計画	健康ノート 学校う歯の統計表
6	歯 と 健 康	歯と健康の関係を知らせ積極的に歯の健康に留意した生活ができるようにさせる	歯の検診結果の反省 むし歯の原因 むし歯と食物との関係（そしゃくとう歯） 歯ぐきの病気と不正咬合 治療の必要性 各自の治療計画	健康ノート う歯の統計表 （学校、県、全国）

## 9. 歯科保健管理について

### (1) う歯予防対策

健康ノート：本校では昭和30年より、学校医、学校歯科医指導のもとに健康ノートを作製し、児童の健康がひと目でわかるよう記録し、児童が自分でもつようにしており父兄との連絡、また児童が健康への自覚をもつようにしている。

全校歯みがき：昭和26年度に各教室に歯ブラシ棚を設置し児童一人一人に歯ブラシ、コップをもたせ、毎日学校で歯をみがくよう指導するとともに習慣化をはかっている。

給食後の歯みがき実施：食べた後の歯みがきをねらいとし、日課表にくみ入れ実施している。

正しい歯のみがき方の指導：カラーテストを使用し歯の面の付着物の状態を鏡で視察させて、自分の歯のみがき方の研究をさせている。

歯のまつり：児童の歯に関する知識をたかめ、う歯から守るため毎年歯の研究発表を持ってきた。歯についての劇、歌、研究などを発表する会である。

咀嚼指導：よくかんで食べる指導をねらいとして給食指導の中に位置づけている。

手洗い口洗場の新設：48、49年度にわたり新校舎建築がなされ、現在2期工事中であるが、特に校舎建築設計の中に、各教室に歯ブラシ棚の設置と、教室前に手洗、口洗場をつくってもらうようにしてもらい、一期工事で7教室分が完了し現在使用中で、2期工事の中にもそのように計画されており、3学期から全校いっせいに新校舎の施設をとおして実施できることになっている。

「よい歯」のコンクール：毎年う歯予防週間に歯科校医の指導のもと「よい歯」の児童を選び、また学級別に「よい歯」の学級を選んで表彰している。賞として、町長賞、学校歯科校医賞がある。

### (2) う歯の処置対策

昭和36年度までは校内処置をしてきたが、

昭和37年度から通院による治療に切りかえられた。う歯保有児については、健康ノート、通知書、家庭訪問等によって保護者に勧告し、もよりの歯科医院で処置をしてもらうようにしている。本年度までは罹患児の中に歯科校医の処置を希望する児童については、養護教諭が期日時間を相談の上、集団治療をうけ、全罹患児の処置率は92.5%になっている。

## 10. 組織活動

### (1) 学校保健委員会（年7回）

本校で児童のう歯予防対策実施促進の原動力となるのは学校保健委員会である。

この運営については、保健主事が主体となって計画運営を図ってきたが、学校歯科医の指導も大きい。

#### 委員会の構成・66名

職員代表 10名	校長 1 教頭 1 保健主事 1 養護教諭 1 主任 1	生活指導主任 1 体育主任 1 理科主任 1 社会科主任 1 家庭科主任 1
	児童委員会代表 10名	児童会長 1 児童会副会長 2 書記 3 委員会 11
校医 3名	学校医 学校歯科医	
育友会代表 8名	育友会長 副会長 2 給食委員長 1 校外補導委員長 1	保健体育委員長 1 保健体育副委員長 1 広報委員長 1
地域代表 6名	教育長 1 文教委員 1 保健所員 1 町保健課長 1	婦人会長 1 青年団長 1
母親代表 11名	母親代表 11	
父親代表 9名	父親代表 9	

### 協議事項

歯牙対策：う歯半減運動について、家庭の協力について、う歯週間行事について。

月	学校行事	保健行事	目標	主体管理	健康管理	組織活動	家庭連絡	社会行事	備考
4	始業式 定期健康診断	健康診断 (委託検査)	自分のからだの育ち具合を知ろう 学校のきょうにしよう	個々の健康状態を把握する 排便・尿便・聴覚・視力・聴覚・体位測定	清掃年間計画 美化活動計画 大掃除 校舎内外安全点検 点検 飲料水検査 環境衛生検査 机椅子整理 学校給食食品衛生	委員会構成 学校保健年間計画 健康診断(委託検査)実施 託託計画 安全教育	健康診断実施 体位測定・委託検査 登下校の安全に関する協力	世界保健デー 環境衛生週間	4月保健指導細案 健康診断実施計画 諸帳簿作成 机椅子の調査 清掃計画 児童保健委員会活動細案 保健委員会
5	定期健康診断 安全教育 修学旅行 社会科学科見学の 検診 茶摘み 体力テスト	健康診断 事後措置 結核検査 体力テスト	寄生虫を防ごう よい姿勢を保とう	結核検査個人カルテ記入 健康相談 歯科健康相談	環境衛生検査 水洗い 水飲み場 トイレ管理 安全点検	口腔衛生週間に因る行事計画 4月の反省 健康診断集計 5月各週日標清潔検査	学校安全会加入通知・掛金	憲法記念日 子どもの日 世界赤十字デー 一愛鳥週間 児童福祉週間 母の日	5月保健指導細案 健康診断集計(体位・視力・聴覚・聴力の他委託調査)
9	口腔衛生週回避難訓練	口腔衛生週間 各校舎・教室消毒 梅雨期の衛生 健康診断事後措置	むし歯を防ごう つゆの時の衛生に気をつけよう	保健統計作成 健康相談 歯科健康相談 健康診断事後措置 健康ノート	各校舎・各教室消毒 (町) 飲料水検査	夏の保健対策 うむし歯予防について 夏の反省 清拭検査 夏の健康生活について 環境整備	健康診断統計結果通知 うむし歯予防歯ブラシ・コップ	歯の衛生週間の記念日 父の日	6月保健指導細案 口腔衛生週間実施 保健通信
7	大掃除 終業式	健康相談 健康診断(臨時)	夏を健康にすごしましょう	臨時健康診断 ・水泳 疾病治療報告	安全点検	救急法講習会 夏休みの健康生活について	水泳の安全についで 夏休み前の生活	国民安全の日 夕ばた	7月の健康指導細案 除細案 夏季休業中の保健指導 学校病治療報告
8	水泳大会 ソフトボール大会		夏休みを利用して疾病治療					鼻の日 食中毒防止運動	



月	学校行事	保健行事	目 標	保 健 管 理		組 織 活 動		家 庭 連 絡	社 会 行 事	備 考
				主 体 管 理	環 境 管 理	学校保健委員会	児童保健委員会			
9	始業式 大掃除 夏休みの作 品展	夏休みの健 康調査 体位測定	強いからだを つくろう 男女はなかよ く協力し合お う	体位測定 健康相談 歯科健康相談	定期環境衛生 検査 机・椅子の整 備 学校給食の食 品衛生点検 安全点検 臨時環境衛生 検査 飲料水の水质 検査	夏休みの反省 学校安全につ いて 運動会につ いて	夏休みの反省 清潔検査 委員会便り 2学期行事計 画 運動会時の活 動計画	運動会につ いて 部落練習対策 疲労と休養	震災記念日 敬老の日 秋分の日 結核予防週間	9月保健指導 細案 臨時健康診断 (運動会前) 保健通信
10	秋季運動会 社会科見学	臨時健康相 談	目の衛生に注 意しよう 友達と仲よ く助けあおう	視力検査 眼疾治療 健康相談 (歯科とともに)	校内整備 照明・照環境	運動会につ いて 近視予防対策	運動会につ いて 教室・家庭の 照度しらべ	第2回視力検 査結果通知	体育の日 目の愛護デー 交通安全週間	10月保健委員会 細案 視力検査集計
11	避難訓練 遠足	健康相談 口腔衛生週 間	からだの育ち ぐあいに注意 しよう	健康相談 歯科健康相談	安全点検 教室の自然換 気	10月の反省 教室の換気 冬の健康 う歯予防につ いて	10月の反省 教室・家庭の 照度しらべ	冬の健康 かぜの予防 正しい生活	文化の日 勤労感謝の日 世界平和記念 日 火災予防運動	11月の健康指導 細案 欠席児童(かぜ) 調査 あかぎれ、しも やけ、ひび調査 うがい
12	終業式 大掃除	健康相談 しもやけ かぜ	冬の病気を防 ごう ひふをきたえ よう	健康相談 歯科健康相談 傷害の防止	安全点検 ストレープの取 付け	冬の健康生活 冬休みのすこ し方	11月の反省 冬休みの健康 生活	冬休みの健康 生活 ひびあかぎれ 凍傷 かぜの予防 傷害防止	冬 至	12月の健康指導 細案 欠席児童(風邪) 調査 あかぎれ、しも やけ、ひび調査 うがい
1	始業式 大掃除	健康相談 体位測定 寒さにまけない よう 行事と授業につ いて考えよう	体位測定 健康相談 歯科健康相談	安全点検 教室の換気		3学期行事運 営について 冬の生活につ いて	12月の反省 清潔検査	交通安全 かぜの予防 あそびにつ いて	元 旦 七 草 成人の日	1月保健指導細 案
2	校内マラソ ン 駅伝大会	健康優良部 落審査会	元気に外であ そぼう 日光にあたら う	健康相談 歯科健康相談	安全点検	校内マラソン 駅伝大会につ いて 健康優良部落 審査について	校内マラソン 駅伝について 練習のありか た	校内マラソン 駅伝大会につ いての協力	節 分 建国記念日 火災予防運動	2月保健指導細 案 健康優良部落審 査資料準備
3	卒業式 終業式 大掃除 避難訓練	健康相談	耳や鼻を大切 にしよう 1年間の保健 生活を反省し よう	健康相談 歯科健康相談	保健室整備 校舎内外の点 検	次年度計画立 案	一年間の反省	1年間の反省	耳の日 ひなまつり 春分の日 火災予防運動	次年度保健指導 計画立案

(2) 児童保健委員会（毎月1回）

委員会の構成：会長1，副会長1，議長1，副議長1，書記3，各委員会代表11，部落代表11，各学級より2名計16名

活動内容：5月定期歯牙検査の結果を知る，6月う歯予防週間，11月歯みがき週間（調査，歯口清掃成績調査）

(3) PTA保健体育委員会（年10回）

委員会の構成：部落部会より保健体育委員として1名出て，11部落部会で11名をもって構成する。

協議事項：う歯予防週間行事に協力，家庭における歯みがき励行について，調査協力

(4) 健康優良部落育成と顕彰

目的：本校における児童の健康優良部落表彰を行ない，児童ならびに父兄地域社会の健康に対する関心と認識をたかめ，学校保健の推進をはかる。

沿革：昭和29年度学校保健の進展に伴い（活動も活発化し）育友会における保健活動も活発化し，部落部会の計画運営についても管理，施設，指導の充実がなされつつある現状から，主として部落児童を対象とした評価を加え，校医寄贈による表彰旗を贈り表彰することにしている。

実施方法：表彰は学校より部落児童にする。表彰部落には，校医学校歯科医寄贈の表彰旗を贈る。表彰期日は2月の育友会研究発表会に行ない，審査経過報告を行なう。（育友会総会当日）

審査委員は，学校長，教頭，保健主事，学校医，学校歯科医，育友会長，養護教諭，育友会保健体育員代表とする。審査の対象は校区12部落の小学校児童を部落別審査項目別に審査し，その総合をみる。

審査項目は次のとおり

体格（身長・体重・胸囲を男女別に出し総合評価する。）

体力（走・跳・投を男女別に出し総合評価する。）

（寄生虫卵保有者・う歯罹患・皮膚疾患（学

校病））

出席（学年別・部落別（4月～1月31日まで）病欠延日数・病欠者数）

学力（国語・算数（ガンバリテスト））

衛生検査（あたま・つめ・からだ・ちり紙・ハンカチ・歯みがき（朝晩）顔洗い）

育友会の出欠（学級部会・専門部会）

育友会・部落部会活動状況（保健体育部の年間計画と運営状況・施設の状況）

以上の項目により，各項目ごとに順位をきめ，各項目の総合点により順位を決定する。

11. 口腔衛生週間行事について

週間行事をとおし，自己のむし歯や歯の異常を把握させ，それらの治療や予防に必要な習慣や態度を養う。

学年別のねらいと内容

〔1・2年〕

ねらい：むし歯について関心を持ち，口の中をきれいにするようになる。

内容：自分のむし歯を知る。うがいや正しい歯のみがきかた。

〔3・4年〕

ねらい：むし歯のようすについて知り，むし歯の予防につとめ，すすんでむし歯の治療を受けるようになる。

内容：むし歯のようす，むし歯とそしゃくの関係，むし歯の予防と治療

〔5・6年〕

ねらい：歯の病気や異常の予防のために気をつけなければならないことを自主的に実践できるようになる。

内容：むし歯の予防や歯ぐきの病気と予防，不正咬合のなおしかた。

12. 今後の課題

- (1) 学校における歯科保健環境の充実を図る。
- (2) 学校長はじめ全職員が歯科保健について共通理解をもち，意志の疎通をはかることが大切である。
- (3) 指導は学級指導にまつこと，まことに大きいことを自覚すべきである。
- (4) 施設設備の充実についての研究と努力が必

(3) 口腔衛生週間計画 (49. 6. 4～ 6.10)

日	曜	実 施 内 容	歯 体 磨 擦	歯 指 磨 導	咀 指 嚼 導	幻 割 灯 当
3	月	口腔衛生週間実施案作成 (各学級立案) 歯ブラシ棚清掃と調査 (各学級) 歯磨指導について (順序方法) 教師				
4	火	県衛生士学院専任講師の口腔衛生指導 13:50～14:25 低学年, 高学年児童衛生指導 14:45～15:30 職員懇談会	実 施	実 施	実 施	1 年
5	水	歯磨 カラーテスト 1年～2年	実 施	実 施	実 施	2 年
6	木	歯ブラシ 歯磨調査 コップ (児童保健委員) 歯磨 カラーテスト 5年～4年	実 施	実 施	実 施	3 年
7	金	パール個人審査 歯磨 カラーテスト 5年～6年	実 施	実 施	実 施	1 年
8	土		実 施	実 施		5 年
9	日	家庭指導				
10	月	パール個人表彰 (国見町長)	実 施	実 施	実 施	6 年

注: 担任, 保健委員は (児童) 記録をとる。歯に関する学習指導および生活指導  
ポスター, 標語は6月1日まで提出する (3点)

要である。

- (5) 歯みがき習慣化のための指導は常時活動の中に位置づけなければならない。  
(6) 地域社会の認識をたかめ, 保護者の教育が

必要である。

- (7) 指導のための資料を揃える必要がある。  
(8) 映画, 放送を利用した指導は効果的である。

出席者からの質疑にこたえて

- 問 歯科保健の学校における限界について  
答 学校教育の限界は歯科保健に関する理解と態度の養成, 習慣形成が絶対必要なので, 教育によって学校, 家庭, 社会における健康生活の基礎をつくるのである。  
問 山王小学校で洗口場の設計で教委と意見が合わなかったのは何か。  
答 学級専用のものを作りたいかったが, ごらんの

- 通り, わたり廊下に設置した。  
問 フッ化物塗付の効果はいつまでか。  
答 2年もつ。  
問 フッ素の公害について  
答 慢性と急性に分ける。急性の例は昭和27年, 京都の小学校で給食のとき, gとmgを間違えて, つまり1,000倍入れて下痢, 腹痛, 頭痛をおこした。むし歯予防には2%の溶液をふつう



使うが、これは2リットル飲まないと中毒しないので、あり得ないことになる。慢性は愛知県の犬山の近くで、10ppmの簡易水道水を10年も知らずに飲んでいて斑状歯が出た。しかし骨には異常がなかった。歯にでる場合の50倍の濃度であると骨にも異常がでる。慢性中毒はまず歯に現われる。しかし斑状歯が出た場合、水を調べても原因がつかめない時もある。宝塚や西宮の場合のフッ素は1.5ppmである。横浜市の本町小学校では10年以上フッ素塗布をして害は出ていません。塗布で斑状歯はでません。肝臓や腎臓にはフッ素はつかないが、有機フッ素は有害である。

問 フッ化物塗布の全国的状況は？

答 組織的にやっている所はないから統計的には不明。横浜・横須賀では教育委員会で歯科衛生士を雇用してやらしている。滋賀県では統一的にしていって、県の歯科衛生士が来てやってくれる。効果は、歯の方の条件をよくしてやれば3割はフッ素で防げるが、歯ブラシ指導とシュガーコントロールをぬきにはできないし、こちらのほうがむずかしい。

タフィを食事といっしょに与えても影響がなく、随時好きな時に何度もとらせると、分量は同じでもむし歯になるという実験を、スウェーデンでやった報告がある。

問 日光にさらすとむし歯の菌は死ぬというが。

答 ほんとうではあるが、まんべんなく、いつも日光浴させることは不可能で、全能の方法ではない。むし歯の菌は毒性は弱いけれど、そこらにザラにある菌で決定打はない。毒性の強い菌ほど免疫を作りやすいもので、日光浴も予防の一手段と考えたい。

問 歯科巡回自動車について——人件費は？

答 人件費は文部省の補助費には含まれていな

い。しかし人件費を出すことによってへき地の歯科保健がすすむなら考えたい。へき地へ派遣の場合、学校医、学校歯科医の日当・旅費のほうを拡充するよう、今努力している。数町村をグループにすることも考えている。

問 バスではどの程度の治療をするのか。

答 2日で終わる程度のもので、費用は保険料金、保護家庭は無料である。

岩手県ではうまくいっている。48年はのべ1万人、初期の充填を保険でやる。教育委員会から1人1回歯科医師4,000円、歯科衛生士2,500円支払う。保険料の収入から人件費と運営費を出すようにしている。

問 表彰について、治療率を基準にすると問題がある。同和のこともある。

答 地域の協力を得られるようしむけるのも学校の医療活動のひとつで、保健教育の最終目的は健康な生活をするにある。

障害があればやめるべきであろう。

問 保健室の広さが中学は小学校の半分の基準である。

答 あれは最低を示したもので、必要なら要求すれば通る可能性はある。

問 希望であるが、健康相談に養護教員が参加できないたて前は改正してほしい。スクリーニング検査は委託となっているが、検査機関が不足して取りあいなので増強を考えてほしい。

答 法制上、養護教諭が健康相談を行なうことには疑問があるが、現在養護教諭の任務の1つとして健康相談を行なうようにすべきであるという意見が多いし、われわれも同意見であるので、そのような方向で努力したい。スクリーニング検査は検査機関が充実していないようであるが、これは過渡期的なものと思う。将来は改善されるであろうと思っている。

# 第15回 全日本よい歯の学校表彰・県別一覧表 (43～49年)

年 度 県 別	43年度 第9回		44年度 第10回		45年度 第11回		46年度 第12回		47年度 第13回		48年度 第14回		49年度 第15回	
	小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	小	中
北海道 北青森 岩手宮城 秋田	13		0 12	1 3			2 13	2 5	5 16	4 7	4 16	4 7	5 25	6 8
山形 福島 茨城 栃木 群馬	7	4	0	0	9	2	9	3	8 9 11	1 1 5	7 3 11	3 3 4	14 12 19	2 2 1
山形 福島 茨城 栃木 群馬	105	54	115	54	118	50	146	65	185	79	234	114	271	126
山形 福島 茨城 栃木 群馬	31	6	45	17	53	14	58	14	27	18	66	18	99	38
山形 福島 茨城 栃木 群馬	32	11	49	18	53	21	60	31	72	35	73	32	72	28
山形 福島 茨城 栃木 群馬	180	96	185	102	133	71	154	79	137	74	147	80	163	98
埼玉県 埼玉 千葉 東京 神奈 川	66	30	84	40	81	38	90	36	79	32	127	43	107	56
埼玉県 埼玉 千葉 東京 神奈 川	17	12	18	11	16	7	72	10	26	11	48	20	45	17
埼玉県 埼玉 千葉 東京 神奈 川	152	14	174	32	196	32	246	52	257	54	275	78	292	92
埼玉県 埼玉 千葉 東京 神奈 川	46	15	51	21	68	4	71	28	90	31	84	32	98	33
埼玉県 埼玉 千葉 東京 神奈 川	78	38	105	39	98	38	206	80	265	103	267	96	333	121
富山 石川 福井 山梨 長野	170	63	128	43	146	59	174	63	104	77	211	83	205	76
富山 石川 福井 山梨 長野	84	16	30	8	44	11	69	19	44	12	53	15	47	12
富山 石川 福井 山梨 長野	14	4	14	3	13	3	15	6	14	7	13	6	9	5
富山 石川 福井 山梨 長野			1				2	3					2	1
富山 石川 福井 山梨 長野	2		29	12	23	7	34	15	31	9	35	13	77	24
岐阜 静岡 愛知 三重	132	15	97	26	64	17	217	103	218	95	204	88	153	74
岐阜 静岡 愛知 三重	21	5	12	8	19	8	22	10	31	17	30	23	39	20
岐阜 静岡 愛知 三重	98	16	103	32	112	26	116	29	172	39	230	52	227	51
岐阜 静岡 愛知 三重			0	0										
岐阜 静岡 愛知 三重	43	3	49	5	58	11	65	15	88	15	84	11	87	20
京都 大阪 兵庫 奈良 和歌	78	19	110	19	119	22	144	36	144	29	159	31	144	30
京都 大阪 兵庫 奈良 和歌	129	31	152	36	140	26	143	35	155	36	157	40	128	18
京都 大阪 兵庫 奈良 和歌	91	28	90	32	102	36	109	39	118	42	29	14	131	44
京都 大阪 兵庫 奈良 和歌	2		6	2					2		2		2	1
京都 大阪 兵庫 奈良 和歌	35	9	43	11	48	11	56	14	93	33	92	43	76	28
鳥取 島根 岡山 広島 山口	10			0	11		14		19	1	18		16	
鳥取 島根 岡山 広島 山口	13	5	12	26	73	16	99	34	100	39	112	42	106	37
鳥取 島根 岡山 広島 山口	37	2	76	4	64	6	66	7	54	8	68	7	88	13
鳥取 島根 岡山 広島 山口	169	63	53	38	148	43	204	74	183	71	179	66	180	64
鳥取 島根 岡山 広島 山口	1	1	105	1				1	12	8	8	5	36	20
徳島 香川 愛媛 高松 福岡	101	33	107	30	116	30	127	43	134	43	129	41	118	39
徳島 香川 愛媛 高松 福岡	8	2	3	2	12	2	22	8	33	8				
徳島 香川 愛媛 高松 福岡	8	5	15	6	13	4	12	5	9	3	8	2	4	2
徳島 香川 愛媛 高松 福岡	44	17	42	13	52	14	77	22	74	19	86	18	97	24
佐賀 長門 熊本 大分 宮崎					1				1					
佐賀 長門 熊本 大分 宮崎	53	10	60	11	65	15	87	21	121	34	132	43		
佐賀 長門 熊本 大分 宮崎	86	21	69	20	82	29	153	52	161	59	196	77	229	85
佐賀 長門 熊本 大分 宮崎	59	17	56	16	84	31	99	36	119	46	110	42	109	39
佐賀 長門 熊本 大分 宮崎									21	7	39	12	33	13
鹿児島 鹿儿 島	9	1			2								1 1	
合 計	2222	666	2312	747	2452	725	3215	1095	3540	1212	3839	1335	3915	1372

# 昭和49年度第15回全日本よい歯の学校・小学校70%以上

\*は5年、\*\*は10年連続、\*\*\*は15年連続表彰校

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
<b>青森県</b>			西山形	7	83.4	上郷	5	80.3	羽黒第一	6	74.5
石沢	5	94.3	山形第九	12	77.4	西五百川	11	77.0	羽黒第二	12	73.7
豊川	3	100	村木沢	6	95.2	水本	3	82.4	余目第一	12	79.0
田子	18	71.3	鈴川	37	71.0	大谷	2	76.3	余目第三	13	76.7
車力	7	92.0	西郷第一	7	96.9	宮宿	10	89.0	十六合	6	85.3
小目名	3	70.0	山元	4	84.7	鷹巣	5	88.7	一条	6	93.0
八戸	44	70.7	西郷第二	6	71.7	*日新	28	72.3	八幡	14	77.9
番屋	3	81.4	本庄	6	74.3	古口・白糸	2	83.3	*日向	3	81.2
<b>岩手県</b>			本庄・赤山	1	100	金山・谷口	2	76.5	三沢東部・山梨沢	1	88.9
緑ヶ丘	27	76.1	天童第十	6	73.1	明安	6	78.0	三沢東部	6	74.5
近内	4	78.8	天童第四	12	79.5	月楯	4	71.6	塩井	7	76.0
<b>秋田県</b>			天童第七	11	99.1	赤倉	6	74.9	漆山・空の沢	2	86.4
七滝	6	75.3	天童第三	10	77.2	富沢	7	95.3	漆山・矢の沢	2	100
船川南	13	77.4	天童第八	4	100	大蔵	10	73.3	中川	9	88.0
平元	7	81.8	大寺	6	81.6	牛潜	3	76.1	宮内	25	75.1
船川第二	6	82.0	三泉	7	76.3	差首鍋	4	76.7	漆山	12	71.6
西滝沢	6	88.9	白岩	8	78.6	安楽城・西郡	2	78.8	梨郷	7	73.9
東湖	13	89.3	白岩・畑	1	84.4	平枝	6	71.7	沖郷	13	76.6
田村	6	94.6	柴橋	13	77.2	富長	6	72.3	亀岡	6	90.9
蛭野	6	97.1	田代	3	83.7	浜中	6	70.0	二井宿	6	80.6
<b>宮城県</b>			寒河江南部	12	84.3	*本楯	7	78.2	致芳	10	81.8
東二番丁	17	88.5	醍醐	6	84.8	西荒瀬	6	87.6	平野	8	85.6
片平丁	21	71.0	幸生	4	79.5	松陵	31	81.7	長井	39	85.6
南材木町	27	76.4	寒河江	37	73.4	琢成	21	83.6	伊佐沢	6	87.3
県立もう	8	80.0	西根	12	87.3	光ヶ丘	19	77.6	小国北部	6	74.0
長岡	7	80.0	小山	4	95.8	温海	14	71.3	足中	3	91.5
敷玉	11	82.8	月山沢・志津	1	88.9	黄金	6	75.3	中山	6	86.2
<b>山形県</b>			川土居	7	80.5	*田川	6	74.6	東根	7	75.8
蔵王第一	13	72.5	水沢	6	78.0	西郷	10	72.4	滝野	3	76.7
本沢	6	74.8	谷地西部	6	74.1	*朝陽第二	23	75.7	**蚕桑	11	72.5
山寺	6	71.6	溝延	13	86.4	朝陽第四	35	73.5	荒砥	14	82.3
東沢	9	79.3	谷地南部	13	80.0	杉沢	4	73.6	*鮎貝	11	72.2
滝山	15	75.0	西里	10	79.5	稲川	7	71.1	手ノ子	7	85.9
高瀬	13	83.7	谷地中部	15	83.5	藤島	13	75.4	添川	7	84.2
山形第五	27	76.0	本郷西	6	87.5	長沼	6	70.5	中津川	6	76.2
山形第二	22	82.6	本郷西・大鉢	1	100	渡前	6	87.8	中津川・小屋	2	83.3
高瀬・合の原	1	85.2	立木	3	84.7	狩川	13	96.4	中津川・広河原	2	78.4
大郷	12	74.8	上郷・杉山	1	90	櫛引西	10	77.0	<b>福島県</b>		
山形第十	32	74.7	和合	5	84.8	横山	8	71.2	油井	13	91.6
千歳	21	91.3	送橋	3	73.1	*押切	8	81.8	稲田	9	99.6



学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
白方	12	98.3	泉川	6	78.0	京ヶ島	14	72.5	千葉県		
城西	39	97.7	黒羽	13	81.7	桐生東	28	70.2	桜田	8	87.4
永和	7	95.9	小川南	6	90.4	桐生南	27	79.2	環	6	85.4
安積第一	32	95.6	薬利	6	93.8	伊勢崎北	41	74.0	平三	6	72.4
沢田	8	99.8	秋山	5	82.3	伊勢崎南	40	72.0	長尾	6	70.0
広野	14	87.3	飛駒	6	83.0	殖蓮	43	79.2	関豊	5	73.7
茨城県			多田	11	85.8	宮郷	20	83.1	平和	6	72.6
玉造西	6	70.3	山形	6	96.4	九合	31	71.5	松尾	13	70.8
高須	6	70.4	阿久津	18	74.6	沢野	18	74.8	埼玉県		
額田	13	71.0	上阿久津	6	79.8	鳥之郷	14	79.4	岸町	19	96.8
枝川	6	71.0	上沢	3	81.3	**太田東	17	73.3	原山	35	91.9
巴第一	6	72.9	氏家	30	83.5	休泊	18	75.1	針ヶ谷	25	81.8
布川	12	73.0	喜連川	17	84.9	強戸	19	71.7	大谷場東	19	79.7
野上	6	73.6	熟田	8	95.0	渋川北	42	71.5	大東	27	75.0
栄	8	73.8	古山	14	87.8	古巻	20	86.2	高砂	38	72.4
久隆	3	74.0	大平南	14	81.0	藤岡第二	25	75.4	仲町	19	71.8
照沼	8	74.2	大平東	13	77.0	神流	13	90.9	本町	21	99.4
鉾田	21	74.8	大平西	21	71.3	美九里東	6	76.9	*青木中央	30	92.0
中丸	17	75.2	藤岡	19	71.3	富岡	32	77.9	*幸町	18	82.9
鉾田第二	7	75.7	足尾	12	91.4	一ノ宮	13	83.7	*舟戸	12	81.7
津澄	13	76.0	本山	10	77.9	額部	9	76.9	前川東	24	81.3
仲町	18	76.3	群馬県			東横野	11	77.2	十二月田	35	79.8
取手	31	76.5	桃井	23	72.2	秋間	8	73.6	芝樋ノ爪	23	79.1
大增	6	77.5	中川	24	72.4	三原田	10	77.4	原町	20	78.3
板橋	11	77.7	城南	27	71.7	時沢	13	78.9	芝南	33	73.0
富田	3	78.2	*若宮	20	76.5	大胡	19	99.2	中央東	20	86.6
三和	5	80.8	天川	33	79.9	新里中央	12	80.6	西堀	20	71.7
静	11	81.1	前橋中央	22	88.6	金古	16	77.0	*大宮	42	84.6
羽生	6	82.7	広瀬	28	78.6	堤ヶ岡	16	71.2	東大成	19	74.7
高野	10	92.0	桂萱	22	77.0	伊香保	13	71.8	大砂土	35	72.4
市毛	40	92.6	桃瀬	22	73.2	馬庭	6	71.3	馬室	15	82.8
現原	7	93.2	大利根	25	70.4	磐戸	15	72.4	中丸	22	75.8
小貫	7	95.0	二之宮	10	96.9	田代	6	71.9	鴨川	13	75.1
阿字ヶ浦	9	95.9	筑井	9	83.9	川場	11	71.9	月越	23	75.6
*矢田	6	99.5	**高崎中央	21	77.3	川場・生品	2	86.6	高階	31	70.3
栃木県			高崎南	13	83.8	水上	16	77.8	所沢南	42	77.4
日光	20	70.0	高崎東	13	74.9	南・永井	3	75.8	富岡	21	70.1
安良沢	12	81.1	**高崎西	26	82.0	綿打	15	78.0	精明	22	71.0
富士見	26	75.5	佐野	30	86.3	薮塚本町	25	72.4	南畑	11	86.0
*錦	19	71.9	六郷	33	74.9	千代田西	15	86.7	吉見東第二	6	100
赤見	13	93.0	城東	29	77.7	大泉南	23	70.0	秩父西	27	87.2
船津川	3	97.6	八幡	25	71.2	群馬大付属	26	81.4	原谷	18	80.8
出流原	6	100	長野	20	78.3	桐生第二養護	8	72.3	高篠	17	84.9
宇田川	5	70.2	大類	13	76.8						

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
上中尾	4	71.7	*麴町	18	95.2	**青柳	24	77.3	堀之内	24	79.8
長若	6	91.0	永田町	17	92.1	坂本	12	85.8	桃井第二	22	83.8
*日野沢	5	100	西神田	12	85.4	松葉	15	83.2	和泉	18	89.0
金沢	6	100	千桜	6	79.7	石浜	35	82.0	北沢	18	73.5
皆野	18	96.3	芳林	12	74.2	田原	13	93.4	東大原	19	80.8
三沢	7	95.0	城東	6	80.3	金竜	20	75.0	多聞	25	84.5
長瀬第一	18	85.2	築地	12	99.7	*清島	12	78.1	中里	22	81.2
本庄東	36	87.3	**東華	12	93.5	浅草	13	75.9	瀬田	25	79.0
旭	17	84.6	**阪本	12	90	谷中	18	84.2	千川	13	72.9
本泉	6	91.8	京華	12	87	済美	12	76.1	上目黒	20	70.4
青柳	12	85.0	月島第一	21	81.4	千束	24	79.9	不動	23	82.1
丹荘	13	76.4	常盤	6	85.6	*待乳山	18	81.5	原町	19	71.2
大幡	12	99.6	京橋	10	84.5	下谷	12	86.2	*緑ヶ丘	17	77.4
佐谷田	15	94.5	泰明	12	83.3	金曽木	12	83.2	月光原	13	90.2
*桜木	11	89.6	十思	6	82.7	竹町	12	78.2	田道	18	87.1
熊谷東	30	88.6	明石	15	81.0	黒門	13	86.2	鷹番	31	71.0
久下	10	79.5	月島第三	14	81.0	中和	17	85.2	向原	21	77.6
別府	12	78.6	明正	12	80.0	**木下川	12	78.1	大岡山	28	73.7
奈良	17	71.0	**鉄砲洲	8	79.9	小梅	21	80.2	**中目黒	30	71.1
明戸	14	77.5	久松	18	78.6	小山台	17	75.2	立野	15	82.2
深谷	34	89.3	月島第二	19	71.9	平塚	15	75.8	**豊玉	19	84.5
桜ヶ丘	31	89.3	神明	10	73.0	源氏前	16	87.6	石神井西	19	71.9
大寄	11	86.5	芝	10	85.8	*芳水	19	89.3	高島第五	14	88.9
深谷西	18	79.6	本村	17	77.6	大森第五	14	78.9	成増ヶ丘	24	84.7
八基	11	78.3	青南	27	98.8	洗足池	18	75.2	向原	18	82.5
長井	12	74.1	**檜町	14	91.2	東糀谷	19	72.0	弥生	18	80.2
桜沢	13	92.0	桜	10	76.9	道塚	27	82.3	常盤台	24	71.1
江南北	12	100	東町	12	87.6	南蒲	27	74.3	上板橋第四	26	80.7
江南南	11	99.0	筈	19	85.8	矢口東	19	79.5	稲荷台	17	77.6
太田西	13	89.2	赤羽	19	78.4	蒲田	20	72.7	大山	23	77.6
*行田東	24	70.9	芝浦	12	73.1	矢口西	26	72.3	*板橋第一	18	73.0
樋遣川	8	100	落合第三	19	78.4	相生	18	74.3	富士見台	12	74.6
礼羽	14	98.9	落合第六	12	86.0	*多摩川	21	83.2	荒川	18	70.1
三俣	17	80.0	富久	13	77.4	千駄谷	18	76.0	清水	14	77.3
三田ヶ谷	9	100	真砂	15	82.3	鳩森	9	89.9	第三岩淵	15	98.3
井泉	12	98.5	誠之	32	78.5	長谷戸	17	80.6	赤羽	17	71.0
*岩瀬	11	93.9	指ヶ谷	13	73.7	臨川	20	72.7	*稲田	16	83.4
須影	12	91.3	大塚	13	73.5	代々木	11	86.8	西浮間	18	72.1
川俣	8	83.4	汐見	18	70.0	西中野	21	89.1	豊島東	7	74.1
蓮田中央	21	72.6	小日向台町	18	78.4	多田	27	70.9	豊島西	7	80.1
宮代東	24	74.6	千駄木	31	75.0	谷戸	19	80.0	*滝野川第一	7	81.9
栗橋東	19	76.9	明化	22	74.6	新井	22	71.0	第一日暮里	12	85.7
東京都			元町	12	76.0	桃園	23	72.1	第四峡田	23	75.0
淡路	9	99.6	窪町	25	79.0	浜田山	27	76.9	*第二日暮里	18	82.0

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
真土	12	75.9	上末吉	24	71.7	南庄内	8	89.5	鳴海	33	81.2
第三峡田	12	81.0	下野谷	26	70.9	都田	7	70.0	平子	15	82.6
尾久第六	12	77.4	小雀	25	74.8	元城	24	99.5	片平	23	71.9
第六瑞光	15	81.3	**大正	43	74.7	清水	31	82.7	千石	13	70.9
大門	23	86.7	中和田南	15	72.7	有度第二	34	83.0	広見	12	88.3
川端	18	91.0	戸塚	31	71.3	西河内	6	82.7	掛川	5	88.9
東堀切	13	70.4	新橋	16	70.7	*高部	26	76.8	勝幡	18	74.8
松上	17	70.2	*中田	44	83.9	愛知県			正則	17	71.6
*上小岩第二	15	81.2	間門	24	77.8	高見	36	72.6	**藤江	13	72.1
鶴川第四	28	80.0	桜台	24	80.3	田代	47	78.9	八幡	23	74.6
三鷹第六	31	72.0	*折本	10	83.2	西山	37	82.8	西浦南	11	78.3
三鷹第四	20	82.0	*川和	29	71.7	名東	21	75.5	片葩	18	77.2
三鷹第二	26	86.7	日枝	28	85.5	筒井	23	85.3	萩原	7	72.7
高山	28	74.3	下曽我	16	71.3	東桜	17	92.0	白浜	12	78.6
立川第三	14	78.5	前羽	8	71.8	榎	16	70.0	西尾	39	72.8
*南富士見	21	77.7	矢作	18	74.4	幅下	16	89.2	室場	6	80.9
立川第六	19	74.4	早川	12	74.6	*上名古屋	30	76.7	寺津	18	71.1
国分寺第一	24	70.4	*新玉	21	75.3	那古野	12	80.1	平坂	19	82.5
萩山	24	90.6	国府津	21	75.6	庄内	35	75.6	福地北部	10	81.2
青葉	22	71.0	温泉	6	76.1	新明	12	81.4	西野町	12	89.9
府中第九	25	72.8	富水	36	76.2	中村	27	76.0	三和	13	83.0
*住吉	31	70.0	本町	18	76.4	牧野	22	70.8	知立西	18	74.9
*新町	17	82.0	久野	12	79.3	**柳	29	70.0	知立東	32	71.2
日原	6	76.4	片浦	6	91.1	千成	27	81.5	小高原	34	72.5
加住	15	84.4	大楠	22	73.8	名城	20	72.4	豊富	7	72.3
小平第一	24	84.0	船越	21	76.1	松原	12	71.7	千万町	3	75.0
神奈川県			浦賀	30	80.7	平和	13	97.5	宮崎	6	71.6
神奈川	18	99.4	汐入	14	86.1	大須	19	71.1	連尺	22	80.7
幸ヶ谷	14	92.7	田戸	23	91.0	千早	8	72.4	鳥川	3	83.3
大口台	23	85.4	崇善	33	82.3	鶴舞	16	73.4	大雨河	4	95.1
白幡	33	84.2	城島	14	85.9	松栄	37	75.1	生路	12	80.0
富岡	32	79.7	山梨県			高坂	36	71.6	緒川	20	70.0
西富岡	21	74.4	東雲	6	78.5	弥富	21	71.6	中山	6	81.7
金沢	28	70.5	静岡県			*汐路	30	89.4	追分	5	71.8
大曽根	25	90.3	大井川東	12	74.8	高田	23	70.2	冷田	5	73.8
**港北	25	90.1	大井川西	13	80.0	井戸田	23	75.7	三都橋	3	100
日吉台	25	79.5	大井川南	19	78.7	穂波	16	75.6	神田	4	89.0
城郷	27	75.8	城北	32	74.1	陽明	26	74.1	名倉・駒ヶ原	2	86.4
駒岡	15	83.0	鴨江	18	86.7	昭和橋	47	70.4	東園目	3	73.3
末吉	33	81.6	相生	36	79.3	明德	21	75.8	中設楽	6	84.6
市場	26	81.1	泉	18	71.4	宝	39	79.6	御園	3	82.9
**生麦	26	78.1	県居	15	78.1	春日野	21	89.5	三沢	3	70.3
鶴見	15	74.1	和田	30	73.0	廿軒家	27	76.3	豊根	6	73.7
馬場	27	73.4	村櫛	11	91.4	苗代	17	71.2	小田木	4	74.0



学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
津田	12	78.0	久田見	6	96.0	竹之高地	3	72.4	千田	6	92.6
吉田方	24	76.4	鳥屋市	3	74.3	太田・濁沢	4	70.5	南荷頃	6	94.0
国府	25	71.5	立花	5	85.6	*太田・蓬平	5	81.1	小土山	3	72.9
蒲郡西部	6	85.9	兼山	6	96.4	六日市	6	81.7	若柄	4	85.5
蒲郡北部	12	77.9	鵜沼第一	21	74.0	**大島	23	80.8	中条	9	77.9
西浦	23	76.3	竹原	13	70.0	下川西	6	75.9	十日町東	15	86.1
形原	26	71.9	上原	6	70.8	上川西	6	84.2	*川治	22	75.9
蒲郡中央	18	85.6	宮田	6	74.7	大積	6	75.0	燕南	21	72.1
和地	6	82.7	早田	29	77.0	大手町	23	74.6	吉田	6	89.1
御津北部	12	74.0	武並	11	76.1	東本町	25	81.3	長沢	4	74.5
新川	22	73.8	新潟県			南本町	24	77.1	新井南	7	70.0
岐阜県			浜浦	31	74.8	中ノ俣	3	79.6	五泉	36	74.5
金華	21	81.7	関屋	19	79.6	*富岡	6	82.1	五泉南	32	78.5
常磐	12	82.0	白山	18	74.2	稲田	10	77.9	巢本	7	72.4
京町	19	80.5	新潟	21	84.8	春日	7	90.6	赤玉	3	90.7
徹明	24	72.3	礎	21	87.2	高志	11	75.6	片野尾	3	95.8
旦格	9	70.8	豊照	19	91.7	諏訪	6	83.0	内海府	4	91.9
岩	14	71.0	栄	19	77.7	三郷	6	81.4	新飯田	6	70.5
方県	6	86.9	入舟	27	88.0	戸野目	6	83.0	茨曾根	6	87.5
*川島	18	71.1	笹口	28	84.7	*大町	23	76.7	岡方第二	7	71.3
*岐南西	24	75.2	太夫浜	6	78.7	高士	6	97.4	横井	6	72.2
笠松	33	70.5	*新通	33	70.6	八千浦	14	74.0	京ヶ瀬	10	70.3
*松枝	17	82.0	曾野木	17	72.1	**直江津南	13	82.9	大出	6	76.6
下羽栗	12	77.0	酒屋	9	71.7	北諏訪	6	82.8	矢代田	12	72.4
新宮	8	77.5	*割野	7	79.1	保倉	6	76.1	五箇	6	90.5
桐生北	26	70.1	*南万代	24	81.6	*春日新田	23	78.5	岩室	12	80.2
岡本南	30	86.5	笠木	6	70.5	国府	13	78.0	和納	10	88.7
総和西	19	78.5	青山	27	77.0	谷浜	8	83.1	分水	23	70.2
国府	18	73.0	阪之上	20	90.2	桑取	4	98.8	吉田	21	75.6
清見	6	82.4	中島	19	81.5	高田西	21	70.9	竹野町	6	72.8
丹生川	6	70.0	表町	16	90.0	大崎	18	81.1	漆山	12	89.6
白川	6	77.5	神田	15	82.6	柏崎	35	77.6	巻	19	77.0
大和西	6	83.7	新町	34	78.7	枇杷島	17	92.0	巻北	18	78.9
牛道	6	88.0	川崎	28	78.2	**大洲	17	99.7	大野	22	81.8
小川	4	73.0	四郎丸	31	80.2	日吉	6	71.1	山田	9	83.0
八幡	24	72.2	千手	27	72.0	荒浜	13	92.8	味方	6	76.5
共栄	8	74.5	富曾亀	20	76.9	米山	6	79.6	湯東西	6	72.7
滝呂	13	75.2	黒条	9	75.7	野田	7	79.0	湯東東	7	70.4
飯地	6	85.0	新組	8	70.2	鵜川	7	98.1	中之口西	9	82.8
中野方	6	78.7	浦瀬	6	85.7	北条南	10	75.6	七名	5	75.3
高山	6	73.3	栖吉	18	83.3	石川	6	73.5	七名・大倉	2	70.0
黒川	12	72.7	前川	6	76.5	下中山	6	77.9	*越路	16	72.9
五加	5	97.6	上組	19	75.0	小合東	6	71.9	岩塚	12	88.5
上佐見	6	72.9	石坂	6	81.7	満日	6	85.7	野積	6	100

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
種芋原	6	78.7	真野	15	71.8	中塩田	18	100	富山県		
梶木	3	90.0	羽茂	9	72.8	豊殿	12	79.0	笹川	6	100
井口	12	73.0	五十嵐	24	74.1	塩川	12	78.6	境	6	88.1
福山	5	74.5	八箇	3	100	菅平	6	71.6	入善	20	90.0
須原	13	78.6	駒林	6	73.6	松本もう	5	81.8	*飯野	13	83.6
栃窪	3	74.6	池谷	6	76.9	松本ろう	7	95.0	田家	6	83.3
三用	6	79.0	女川	6	72.8	*島立	17	85.9	石田	13	73.9
赤石	6	72.6	外ヶ輪	33	72.9	山辺	25	88.0	若栗	6	73.4
千手	13	87.6	*猿橋	36	74.6	本郷	24	78.9	片貝	7	97.7
上田	3	78.7	二葉	15	87.9	芝沢	15	81.2	大町	19	85.5
下船渡	13	77.7	五十公野	11	80.1	島内	20	86.5	西布施	7	84.9
白倉	5	78.7	菅谷	6	84.5	山形	14	70.8	上中島	7	84.7
小国橋	6	77.0	源・水源	2	77.1	生坂南	6	71.8	白倉	3	83.7
法末	3	83.5	長野県			五常	6	100	道下	13	82.4
下小国	6	90.1	川路	6	79.4	錦部	6	90.7	経田	14	78.7
安塚	7	100	千代	6	73.8	会田	6	95.0	西加積	9	96.1
中川	3	88.3	高森北	6	99.8	王滝	7	82.7	寺家	21	90.4
*沼木	3	96.9	上郷	27	81.8	松川	16	97.8	*山加積	6	84.3
菱里	6	94.8	大河原	6	80.9	豊科北	27	76.9	東加積	6	86.8
伏野	3	85.3	福島	6	100	神明	25	92.4	北加積	6	79.5
蒲生	3	80.9	平岡	12	100	川岸	21	70.0	*滑川東部	15	77.0
東川	5	100	新野	6	73.4	岡谷	20	99.2	**上市中央	31	100
大島	6	92.1	根羽	6	100	小井川	25	86.3	宮川	6	96.7
旭	5	98.4	豊丘南	13	100	七二会	13	87.4	相ノ木	6	89.5
牧	7	88.3	鼎	31	79.1	朝陽	19	98.0	南加積	7	79.5
川上	5	100	智里東	6	93.8	共和	10	79.5	大岩	4	73.0
沖見	5	100	壳木	6	100	芋井	15	79.2	白萩西部	6	96.0
柿崎	13	94.4	高森南	19	98.7	大豆島	16	79.0	立山北部	9	85.0
*黒川	6	98.8	南箕輪	18	84.5	信田	12	86.8	岩舩	7	76.0
大潟町	24	80.4	*河南	6	78.8	青木島	18	84.6	舟橋	6	93.0
大瀧	11	82.7	七久保	7	80.0	古牧	28	73.5	広畑	3	100
吉川	7	98.8	箕輪南	6	78.7	寺尾	10	77.1	室牧	5	85.8
源	5	76.4	中川西	6	78.6	野沢	19	75.2	杉原	12	81.6
中郷	12	94.4	長藤	6	83.1	高瀬	7	99.5	檜尾	6	79.6
片貝	6	97.2	箕輪東	7	82.3	泉	13	95.1	下笹原	3	75.5
岡沢	6	73.8	*伊那北	6	84.2	小海	12	80.8	野積	6	73.4
上杉	7	96.4	赤穂	52	77.6	坂城	18	75.8	八尾	22	73.2
美守	6	98.1	東伊那	6	100	秋山	3	81.9	保内	8	72.8
田沢	13	82.6	*中沢	12	94.1	豊井	10	93.0	山田	6	79.2
橋立	2	90.9	浦里	8	94.6	長地	20	100	神保	11	81.8
関	13	71.8	東塩田	12	97.3	*宮田	19	73.3	宮野	9	73.0
平林	8	73.2	西塩田	8	90.9	箕輪中部	19	78.7	猪谷	6	71.0
二見	3	77.7	別所	7	100	*伊那西	6	94.3	**柳町	22	100
二宮	7	83.6	神科	20	92.8				清水町	18	98.7

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
**針原	11	97.9	*片口	6	72.8	石川県			北里	11	89.3
**総曲輪	12	97.7	千鳥丘	12	100	菅谷	6	87.4	八日市南	29	70.6
四方	13	97.2	二塚	7	94.9	分校	7	97.9	守山	22	71.0
奥田	34	96.0	平米	18	94.0	緑丘	6	85.7	中主	21	72.9
**水橋西部	13	95.8	南条	20	93.1	勅使	6	73.0	石部	19	79.7
富山東部	27	95.4	二上	9	92.1	*動橋	9	95.1	大原	13	83.3
草島	6	95.1	川原	16	90.0	*南郷	6	81.4	甲南第一	13	70.8
**五番町	13	94.9	西条	23	89.3	湖北	6	72.6	安土	16	83.7
*水橋中部	17	94.2	下関	19	89.1	日末	7	77.0	*能登川東	16	71.2
八人町	11	94.2	*戸出東部	14	87.5	小松第一	25	90.0	*秦荘東	13	70.5
水橋東部	6	93.7	**博労	32	82.2	木場	6	96.8	日栄	8	76.5
星井町	12	93.0	成美	31	82.2	串	11	82.2	豊郷	13	72.6
*愛宕	18	91.7	*国吉	11	78.0	美川	17	74.5	東草野	9	94.7
大広田	17	91.6	西広谷	6	72.0	諸江町	25	81.0	浅井西	11	73.3
新庄	37	91.3	太田	10	73.0	長田町	15	75.9	浅井中部	6	71.8
萩浦	15	91.3	能町	18	72.7	馬場	17	86.7	浅井北	6	74.8
古沢	6	93.2	戸出西部	13	71.8	瓢箪町	13	76.7	朝日	12	71.8
豊田	16	88.5	中田	13	71.5	俵	4	98.2	速水	9	83.1
*安野屋	15	88.5	古府	19	71.0	鳥屋	18	82.7	びわ南	13	77.8
奥田北	25	88.0	*東野尻	6	100	有磯	12	72.1	富永	6	88.6
桜谷	13	87.8	**五鹿屋	6	92.0	黒川	4	90.0	高月	12	72.2
広田	12	86.3	砺波北部	14	82.0	合鹿	3	92.3	高時	6	94.6
*堀川	38	85.0	*出町	17	79.0	小間生	6	100	木之本	19	74.6
浜黒崎	7	85.2	東般若	7	77.9	中斉	3	97.5	塩津	7	87.5
三郷	7	84.3	鷹栖	7	85.8	宇出津	20	81.8	和歌山県		
山室	35	84.0	太田	7	70.2	東若山	6	100	志賀	3	80.7
太田	12	83.5	井波	25	87.0	*錦城	37	74.8	河根	4	96.3
長岡	6	82.7	坂上	7	95.3	福井県			久保	3	84.1
岩瀬	20	81.0	福野	32	78.9	敦賀南	26	78.7	高野山	13	74.3
蜷川	27	80.9	**井口	6	87.0	赤崎	4	70.1	岸上	6	70.3
八幡	6	80.5	東中江	3	76.4	西浦	3	91.3	*山崎	10	84.5
五福	17	83.0	下梨	7	70.8	滋賀県			根来	6	77.4
藤ノ木	16	75.3	西赤尾	4	75.7	藤尾	12	72.8	*上岩出	16	77.7
*月岡	13	74.5	皆葎	3	74.5	稲枝東	13	76.3	雄湊	28	71.8
倉垣	9	73.9	*津沢	12	77.3	佐和山	17	72.3	雑賀	40	73.0
呉羽	25	73.6	水島	7	73.9	稲枝西	7	86.7	芦原	16	70.8
池多	6	71.0	**福光	18	100	稲枝北	10	71.2	西和佐	15	72.0
小杉	24	79.0	福光南部・白中	2	100	長浜	39	73.9	太田	17	70.8
金山	7	72.8	福光南部	14	95.0	長浜北	33	87.4	今福	21	83.1
大門	19	74.2	広瀬	6	82.0	*南郷里	15	70.7	内海	24	73.0
作道	12	98.8	吉江	13	81.4	神照	24	70.2	巽	15	82.8
堀岡	12	86.1	石黒	7	75.6	島	6	79.9	中野上	15	72.5
中伏木	6	77.0	淵ヶ谷	6	85.9	沖島	5	70.4	加茂第二	6	75.0
**放生津	29	73.0	福岡	24	72.0	桐原	18	91.1	志賀野	4	87.2



学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
下神野	6	90.0	紫竹	18	76.7	貞教	10	87.0	大江	15	93.1
上神野	6	92.0	衣笠	18	71.0	新道	13	86.0	*五条	20	70.8
田栖川	13	70.0	小野郷	6	88.7	鏡山	37	80.7	真田山	24	73.9
藤並	15	79.4	**室町	23	75.4	水尾	2	100	生魂	10	72.6
鳥屋城	16	80.4	春日	6	82.3	常磐野	32	71.4	高松	21	81.0
名田	7	75.5	京極	13	72.4	**嵯峨野	30	79.1	長池	24	90.0
三尾	6	78.7	中立	12	87.2	西院	31	74.2	苗代	24	86.9
志賀	6	75.9	小川	13	88.3	西京極	32	80.0	丸山	30	89.7
宮代	6	73.6	**侍賢	15	72.8	葛野	19	84.0	北粉浜	12	96.8
上南部	14	72.0	聚楽	8	91.8	松尾	22	71.1	加島	35	90.6
中芳養	6	72.3	西陣	9	71.2	伏見板橋	26	73.2	**大桐	29	74.0
田川	2	100	翔鸞	23	80.6	伏見南浜	28	81.0	豊新	19	80.6
請川	6	85.2	桃蘭	12	81.7	伏見住吉	22	71.7	菅原	27	87.6
四村川	6	74.8	*出水	33	71.3	稲荷	15	70.4	新高	15	79.0
三里	9	70.5	富有	11	89.5	桃山	27	84.3	塚本	27	93.6
奈良県			竜池	12	89.0	醍醐	12	86.0	柏里	24	89.7
大淀桜ヶ丘	22	94.8	明倫	10	88.0	神川	21	89.9	香簍	18	89.9
富雄北	27	87.4	日彰	6	73.0	向日が丘養護	17	73.4	内代	18	77.9
京都府			生祥	10	78.7	大阪府			高倉	36	91.8
**相楽	8	94.5	**立誠	7	89.1	北天満	12	90.2	都島	26	80.0
桧山	7	90.4	本能	8	79.3	西天満	10	82.1	太子橋	24	72.9
質美	6	92.1	朱雀第一	23	80.4	梅田東	11	83.0	高殿	45	71.9
明俊	6	83.9	朱雀第四	23	75.0	玉川	12	78.4	古市	25	87.7
三ノ宮	6	74.4	朱雀第六	17	74.6	鶯洲	13	77.5	新森小路	30	91.2
和知第一	9	93.6	朱雀第七	23	70.4	梅香	23	76.2	鯉江	31	77.0
和知第二	6	91.0	格致	6	71.5	*豊崎本庄	19	71.5	榎並	26	93.0
和知第三	5	100	永松	8	76.4	*大淀	14	93.5	榎本	35	83.6
**昭和	18	74.7	稚松	9	83.7	中津南	6	95.3	鶴見	25	80.1
大正	17	74.0	*植柳	14	81.4	*中津	19	70.5	神路	30	75.1
佐賀	6	82.7	**安寧	10	90.1	中大江	13	84.0	北巽	28	87.5
田井	5	75.0	*七条	20	82.8	玉造	17	93.9	鶴橋	22	85.8
中舞鶴	25	80.0	東和	19	71.1	集英	6	85.0	*生野南	24	78.1
青井	6	97.6	大原	9	77.7	西船場	10	82.2	林寺	17	86.0
河守	7	100	静原	6	93.4	三先	28	79.1	田辺	26	74.6
俊明	6	78.3	鞍馬	6	74.4	中泉尾	13	73.9	鷹合	26	88.7
**物成	4	100	八桝	6	78.2	高津	13	85.7	今川	31	71.7
河西	6	83.3	堰原	3	74.0	大宝	12	73.9	喜連東	41	77.9
**河東	6	100	養正	21	85.9	金甌	7	76.7	*大阪教大 付属平野	18	82.0
有路	6	100	養徳	22	84.7	精華	12	90.4	喜連	35	77.2
元町	12	77.3	下鴨	21	74.8	*日本橋	7	96.0	阿倍野	27	96.5
*上賀茂	27	91.9	松ヶ崎	12	85.3	塩草	13	89.5	*住吉	54	93.0
雲ヶ畑	5	76.8	有濟	12	89.7	元町	9	92.6	舍利寺	25	70.5
鳳徳	20	74.7	六原	12	78.5	**桃陽	15	72.8	東桃谷	22	87.3
柏野	17	76.7	清水	12	80.9	天王寺	15	72.4	堂島	6	89.8

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
巽	32	79.6	橘	14	73.8	*御休	6	100	湯野	5	98.4
桜宮	22	73.4	荒田	18	77.5	伊島	30	98.1	坂本	3	97.5
東三国	26	85.3	菊水	14	71.0	津島	25	86.5	巨勢	6	100
**下新庄	25	92.2	鶴越	26	86.8	鯉山	9	80.2	西大寺南	10	82.8
城東	25	90.0	兵庫	24	85.0	中山	19	80.1	庄内	17	93.7
西南	21	83.6	大開	13	75.3	御野	33	73.8	*加茂	10	100
東郷	7	85.4	中道	14	84.1	平島	6	72.9	富山	23	92.9
五月丘	28	76.0	水木	16	79.2	福渡	6	96.0	深砥	18	88.3
桜井谷	36	72.0	明親	28	80.7	高倉	6	80.5	打穴	6	100
大池	28	84.4	有野台	15	76.9	羽出	6	100	誕生寺	13	94.3
水尾	18	72.2	有野東	17	78.5	芳野	7	94.7	秀実	6	82.0
大池	33	72.4	南五葉	33	72.2	奥津	6	92.1	乙島東	15	96.1
磯島	8	70.7	道場	12	70.4	阿波	6	81.6	老松	26	75.2
寝屋川東	33	71.2	八多	6	71.0	上斎原	5	89.0	乙島	20	87.0
田井	27	75.1	大沢	6	74.8	*喬松	6	100	石相	8	78.9
田原	6	90.0	宮川	23	73.7	*南和気	6	95.1	*千種	13	91.2
若江	30	77.1	蓮池	25	71.4	旭第四	5	87.1	北川	7	93.3
加茂	24	77.9	**二葉	29	75.4	旭第二	6	70.3	長谷	4	97.8
*岸和田中央	15	71.0	大黒	24	71.2	中洲	33	98.8	成羽	13	76.9
*長南	32	90.4	*西須磨	44	79.7	西浦	25	97.6	新本	6	97.8
大木	6	91.8	多井畑	26	82.8	長尾	20	91.5	昭和	9	90.7
孝子	6	84.3	板宿	37	79.0	茶屋町	22	85.3	*第一藤田	6	95.2
淡輪	18	80.3	高倉台	22	84.3	玉津	6	100	思誠	25	95.4
兵庫県			白川	27	83.9	今城	6	100	弘西	17	76.8
東灘	33	80.0	名谷	7	78.2	美和	6	94.5	鳥取県		
**魚崎	50	79.3	高丸	42	74.6	国府	6	87.8	安田	6	100
本山一	38	74.6	垂水	26	77.9	日比	20	79.5	潮南	6	90.0
本山二	35	83.4	霞ヶ丘	39	85.5	仁堀	6	100	西郷	8	89.7
御影北	31	78.2	多聞台	33	73.1	江西	17	96.8	由良	13	88.6
**成徳	31	80.7	神陵台	42	75.6	小野田	6	89.0	倉吉養護	22	87.1
高羽	39	85.0	伊川谷	16	70.0	軽部	6	83.1	*北谷	7	78.7
灘	25	79.6	高和	6	80.1	布都美	4	80.8	面影	10	73.5
稗田	31	72.2	東吉川	6	97.2	可真	6	80.1	*上灘	14	73.2
美野丘	18	80.8	三輪	18	71.8	**和気	7	98.1	醇風	18	72.9
摩耶	27	84.8	広野	13	82.5	佐伯	7	72.7	久松	20	80.3
上筒井	18	86.0	高平	8	87.3	*伊里	20	96.3	広島県		
雲中	30	75.3	広畑	28	72.3	金光	17	72.0	比治山	42	76.9
吾妻	27	95.4	津田	22	75.0	高島	3	100	似島学園	6	75.9
小野柄	12	70.1	下三方	6	97.8	金浦	16	96.1	竹屋	20	88.2
若菜	17	77.1	大久保	33	72.5	神内	7	81.9	広瀬	18	75.3
*二宮	16	80.7	明石	26	79.2	北木	8	73.4	本川	18	70.8
下山手	17	71.0	岡山県			大島東	6	70.0	観音	35	77.5
北野	12	72.8	内山下	15	100	荏原	7	77.3	中山	18	91.4
諏訪山	18	79.4	足守	6	100	中津井	7	88.7	翠町	25	90.2

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
狩小川	7	87.2	棕浦	3	76.9	*生馬	7	79.2	周布	13	76.5
五日市町南	39	71.8	大浜	6	74.8	本庄	11	89.1	跡市	7	83.7
廿日市	25	80.0	船木	6	72.8	古江	6	74.6	高角	12	76.3
玖島	6	71.3	中野	12	70.0	中島	6	79.7	吾郷	6	83.1
友和	6	80.5	菅野	5	79.2	大野	7	84.2	阿須那	6	91.6
津田	12	78.5	市	8	83.7	島田	6	88.4	瑞穂	10	87.0
中町	7	87.3	綾目	4	79.0	宇賀荘	6	85.7	市木	3	88.0
小坪	6	74.1	江奥	10	77.7	佐太	6	82.3	長谷	4	100
大野東	12	83.9	甲山	9	71.4	美保関	6	78.1	*今市	6	96.8
辰川	19	73.2	泉	29	72.6	森山	7	73.5	真砂	4	94.3
*二河	14	70.3	旭	23	71.5	片江	6	89.6	**津和野	14	90.2
府中	43	74.6	蔵王	12	78.3	広瀬	14	94.8	畑迫	6	100
府中南	31	75.7	赤坂	11	84.7	*大津	24	73.3	山口県		
府中中央	34	76.2	瀬戸	12	81.9	上津	6	71.4	給島	6	89.7
海田市	30	76.2	水呑	25	76.4	**塩冶	23	80.5	小畑	3	70.0
東海田	26	79.5	鞆	25	72.0	神戸川	18	74.0	久米	21	70.0
西海田	13	72.1	走島	7	82.0	*高松	14	73.9	櫛浜	19	75.8
熊野第二	6	74.7	大津野	27	75.7	長浜	13	70.9	長穂	6	75.0
横浜	15	83.8	本郷	10	74.6	川跡	7	79.7	大島	6	75.4
小屋浦	7	71.8	*松永	19	72.1	乙立	6	90.4	戸田	8	70.3
*大須	5	78.5	**柳津	9	75.5	稗原	7	78.0	徳山	33	86.9
宮之原	6	80.6	金江	6	77.3	神西	8	85.6	小郡	36	87.3
**江田島	18	80.6	岩谷	8	71.4	大森	4	72.0	琴芝	29	77.7
*大向	3	76.2	久佐	6	75.0	*灘分	10	79.8	神原	23	79.9
*大迫	2	88.5	常石	9	77.7	*国富	9	75.7	上宇部	36	76.9
志和堀	7	92.5	栗屋	5	71.8	**西田	7	74.1	新川	24	73.3
東志和	7	73.2	川西	6	76.9	鰯淵	6	70.0	小野	6	80.1
小谷	6	77.1	上田	3	78.7	*久多美	7	71.7	角倉	36	72.3
神田西	3	76.7	横谷	3	78.4	*松山	7	73.0	王江	23	91.9
川根	6	83.9	作木第二	6	80.0	平田東	6	72.5	吉母	6	88.9
船佐北	6	93.1	敷地	5	76.0	西野	15	70.9	灘	25	76.0
小田	6	95.8	安田	6	70.2	出東	14	71.9	愛宕	23	92.5
*忠海東	6	86.4	八幡	6	74.3	*橋波	3	74.1	藤河	6	82.6
*東野	6	85.9	小奴可	7	72.2	東須佐	6	72.0	徳島県		
小泉	5	82.7	内堀	4	100	大社	23	71.9	内町	25	83.7
*久和喜	3	74.3	川尻	22	73.1	*鶺鴒	4	90.8	堀江北	12	92.4
幸崎	12	78.6	河内	7	84.7	大国	3	100	生比奈	12	71.3
*向田	4	89.5	鶺	6	85.0	原井	24	83.3	見能林	17	70.5
須ノ上	4	86.4	高南	7	79.3	**雲雀丘	6	81.8	江原東	4	90.0
筒湯	13	82.5	島根県			松原	15	81.6	香川県		
長江	17	86.0	津田	33	83.8	後野	3	93.8	植田	7	73.3
木ノ庄西	5	75.2	**雑賀	27	72.3	佐野	3	100	川島	13	90.6
高須	11	76.5	内中原	27	76.8	細谷	3	92.4	弦打	16	74.8
西藤	6	70.4	竹矢	12	93.8	美川西	3	72.8	*檀紙	18	97.8



学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
二番丁	25	97.2	*中山	6	88.5	豊浜南	7	97.2	錦町	15	73.7
垂水	7	89.3	**池田	10	88.8	豊浜西	7	93.2	小森江東	20	75.4
城辰	8	94.8	大部	7	96.1	二ノ宮	7	76.2	大里東	30	79.0
城東	15	70.2	豊島	7	78.5	比地	8	76.0	松ヶ江北	11	81.0
城西	22	85.0	四海	8	92.6	勝間	10	100	丸山	16	85.6
*城北	19	83.4	**北浦	7	100	上高瀬	13	77.1	企救丘	16	71.0
城坤	21	92.0	大鐸	6	84.6	財田中	7	100	牧山	25	74.0
*城乾	17	74.1	淵崎	13	94.2	財田上	9	71.0	浅生	16	77.2
坂出西部	20	100	戸形	6	98.2	栗島	6	84.7	一枝	22	77.4
坂出中央	18	97.3	土庄	14	76.3	大浜	7	84.5	沢見	24	75.6
王越	6	83.7	福田	7	82.7	栗熊	7	94.0	三六	17	79.2
松山	12	100	安田	13	73.4	高知県			*鞘ヶ谷	12	79.6
東部	22	95.6	**香南	14	100	貝ノ川	6	97.0	天籟寺	21	75.8
吉原	9	74.5	川東	13	79.5	朝倉	26	77.1	萩原	16	76.2
竜川	12	97.6	大野	13	100	福岡県			前田	21	79.1
*善通寺中央	21	80.0	安原	7	99.0	宇島	12	77.6	永犬丸	21	75.8
伊吹	6	80.0	上西	7	100	唐原	6	90.0	尾倉	15	80.2
栗井	7	100	昭和	11	87.9	剣北	12	76.3	大分県		
柞田	17	100	陶	12	93.4	津屋崎	25	83.5	滝尾	34	78.3
常磐	13	89.9	羽床	6	87.3	*春住	18	74.0	*賀来	18	74.9
高室	13	96.3	滝宮	12	92.7	那珂	33	76.1	*鶴崎	24	72.0
観音寺東	18	88.1	飯山北	21	78.9	*美野島	13	91.9	長浜	18	78.1
観音寺南	29	70.0	国分寺北部	14	87.5	*別府	36	71.9	荷揚町	18	72.9
三本松	19	75.4	羽床上	6	100	小呂	3	87.5	*大道	32	72.0
丹生	13	96.3	枋所	6	100	原北	29	77.3	日岡	18	76.5
本町	19	100	四箇	8	91.4	舞鶴	15	78.3	*津留	35	72.2
白鳥	13	88.9	仲南西	7	70.2	筑紫丘	22	82.9	臼野	6	94.0
福栄	6	100	*佐柳	3	100	志賀島	9	80.5	*上野田	6	93.9
富田	14	92.0	高見	3	100	朝倉東	17	79.7	川原	5	86.3
松尾	9	98.7	白方	8	100	小森野	6	79.3	大山	9	72.2
造田	7	86.0	豊原	11	92.0	荘島	14	88.0	八幡	7	88.0
長尾	18	97.0	多度津	23	100	昭代第一	17	83.2	塚脇	16	91.1
多和・楨川	1	100	吉野	7	71.4	上内	7	70.6	上国崎	6	97.0
**多和	6	100	長炭	9	75.1	中友	18	82.6	久住	9	83.9
鴨部	6	89.0	琴南東	7	94.6	*不知火	13	86.5	中部	7	71.2
志度中央	13	100	紀伊	6	78.2	倉永	13	78.9	今市	6	72.9
鶴羽	7	100	五郷	7	100	手鎌	24	76.8	直山	4	91.0
津田	18	100	萩原	6	100	高取	19	75.2	北部	4	73.0
誉水	13	97.1	大野原	20	99.3	川尻	17	71.0	緒方	14	71.3
神前	6	100	*大見	11	80.6	銀水	28	80.3	上緒方	7	78.5
平井	21	98.2	比地大	7	70.5	平原	20	82.0	綿田	5	75.4
白山	14	91.0	桑山	7	90.0	*笹林	12	83.3	木浦	3	89.4
三都	6	98.6	*仁尾	18	100	三里	16	76.7	大入島南	6	76.0
二生	6	91.7	*曾保	6	96.7	清見	24	73.4	竹田養護	7	95.0

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
竹田	17	70.6	平井	10	75.2	深水	6	74.9	浪平	12	71.1
*別府北	18	72.1	伊倉	12	79.7	泉第六	3	75.0	広田	17	90.3
*浜脇	23	84.5	玉水	11	74.2	深川	6	89.7	早岐	24	98.3
石垣	23	90.8	菊水中央	9	75.9	葛渡	6	74.4	**針尾	11	81.3
青山	18	81.0	菊水東	6	74.9	白木	6	100	黒髪	30	74.7
森中央	19	87.3	菊水南	6	87.3	大塚	3	83.1	木風	19	83.2
南小野	4	72.2	六栄	13	72.1	大塚・田野	3	72.7	潮見	18	75.0
*西有田	11	82.1	*長洲	19	70.6	矢岳	2	100	白南風	24	78.8
伏木	3	81.7	大道	6	80.9	神瀬	6	72.5	*小佐世保	22	80.0
**月隈	31	70.3	稲田	6	74.2	*佐伊津	13	75.6	戸尾	13	89.5
熊本県			鹿北第一	7	72.2	*宮地岳	6	84.2	光園	12	75.6
壺川	19	83.1	鹿北第二	11	81.8	登立	21	75.2	山手	20	82.5
碩台	18	82.6	米野岳	7	100	維和	9	79.9	春日	34	71.5
白川	20	73.4	**隈府	32	76.4	棚底	6	84.0	保立	14	80.1
城東	18	84.8	竜門・小木	3	100	城河原	7	73.4	大久保	13	82.1
慶徳	10	88.4	重味	6	100	県立もう	11	73.6	琴平	11	78.2
五福	12	81.7	菊之池	7	70.6	天草ろう	6	83.9	御船	13	83.0
黒髪	29	80.0	戸崎	6	81.7	*白糸第一	6	81.6	赤崎	19	73.9
大江	24	86.8	大津東	6	91.4	**護川	6	80.7	皆瀬	12	79.4
本荘	14	83.0	大津南	10	75.1	坂本西部	6	100	佐世保ろう	6	73.7
出水	34	90.6	泗水	14	86.9	宮崎県			中里	16	75.0
*川尻	24	73.2	七城	15	79.6	長田	6	100	土黒	12	70.1
尾ノ上	36	76.8	合志	20	71.4	小林南	18	96.4	八斗木	6	83.8
力合	16	76.1	宮地	19	76.3	上新田	7	93.4	多比良	14	74.7
池上	12	74.4	尾ヶ石東部	6	80.8	宮村	6	93.1	北串	11	96.0
*城山	14	70.2	下城	12	83.3	吉之元	6	90.7	口之津第二	12	78.7
託麻原	36	80.2	尾下	3	87.3	石山	7	87.1	西正寺	6	83.0
中島	13	87.9	星和	3	70.7	古城	6	82.6	島原第四	14	71.1
帶山	50	93.4	山鹿	6	78.1	港	6	80.3	三会	17	71.2
白山	24	86.0	山西	11	78.4	浦城	4	75.3	津波見	6	83.0
若葉	20	71.6	河原	6	70.0	田代	9	73.9	**諫早	19	90.0
城北	45	81.5	木倉	6	95.0	国富	19	72.5	上山	20	83.6
西原	30	81.3	小坂	6	74.4	潮見	33	71.6	有喜	18	79.5
西里	13	82.5	宮内	4	75.6	大島	3	70.8	北諫早	82	75.8
芳野	10	79.8	植柳	34	71.1	鳥田町	6	70.3	土師野尾	6	83.8
河内	16	79.6	金剛	15	79.8	草川	13	72.0	松原	21	100
河内・白浜	3	77.8	宮地	13	72.0	長崎県			黒木	6	79.3
三角北	6	93.9	日奈久	18	75.9	磨屋	18	79.3	鈴田	6	80.8
郡浦	10	76.7	二見	11	89.1	山里	27	83.6	大楠	6	70.6
大岳	6	76.9	鏡西部	6	75.0	滑石	23	72.5	三浦	6	100
遠野	6	79.6	藤本	8	83.6	西北	23	70.7	竹松	28	78.0
中央北	6	87.8	中津道	6	76.1	古賀	13	75.3	時津	30	72.0
中央西	6	89.7	中谷	6	70.1	小ヶ倉	18	80.1	時津北	9	75.4
中央東	6	81.1	鮎婦・責	3	92.6	城山	23	73.0	吉井南	11	70.7
									奥浦	12	70.2

# 小学校50～69%

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
<b>北海道</b>			天王	20	50.7	鳥海	6	65.9	瀬見	4	66.4
藤の沢	16	64.6	鷹巣西	12	51.8	山辺	20	61.3	南山	4	50.7
幌西	29	56.6	旭南	32	51.8	作谷沢	6	63.8	赤松	5	65.0
桜が丘	24	53.8	内川	6	52.2	**相模	6	67.0	肘折	6	54.3
朝陽	22	50.8	石沢	7	55.4	長崎	16	66.2	大蔵・藤田沢	2	58.8
知利別	28	50.3	黒川	6	56.0	豊田	12	69.8	曲川・木根沢	2	55.5
<b>青森県</b>			千屋	14	59.8	睦合	6	65.7	及位	6	61.4
時敏	27	58.1	上北手	6	61.6	*入間	3	63.0	大滝	5	61.3
谷地頭	6	61.7	小栗山	6	64.4	間沢川	2	60.0	釜淵	6	61.6
杉沢	5	54.2	上畑	6	65.0	月山沢	3	56.5	長沢	10	62.5
鳥舌内	6	66.3	<b>宮城県</b>			西山	8	51.3	堀内	6	61.7
剣吉	17	69.4	木町通	24	50.1	北谷地	8	62.8	堀内・西又	3	60.4
根岸	18	54.7	小松島	30	61.8	左沢	19	69.5	亀城	26	57.3
吹上	32	65.5	古川第二	31	63.5	七軒東	5	62.7	新堀	8	59.9
長者	39	63.5	宮沢	7	63.1	三郷	5	58.6	中平田	7	69.4
**柏崎	27	67.7	三本木	15	52.0	西五百川・大舟木	3	69.7	南遊佐	6	67.7
根城	35	59.9	萩野第二	6	62.4	大谷・大暮山	3	58.4	菅野代	3	51.8
小中野	36	51.1	<b>山形県</b>			大谷	8	68.2	三瀬	6	60.0
町畑	7	63.0	南沼原	15	58.3	常盤	7	60.6	上郷	10	59.5
三条	24	53.6	金井	16	57.2	尾花沢	22	60.9	栄	6	69.0
是川東	3	58.9	南山形	17	62.2	名木沢	8	59.2	京田	6	55.8
明治	13	55.8	山形第三	21	59.0	横山	7	64.3	湯田川	6	66.5
新井田	22	61.5	山形第七	34	53.1	富並	7	50.1	遊佐	15	67.4
松館	3	65.0	双葉	5	61.8	新庄	28	67.7	吹浦	8	69.9
旭ヶ丘	21	66.6	楯山	12	59.9	沼田	21	54.0	白井	5	59.1
<b>岩手県</b>			山形第一	20	69.5	泉田	12	57.9	西遊佐	6	66.5
衣川	7	50.0	出羽	17	60.6	北辰	11	67.0	青沢	4	58.7
北股	6	54.3	明治	6	50.2	本合海	6	56.9	八栄島	6	69.5
南股	6	53.1	山形第四	19	60.7	升形	5	53.3	東陽	6	61.6
衣里	6	50.3	山形第八	21	67.9	角川・上沢	3	61.7	田沢	6	66.2
愛宕	12	59.6	蔵王第三	6	69.6	角川	6	50.1	南平田	14	61.6
荒川	6	52.7	山形第六	26	62.6	古口・蔵岡	2	56.8	本郷	10	56.5
山田	30	54.7	上山	48	68.8	金山・漆野	3	53.6	清川	6	69.9
船越	12	61.9	宮生	6	63.8	有屋	6	54.5	立谷沢	6	64.4
豊間根	10	63.7	上山東	6	64.5	金山・朴山	2	61.6	東郷	7	66.0
藁目	6	51.7	天童第五	6	55.0	金山	14	57.3	羽黒第四	4	55.8
川井	11	58.5	天童第九	7	67.6	東法田	3	68.6	**余目第二	13	53.9
軽米	19	68.6	天童第六	16	67.2	満沢	4	63.5	*櫛引東	8	65.2
<b>秋田県</b>			天童第二	12	67.6	向町	13	61.4	豊田	12	69.8
椿	7	50.3				大堀	11	68.1	西根・勧進代	3	50.0



学校名	数学級	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
米沢南部	32	61.3	本山	6	50.6	盛金	6	61.8	紫塚	12	69.6
*愛宕	4	50.0	小高	8	50.7	荒川沖	28	62.2	吹上	14	67.0
米沢北部	21	67.2	関城西	20	50.8	諸富野	7	62.4	皆川	7	67.0
窪田	9	58.2	石神	18	50.8	河原子	21	62.4	植野	27	64.9
六郷	6	68.6	金砂	10	51.1	見川	28	62.5	*野口	6	63.0
上郷・浅川	3	51.1	那珂湊第二	15	51.5	城東	24	62.6	清滝	14	57.6
三沢西部	6	60.5	石塚	15	51.7	土浦東	13	62.9	大谷東	17	59.3
三沢西部・ 入田沢	3	58.0	浜田	32	52.6	伊奈東	7	63.0	豊田南	11	64.6
興譲	24	69.6	稲荷第一	7	52.7	園部	7	63.1	旭	21	58.6
関根	6	65.3	郡戸	9	52.8	常磐	46	63.2	鹿沼東	45	62.8
南原	10	68.7	谷貝	9	52.9	白方	26	63.3	*鹿沼中央	33	64.1
南原・芳泉	3	52.9	稲田	13	53.5	山方	12	64.5	南押原	6	58.8
板谷	6	60.6	寿	18	53.5	長岡	16	66.0	佐良土	7	61.1
米沢西部	38	56.9	*榎野地	4	53.6	幸久	7	66.2	北野上	6	62.0
米沢東部	38	62.1	東小沢	6	53.7	那珂湊第一	30	66.5	大木須	4	65.2
三沢東部 ・糸畔	2	66.7	大雄院	6	53.7	前渡	21	66.5	西那須野西	6	50.0
関	5	56.0	沼崎	8	53.7	雨引	12	66.7	三島	23	65.6
関・綱木	3	69.6	助川	37	54.5	桜南	7	66.9	*川西	13	69.4
赤湯	26	54.0	初原	3	54.5	山方・舟生	3	67.0	穂積	5	56.1
小滝	4	65.1	大子	14	54.9	三反田	6	68.0	高根沢東	13	58.7
梨郷・外沢	1	69.2	馴柴	15	55.7	藤代	18	68.2	壬生東	20	56.5
糠野目	12	55.1	恋瀬	7	56.3	坂本	30	68.4	高橋	6	68.2
高島	23	59.0	会瀬	24	56.8	藤沢	12	68.8	水木	6	58.4
屋代	13	56.2	平磯	18	56.8	栃木県		群馬県			
和田	11	54.3	上大野	7	56.9	小木須	6	50.4	*敷島	25	67.5
時沢	5	55.2	都和	29	56.9	両郷中央	7	51.5	城東	31	69.8
小松	19	66.5	若林	5	57.0	穂積	9	53.2	岩神	23	56.7
吉島	11	66.7	六郷	7	57.0	明保	13	54.2	桂萱東	17	64.3
東沢	6	59.0	久慈	30	57.1	栃木第三	29	55.0	芳賀	13	68.7
大塚	9	67.5	下高津	29	57.2	小山第一	51	55.7	総社	25	61.4
高山	3	62.7	土浦第二	29	57.5	坂上	6	55.7	元総社	34	63.9
伊佐領	3	55.2	袋田	7	58.0	押上	7	56.4	前橋東	20	54.2
*冲庭	6	60.6	文	6	58.0	菊沢東	12	56.5	細井	17	61.6
小国	22	61.3	真鍋	31	58.2	宇都宮東	26	61.5	桃川	21	66.2
鮭貝・黒鴨	1	50.0	金沢	31	59.0	姿川第一	18	62.4	清里	10	56.1
十王	5	55.0	菅田	13	59.3	雀宮東	6	64.3	駒形	19	62.1
萩野	5	64.4	世喜	6	59.7	今泉	14	64.7	荒子	13	64.9
飯豊第一	11	69.0	宮田	33	60.0	桜	29	65.1	高崎北	23	60.5
手ノ子・高峰	3	67.1	中根	13	60.6	*雀宮南	20	66.0	塚沢	26	53.8
広幡	6	54.5	大久保	45	60.6	*昭和	17	68.3	片岡	33	65.3
岩根沢	4	66.2	中小路	25	60.9	細谷	29	69.1	寺尾	18	58.6
茨城県			諏訪	18	61.2	羽田	6	61.7	城南	16	65.8
猿島・第二	2	50.0	石川	34	61.4	佐久山	7	66.0	新高尾	15	64.1
水木	22	50.0	高田	6	61.7	市野沢	13	67.2	中川	26	69.3
八里	9	50.3									
小文間	10	50.4									

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
**豊岡	22	69.9	万場	20	69.8	宮田	23	50.0	加治	28	69.1
南八幡	16	64.2	上野東	7	67.3	宮久保	31	50.3	飯能第一	50	58.1
倉賀野	28	64.9	上野西	6	57.3	我孫子第四	34	67.4	城山	12	69.9
岩鼻	17	51.0	下仁田	18	62.8	君津中	13	67.5	松山第一	50	63.2
滝川	7	50.2	小坂	6	68.9	坂畑	6	60.0	新明	22	60.1
**桐生西	30	58.7	青倉	6	67.4	三島	6	55.2	北泉	11	53.4
桐生北	34	57.6	尾沢	6	59.9	佐原	54	63.1	石原	38	69.9
*昭和	21	68.8	月形	10	68.9	和田	7	53.8	熊谷西	40	58.2
境野	27	63.6	中之条第二	21	65.2	上三原	4	64.3	幡羅	15	54.9
相生	23	52.5	東第一	6	50.1	北三原	6	59.1	寄居	21	68.5
天沼	18	63.9	長野原中央	12	53.8	千鴻東	7	66.1	水深	11	61.2
川内南	16	67.0	長野原第一	6	64.2	橘	6	62.6	谷中	24	69.2
菱	18	57.3	干俣	6	66.8	天津	20	58.1	武里	32	53.3
三郷	19	61.9	草津	24	58.8	稲丘	18	54.5	粕壁	51	51.9
豊受	26	62.6	高山東	11	59.1	峰台	34	50.5	清久	11	58.7
太田	27	64.6	高山西	7	58.4	八重原	33	55.6	栗橋北	13	56.4
宝泉	31	66.9	白沢	9	62.7	主基	7	66.9	塚越	23	60.3
宝泉南	7	51.7	昭 and 南	13	58.2	西条	6	53.2	東京都		
*沼田	29	63.5	境	24	60.8	豊栄	6	62.5	今川	10	65.2
渋川南	19	62.9	采女	19	57.9	匝瑳	6	63.0	有馬	14	57.5
豊秋	20	66.2	玉村	21	51.3	海上	17	59.5	佃島	12	58.4
丹生	6	51.8	尾島	25	60.9	椎柴	8	58.8	竹芝	6	68.1
安中	28	51.6	世良田	13	56.2	増穂	9	57.7	桜田	6	67.4
原市	24	60.0	生品	17	53.5	南条	6	54.8	*南海	13	67.7
磯部	13	64.3	笠懸	28	56.2	白浜	9	58.7	愛日	15	66.8
南雲	7	62.3	大泉北	30	66.1	川上	10	51.6	*大久保	19	52.3
橘	13	63.3	大泉西	14	61.4	笹引	6	57.8	四谷第七	10	62.8
白川	6	59.6	中野	15	60.7	石出	7	62.4	淀橋第六	17	58.6
榛名第一	13	69.6	坂上	13	62.6	多古第三	6	68.9	四谷第一	12	68.5
榛名第五	13	62.0	宮城	19	65.7	埼玉県			*落合第一	23	64.1
榛名第七	6	54.7	伊勢崎養護	10	55.2	南浦和	24	69.3	駕籠町	13	60.0
箕輪	23	66.0	高崎養護	14	53.3	別所	27	67.7	柳町	15	69.1
国府	11	69.9	前橋ろう	35	56.7	野田	12	64.8	昭和	24	67.5
上郊	11	60.9	前橋もう	25	54.7	仲本	24	62.0	小島	15	63.1
長尾	19	64.1	千葉県			辻	24	55.2	精華	12	65.0
中郷	11	60.7	三咲	38	50.3	大門	13	55.0	台東	13	58.8
小野上	7	57.3	中野木	36	51.5	川柳	20	51.2	育英	12	63.9
相馬	9	55.8	古和釜	40	50.9	朝霞第三	29	56.0	富士	26	64.5
桃井	16	62.4	前原	27	62.4	鴻巣南	24	58.3	二長町	9	61.5
駒寄	12	52.1	湊町	22	56.4	吹上	26	63.0	言問	18	61.0
*吉井	26	68.9	西海神	25	58.5	北本北	16	51.4	曳舟	19	67.8
*吉井・片山	4	64.4	高根台第三	16	56.6	小室	23	54.4	梅若	18	60.1
多胡	6	62.5	三山	41	51.5	霞ヶ関	24	64.0	両国	19	58.5
*入野	6	69.3	中国分	16	67.4	所沢	36	56.5	外手	25	66.7
									宮前	16	50.4

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
駒場	18	57.0	金沢	17	57.0	玉川	24	66.3	*山下	29	68.4
五本木	19	69.3	板橋第九	19	69.7	昭島東	24	60.4	都田	30	55.7
烏森	19	62.3	板橋第五	18	59.8	大岱	30	51.0	青葉台	30	55.4
油面	27	65.0	板橋第四	23	62.1	回田	25	56.2	藤の木	26	53.8
碑	22	59.8	板橋第三	15	69.0	東萩山	27	61.9	千代	23	53.0
八雲	12	57.0	中台	23	54.0	久米川	30	69.0	城内	24	54.4
東山	35	62.8	*旭丘	26	59.5	八坂	35	65.2	東富水	24	55.3
鈴ヶ森	19	55.8	大泉第六	15	66.8	*国分寺第八	18	61.4	酒匂	31	55.6
浅間台	12	68.0	浮間	23	65.0	三鷹第三	21	62.9	芦子	23	60.0
*台場	26	69.0	滝野川第二	25	66.7	北野	24	58.0	下府中	23	60.9
大間窪	21	62.0	柳田	15	59.1	三鷹第一	27	52.7	大窪	14	64.8
大原	16	66.4	*東十条	20	69.2	前原	19	69.7	桜井	27	65.3
杜松	12	61.0	十条台	18	66.8	小金井第一	19	64.0	山王	12	69.2
*大森第三	26	63.1	**王子	25	65.5	小河内	6	65.0	足柄	23	69.9
山王	28	69.1	袋	12	60.3	多摩第三	15	56.0	下中	13	66.5
北蒲	14	69.8	*第六日暮里	18	65.3	川口	19	59.0	福浦	6	69.7
女塚	21	69.9	第二瑞光	18	67.3	小平第五	17	67.4	鶴久保	46	61.0
大森第六	12	65.5	瑞光	22	57.3	神奈川県			**青葉	14	65.8
入新井第五	14	68.4	第一峡田	18	56.0	笹野台	24	64.2	馬堀	18	66.1
馬込第三	29	60.8	尾久西	20	63.2	左近山第一	42	55.3	神田	30	54.8
池上第二	28	55.0	第三日暮里	21	62.0	磯子	26	61.6	八幡	20	62.4
入新井第二	28	64.4	第四日暮里	13	67.5	洋光台第二	25	57.2	金田	16	65.7
松仙	24	65.2	柴又	18	60.0	*大道	44	65.4	泰野北	14	62.3
清水窪	13	65.9	西荻江	12	58.9	上大岡	18	65.0	伊勢原	29	66.5
志茂田	18	68.0	中之台	18	60.6	大門	24	59.6	山梨県		
*新宿	14	55.4	鹿本	16	65.4	瀬谷第二	32	55.6	甲運	10	62.6
*蓮沼	14	56.9	小松川第二	21	55.1	平安	27	68.4	静岡県		
六郷	24	55.9	二之江第二	13	53.0	矢向	41	66.0	*浅間	28	51.7
*東蒲	19	64.4	南小岩第二	31	64.0	下末吉	14	63.7	中ノ町	19	59.0
高畑	19	68.4	上小岩	20	62.3	寺尾	35	61.2	伊佐見	18	58.0
幡代	27	60.3	忠生第二	6	62.3	豊岡	27	61.0	竜禅寺	23	58.9
常磐松	17	68.3	鶴川第三	31	64.4	東台	33	60.3	曳馬	35	60.1
上原	18	63.8	南第二	18	61.7	岸谷	18	54.5	遠州浜	28	61.9
広尾	23	56.2	本町田東	25	63.5	飯島	28	62.4	葵が丘	30	60.7
本町	25	67.2	藤の台	25	51.5	立野	26	65.5	浜松北	20	65.0
新泉	19	67.0	南大谷	16	62.0	山元	17	59.1	五島	7	63.3
永福	18	54.1	町田第六	27	61.6	本町	36	55.8	北庄内	16	64.6
野方	21	63.0	町田第四	28	64.1	一本松	22	50.8	豊西	12	61.7
啓明	25	68.7	町田第三	25	59.8	稲荷台	24	67.1	笠井	20	69.5
太子堂	19	66.1	武蔵台	21	60.7	横浜東	21	65.8	蒲	28	69.5
松原	25	61.6	府中第六	23	59.9	平沼	21	56.5	萩丘	31	65.4
山崎	19	63.3	拝島第三	22	54.0	初音が丘	23	64.4	浜松西	22	68.2
松丘	28	57.0	拝島第一	22	54.9	上星川	24	64.6	船越	16	63.7
高島第二	21	69.4	*中神	20	56.2	鉄	15	68.9	小島	11	66.2

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
興津	36	59.0	星崎	20	66.0	西端	18	56.9	蒲郡南部	32	61.1
三保第一	31	63.8	白沢	28	62.6	佐久島	6	60.0	**大塚	12	67.5
駒越	19	66.4	鳴海東部	12	60.0	安城中部	27	51.8	*塩津	24	63.2
青葉	18	63.9	緑	13	56.4	亀城	25	69.6	三谷	21	64.2
*大瀬	19	69.2	太子	12	62.6	小垣江	20	59.5	形原北	18	68.4
愛知県			旭出	20	69.0	常磐東	5	52.0	竹島	16	56.7
内山	16	66.8	浦里	16	50.8	下山	5	53.3	三谷東	21	53.4
春岡	19	59.7	露橋	23	69.0	夏山	6	61.4	中山	18	69.2
千種	21	65.2	玉川	7	65.0	六ツ美南部	13	56.6	清田	11	67.4
大和	15	50.5	*効範	25	56.5	奥殿	6	66.8	羽布	4	55.8
上野	38	60.0	*下品野	22	60.3	竜谷	9	56.7	岐阜県		
富士見台	33	52.4	東明	13	61.4	岡崎	19	56.8	和良	9	62.0
宮根	19	60.7	*幡山西	14	62.8	井田	26	61.3	大和東	6	63.0
藤が丘	20	51.6	上品野	6	50.4	吉田	12	57.5	三城	12	60.3
猪子石	19	59.8	古瀬戸	12	62.7	津平	7	55.1	吉田	6	51.0
杉村	21	58.2	幡山東	10	55.0	東幡豆	14	63.7	明方	7	59.7
城北	36	54.9	神領	20	65.0	三好北部	16	50.3	相生	12	64.4
六郷	12	65.5	藤山台	11	67.1	美山	24	56.4	大和南	6	61.4
栄生	20	63.8	篠木	36	67.0	三巴	3	61.5	栃尾	6	64.1
児王	18	50.1	三ツ淵	13	63.6	田平沢	3	60.2	精華	32	59.0
江西	12	67.8	豊明中央	25	56.0	椿立	3	50.0	池田	15	52.6
則武	21	61.5	牛山	25	62.6	大河原	3	52.1	小泉	32	58.8
亀島	17	51.4	西川端	12	66.3	御蔵	4	67.4	市之倉	12	66.0
米野	25	63.5	大治第二	17	51.0	和合	3	63.6	南姫	14	59.4
六反	11	54.4	神田	18	62.3	花山	5	66.7	笠原	39	59.5
稲西	19	55.8	三和	13	60.4	生駒	3	66.7	陶	18	59.0
御園	12	69.2	豊浜	17	61.4	明和	6	54.4	土岐	20	63.9
八事東	28	66.3	野間	12	60.2	阿蔵	3	57.9	毛呂窪	6	65.0
平針	26	59.4	安城北部	31	64.3	坂宇場	4	68.3	野井	6	50.2
野並	29	69.3	米津	12	62.4	富山	3	68.1	恵那北	6	50.0
堀田	19	69.6	中畑	13	61.3	東栄中央	7	64.6	田瀬	6	60.0
豊岡	19	66.7	花ノ木	14	55.7	奈根	6	64.4	明智	18	65.8
中根	23	62.5	矢田	15	52.0	月	3	63.3	付知北	12	65.2
旗屋	12	64.5	福地南部	13	60.6	古戸	4	61.5	加子母	12	59.1
愛知	22	58.0	安城東部	18	56.3	下川	6	61.0	大山	6	59.8
篠原	24	64.3	祥南	18	60.3	名倉	7	63.3	白川	9	58.4
戸田	34	57.2	作野	19	55.5	裏谷	3	60.0	神土	6	68.1
明正	19	56.9	志貴	6	59.0	清崎	4	51.7	越原	6	67.3
港西	49	69.2	明和	12	60.8	押川	3	63.2	坂祝	14	50.8
明治	33	59.9	二本木	15	50.5	稲橋	6	51.2	八百津	16	64.0
呼続	33	61.3	荻谷	13	50.6	東郷西	12	58.8	川辺	16	50.0
白水	23	50.5	来迎寺	12	67.9	細川	4	57.6	富田	13	58.0
大生	15	56.3	幡豆	19	59.9	豊川	41	68.6	古井	32	63.7
伝馬	17	54.4	大浜	30	58.2	蒲郡東部	12	59.0	太田	27	56.3



学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
山之上	6	59.4	岐南東	13	61.0	松浜	28	59.7	名木野	15	57.1
加茂野	6	56.5	足近	12	50.0	南浜	8	60.6	葛巻	13	56.1
下之保	6	63.1	竹鼻	35	60.0	太郎代	6	58.2	今町	18	62.6
中之保	6	67.3	中島	13	60.5	濁川	12	69.5	村上	44	59.9
富之保	6	62.5	長嶺	6	51.2	小針	36	57.1	小池	12	58.4
武芸	7	56.6	牛牧	12	59.7	有明台	18	68.2	*大和川	13	57.9
行合	3	68.8	席田	13	51.5	丸渦	3	67.9	北西海	6	65.9
上之保	6	64.8	一色	6	50.7	内野	33	67.2	糸魚川	41	50.2
長瀬	6	66.8	土貴野	6	52.9	*木山	11	67.6	山之防	4	68.5
上牧	7	62.7	本田	17	59.5	*赤塚	7	59.8	斐太北	6	62.6
中有知	8	60.7	*三枝	6	64.0	小瀬	6	60.8	栗原	6	62.9
神洞	3	60.1	江名子	6	65.0	壮丹山	33	57.0	川東	13	69.5
洲原	6	69.6	山王	29	66.7	桂	6	68.7	馬下	6	67.1
美濃	27	63.0	高山東	25	66.1	**宮内	18	68.5	丸田	6	62.0
旭	8	65.9	枋洞	6	68.0	深沢	6	54.0	加茂	13	56.9
中津川南	24	60.0	神岡西	18	50.7	関原	13	59.6	庄瀬	10	54.7
中津川西	24	62.5	神岡東	18	56.1	福戸	6	66.7	戸頭	6	56.5
富岡	9	54.6	稲越	3	62.0	四日町	25	52.9	白井	10	57.0
安桜	28	51.4	山田	6	57.0	須頃	6	63.5	鷺巻	6	56.2
瀬尻	12	54.7	古川西	15	63.5	月岡	6	69.0	高井	6	68.0
*下有知	11	60.6	大津山	3	65.0	比角	23	54.2	葛塚	32	66.2
駄知	34	66.5	坂上	6	61.0	鯨波	6	64.6	太田	7	59.2
泉	38	61.3	坂下	4	59.0	槇原	6	62.7	木崎	13	54.0
*那加第一	20	67.8	平瀬	6	58.0	田尻	13	61.7	笹山	7	50.6
那加第二	30	60.0	宮	6	56.8	南鯖石	9	65.9	早通	12	57.7
那加第三	22	58.2	池本	3	68.0	別呉	9	64.2	上土地亀	6	62.8
稲羽西	20	62.5	朝日	6	59.4	北条北	7	69.1	下土地亀	6	60.6
稲羽東	13	69.2	梅原	6	68.0	竹俣	6	66.0	堀越	8	59.5
鵜沼第二	24	57.5	大桑	6	60.2	新津第一	39	64.8	中浦	12	60.2
蘇原第二	26	62.1	赤河	6	57.0	新津第二	37	55.8	亀代	17	60.9
萩原	23	62.6	大矢田	6	63.1	結	17	65.8	加治川	8	64.7
山之口	3	59.9	蔵生	6	56.0	金津	14	56.0	大浦原	6	69.2
尾崎	6	61.7	巢南西	6	53.0	阿賀	6	67.9	戸倉	6	54.7
下呂	27	59.2	堀津	6	54.2	新関	8	58.1	村松	25	50.0
芥見	19	58.0	新潟県			東小千谷	19	65.2	小杉	6	54.4
黒野	27	63.0	鏡淵	22	60.2	吉谷	6	55.0	木津	6	65.3
厚見	36	51.9	湊	19	64.4	和泉	6	53.5	沢海	6	63.7
則武	25	60.5	万代	18	66.4	塩谷	3	55.7	間瀬	6	52.3
**白山	22	68.8	沼垂	35	69.4	大崩	3	51.7	中島	6	57.1
岩野田	36	58.1	山潟	12	61.9	真人	6	57.6	国上	6	65.9
三輪南	13	69.0	上所	34	69.9	片貝	13	64.4	四箇村	6	63.0
七郷	14	65.5	*女池	29	65.7	七谷	9	62.5	粟生津	6	54.0
加納	30	64.8	東山の下	41	67.1	下条	13	63.0	吉田南	20	54.3
本郷	29	62.4	桃山	26	52.5	水沢	12	55.2	佐渡山	6	69.4
						見附第二	6	50.9			

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
松野尾	6	56.6	塩野町	9	55.6	福沢	6	51.4	小矢部東部	11	68.2
*鎧郷	6	63.1	桑川	6	57.9	仁歩	4	52.0	岩尾滝	4	60.0
曾根	14	65.4	外海府	3	69.0	大長谷	8	66.7	石動	27	56.3
升潟	6	69.1	金泉	6	52.5	桐谷	2	52.0	*大谷	17	55.0
黒鳥	6	67.9	沢根	8	62.4	古里	9	60.3	*北蟹谷	7	50.5
木場	7	60.3	八幡	6	60.1	朝日	6	54.0	石川県		
立仏	10	68.7	小木	11	57.7	速星	14	53.5	**片山津	14	63.6
七穂	6	50.0	深浦	4	58.6	神明	11	66.7	庄	6	56.1
月潟東	10	65.8	御免町	32	57.0	新保	6	68.0	*山代	30	64.6
津川	14	64.3	川東	9	53.8	西田地方	26	59.9	**東谷口	5	55.4
日出谷	6	67.0	*車野	5	67.7	熊野	15	58.3	*三木	6	66.9
三川	7	55.1	七葉	12	61.9	**寒江	6	56.3	稚松	28	61.6
三川・中ノ沢	3	53.5	佐々木	12	63.3	**老田	6	55.3	犬丸	6	63.3
綱木	3	52.9	長野県			上条	6	63.5	粟津	11	60.4
桐島	6	50.3	武石	12	68.8	橋下条	6	58.0	符津	14	67.7
寺泊	13	65.6	白馬南	6	61.2	浅井	7	65.6	苗代	9	69.1
夏戸	6	60.6	永明	25	59.3	櫛田	7	56.4	菊川町	24	55.3
小出	27	65.2	東福寺	10	69.9	下村	6	63.1	弥生	24	58.1
塩沢	19	60.0	富山県			大島	15	60.3	押野	32	52.2
樺野沢	4	64.0	野中	6	67.0	塚原	6	63.4	千坂	17	53.2
六日町	28	58.4	横山	6	57.0	新湊	31	56.3	浅野町	12	59.8
石黒	4	59.2	下立	7	69.6	牧野	11	68.2	東浅川	6	65.9
勝山	6	56.4	宇奈月	8	68.7	横田	20	68.0	鞍月	12	61.1
高倉	3	65.9	東布施	7	64.0	*定塚	26	67.2	越路	11	63.6
下保倉	6	55.8	村椿	6	61.5	守山	12	66.5	鉦打	6	60.0
松之山	7	60.3	*生地	17	57.7	東五位	12	64.0	柳田	10	66.7
松之山・里倉	3	50.0	本江	20	69.2	野村	17	63.9	上町	6	64.2
三省	3	50.0	**村木	18	69.0	*伏木	23	50.1	福井県		
坪野	3	53.1	吉島	18	67.8	小久米	6	62.0	**敦賀西	27	64.9
浦田	6	54.9	上野方	7	65.9	*仏生寺	6	60.8	栗野	27	68.5
菖蒲	6	69.3	住吉	9	57.8	朝日丘	25	60.6	西愛発	6	64.0
高尾	3	55.4	松倉	6	53.3	上庄	7	58.0	**黒河	6	58.0
上下浜	7	61.7	**田中	15	67.0	池田	5	57.0	東愛発	3	67.6
下黒川	6	67.0	中加積	6	58.6	岩瀬	5	57.0	東浦	6	67.0
黒岩	5	62.8	白萩南部	6	64.0	窪	14	55.7	滋賀県		
東田中	6	54.5	*白萩東部	3	67.0	阿尾	6	52.0	下阪本	12	67.8
泉谷	4	62.6	高野	6	64.0	氷見東	22	50.6	坂本	34	64.9
妙高北	13	69.5	日中上野	6	59.0	*般若	9	69.0	膳所	42	63.2
妙高南	10	50.0	*立山中央	23	57.4	中野	6	65.0	上田上	10	68.9
針	7	68.6	新瀬戸	6	62.9	*瀧波東部	14	58.0	中央	16	63.7
里公	7	67.9	小羽	3	52.8	梅檀野	7	50.3	雄琴	6	59.0
安角	6	64.5	大沢野	26	50.9	庄川	18	61.0	鳥居本	9	53.4
三面第二	3	55.8	上滝	13	66.0	城端	26	63.6	城東	27	69.8
高南	6	55.5	牧	3	52.1	藪波	7	69.7	**城西	18	59.8

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
城北	6	60.9	和歌山県			京都府			高雄	6	62.5
城陽	19	63.9	笠田	20	52.0	西和東	6	60.4	松陽	16	54.1
河瀬	21	52.3	妙寺	19	66.0	*惇明	32	65.6	宇多野	24	68.5
亀山	6	63.6	高野口	22	59.2	**庵我	10	59.0	嵐山東	16	63.1
高宮	13	52.4	応其	25	63.8	*上六人部	6	54.8	南太秦	17	50.7
北郷里	16	52.2	九度山	15	62.9	上川口	6	51.1	*竹田	19	59.9
*長浜南	19	60.0	池田	15	61.6	金谷	6	69.2	下鳥羽	11	56.5
草津	33	58.8	田中	18	69.6	福井	6	55.9	横大路	8	54.1
草津第二	21	63.1	粉河	20	63.3	紫明	20	68.9	*納所	12	64.3
*老上	27	61.3	竜門	7	61.7	楽只	11	66.1	向島	42	58.7
笠縫	25	57.3	西貴志	6	60.4	大將軍	14	65.3	明親	24	52.0
河西	17	56.4	岩出	14	54.6	*中川	7	65.0	乾隆	18	67.6
大宝	15	53.4	本町	20	67.0	仁和	35	69.3	大宅	24	60.3
祇王	14	56.1	宮北	20	62.8	正親	13	65.4	陵ヶ岡	25	51.4
野洲西	24	69.1	宮	29	63.4	梅屋	13	64.5	大阪府		
油日	13	69.0	和歌浦	35	50.5	竹間	12	67.9	曾根崎	7	68.4
信楽	20	53.5	安原	16	64.5	朱雀第二	18	58.6	菅北	13	62.1
蒲生西	13	60.3	有功	27	58.0	朱雀第八	18	68.3	堀川	18	66.8
必佐	12	55.7	大野	12	64.8	豊園	8	68.0	福島	12	51.0
五個荘	20	64.4	亀川	11	58.9	開智	6	62.9	大開	16	66.9
愛知川	18	52.0	北野上	10	64.4	菊浜	8	68.0	**高見	18	69.1
甲良東	14	69.2	保田	14	64.0	修徳	8	58.7	豊仁	14	62.8
多賀	13	62.2	湯浅	35	67.5	醒泉	16	54.4	東粉浜	12	68.0
伊吹	9	64.7	山田	3	58.0	淳風	15	59.8	墨江	28	67.1
春照	12	59.0	御霊	14	61.0	光徳	16	69.4	加賀屋	25	60.5
醒井	13	61.7	城山西	6	69.8	七条第三	22	55.9	東都島	25	64.7
息郷	11	54.0	野口	6	67.7	崇仁	19	54.7	聖賢	23	60.7
坂田	13	67.4	阿尾	6	67.4	九条弘道	18	53.6	今津	26	69.6
浅井南	6	68.6	船津	3	63.5	九条塔南	19	65.8	中川	30	60.4
浅井東	6	66.7	大星	3	55.1	唐橋	23	62.6	巽東	16	63.9
*虎姫	19	57.5	笠松	6	50.4	*陶化	19	53.6	加美南部	19	62.8
小谷	6	64.0	西富田	13	54.9	山王	18	56.5	桃園	14	65.2
びわ北	6	61.9	串本	20	52.4	吉祥院	41	66.5	**西淡格	46	57.1
伊香具	7	56.3	出雲	6	56.4	上鳥羽	21	58.6	*大宮西	29	61.7
杉野	7	69.9	須江	4	61.7	*八瀬	6	69.5	萱野東	12	60.8
丹生・小原	2	65.0	千穂	30	65.5	*市原野	6	52.6	箕面南	19	55.4
余呉	6	60.8	丹鶴	12	67.5	第四錦林	19	66.5	岐尼	7	69.0
丹生	6	55.7	勝浦	32	56.2	葵	27	58.6	桜塚	19	66.0
中河内	4	61.0	太田	6	61.7	修学院	43	65.6	東豊台	13	57.4
片岡	6	56.2	明神	4	53.3	*一橋	19	67.5	刀根山	32	60.5
マキノ南	6	58.1	小川	3	56.0	*今熊野	18	50.7	中豊島	32	50.8
*今津東	19	67.5	三尾川	6	64.8	嵐山	18	69.1	南丘	43	59.0
			七川	3	66.0	*安井	24	57.9	石橋南	21	50.1
						花園	18	64.2	中条	30	59.0

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
明和	24	54.0	**岩岡	16	58.6	六条院	17	60.0	片山	19	62.8
縄手南	29	52.1	松が丘	44	66.2	金光吉備	10	59.1	港町	19	57.6
荒川	30	53.7	林	31	55.8	豊田	7	63.6	切串	11	60.2
*泉佐野第三	14	51.8	王子	25	59.4	山陽	18	61.5	倉橋東	6	69.0
樽井	22	60.0	大観	25	53.9	上水田	6	61.5	川上	14	51.2
深日	26	56.6	藤江	34	50.3	琴浦西	35	61.0	八本松	11	53.3
東鳥取	26	68.1	貴崎	16	52.1	高島	26	50.0	大草	6	62.7
兵庫県			*山手	36	57.3	*笠岡	29	57.5	樺梨	6	67.9
宮本	19	52.3	谷八木	19	54.3	唐松	7	53.4	小田	5	55.8
春日野	25	68.9	江井島	22	60.2	鳥取県			安野	4	50.0
神戸	12	62.2	*魚住	33	61.2	米里	6	68.0	筒賀	7	50.5
山手	23	63.9	錦浦	17	59.0	山守	6	68.0	井仁	2	50.0
東川崎	11	60.5	鳥羽	36	55.9	宮下	10	63.4	竹原	25	55.5
平野	30	58.7	朝霧	23	69.7	美保	18	58.0	竹原西	14	64.3
湊山	18	59.6	母子	3	53.1	日進	16	53.4	久保	15	65.3
夢野	13	67.7	本庄	6	61.2	遷喬	12	65.5	栗原	42	58.1
東山	19	55.5	藍	7	66.2	広島県			吉和	30	66.6
*川池	28	52.4	志手原	6	68.7	牛田	39	65.3	百島	6	62.6
入江	19	65.0	**三田	19	56.7	青崎	24	60.4	土生	31	51.7
和田岬	25	61.9	小野	6	56.5	中島	21	51.7	田熊	18	58.1
有馬	7	64.9	谷内	7	66.8	三篠	31	69.2	木谷	6	67.0
有野	9	56.1	手柄	26	57.5	己斐	39	61.2	三津	20	52.5
唐櫃	25	52.4	山田	8	58.3	草津	27	64.7	風早	12	62.9
*坂の宮	42	68.0	妻鹿	18	65.8	元字品	6	59.1	東野	12	54.4
小部東	22	54.9	伊丹南	45	67.8	戸坂新町	13	67.8	木江	10	57.1
北五葉	28	59.1	有岡	19	66.8	畑賀	10	62.1	今津野	6	68.3
*雲雀丘	27	65.1	笹原	32	66.5	長束	32	54.4	東町東	27	61.3
丸山	34	59.3	*瑞穂	29	63.2	山本	22	67.5	霞	20	66.8
真野	20	50.8	摂陽	14	61.6	八木	15	62.4	川口	27	67.6
若宮	30	68.5	稲野	36	59.7	緑井	23	66.3	手城	31	62.7
東須磨	33	67.3	緑丘	30	59.4	亀山	13	61.8	深津	30	68.6
妙法寺	26	69.0	桜台	39	58.9	大林	6	61.7	*御幸	17	63.7
**塩屋	35	66.9	神津	23	53.8	落合	13	55.5	津之郷	12	57.1
上高丸	45	69.3	天神川	38	58.6	*玖波	15	64.5	熊野	9	63.4
千代が丘	16	67.4	岡山県			木野	6	55.4	箕島	6	64.8
東舞子	41	68.0	藤野	8	68.3	原	6	58.0	高島	28	67.2
舞子	31	57.4	本荘	13	52.9	大野西	26	67.4	春日	15	50.2
*西舞子	51	66.5	六島	3	67.9	湯来西	6	53.4	神村	16	63.4
太山寺	6	69.1	北木西	6	65.2	深江	6	57.4	今津	21	67.1
櫛谷	7	69.6	*城見	8	58.8	白岳	26	50.8	旭丘	9	65.0
木津	6	60.9	西江原	14	51.0	横路	22	60.0	府中東	28	64.8
押部谷	26	60.5	八浜	7	66.2	長郷	6	51.1	*府中西	13	67.0
平野	12	61.2	*寄島西	12	63.8	宮原	24	64.0	国府	20	57.2
*神出	20	66.8	鴨方東	13	62.2	*長迫	18	57.2	栗生	10	65.5
						荒神町	14	59.7			



学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
明郷	13	55.0	荘原	17	69.5	*飯野	9	69.5	諏訪	13	68.8
諸田	4	61.1	斐川中部	13	54.3	城南	13	69.2	松ヶ江南	18	69.3
旭	18	60.1	西須佐	6	66.0	府中	11	56.4	*大里柳	25	61.7
千年	18	60.6	荒木	13	64.7	林田	14	59.6	南丘	25	56.8
御野	14	69.0	遙堪	6	52.2	*与北	7	61.4	貴船	26	66.2
湯田	13	69.6	湯里	6	61.7	一ノ谷	6	69.6	長行	20	65.4
道上	10	60.5	長浜	17	65.5	蒲生	6	64.9	小倉	20	63.8
草木	3	62.6	上府	5	69.9	岡田	13	68.8	霧丘	27	52.7
八次	12	64.8	郷田	14	62.3	国分寺南部	14	61.3	貫	12	52.4
吉舎	10	67.3	浅利	6	65.9	箱浦	7	67.8	桜丘	18	56.1
美古登	7	62.9	松平	6	64.1	*麻	7	63.3	中井	35	52.6
口北	7	61.3	川波	8	63.0	*下高瀬	7	51.8	到津	23	51.3
板城西	6	69.7	津宮	13	58.2	高知県			古城	13	57.0
原	14	61.7	川本	12	69.2	朝倉第二	22	61.6	横代	20	58.1
服部	6	63.8	安田	6	52.1	伊野	22	66.6	*足原	31	60.1
昭和東	6	52.0	種	4	53.3	福岡県			広徳	28	57.9
熊野第一	22	62.6	西益田	13	63.0	南吉富	6	67.9	曾根	37	58.1
島根県			木部	7	67.7	*西吉富	6	68.0	井堀	17	54.0
母衣	25	54.8	六日市	8	51.2	寒田	6	56.0	若園	34	50.3
乃木	27	59.3	五箇	7	69.2	勝浦	6	68.7	日明	29	58.5
秋鹿	7	60.6	山口県			志免東	22	65.2	徳力	20	60.9
**安来	32	66.2	沼城	8	57.4	小野	6	52.0	中原	25	64.0
飯梨	7	62.7	四熊	4	60.0	須恵第一	21	69.5	枝光	19	57.5
赤江	13	58.3	中須	6	64.0	新宮	21	59.5	大分県		
恵曇	13	53.7	須磨	7	55.2	長丘	20	61.6	山口	7	50.0
*御津	4	61.4	遠石	20	64.1	東花畑	25	65.9	河内	6	50.7
大芦	6	65.8	馬島	4	66.3	堤	34	67.4	上野	6	61.6
加賀	6	63.2	大道理	3	55.9	元岡	12	63.7	八幡	12	52.0
野波	6	60.9	周陽	28	65.0	箱崎	25	57.8	一尺屋	6	56.5
八雲	9	68.2	菊川	14	57.4	馬田	13	54.3	神崎	7	52.0
三成	11	67.3	二俣瀬	7	64.3	*宮ノ陣	16	51.8	真玉	7	61.6
海潮	7	66.8	恩田	39	54.5	合川	18	52.2	桂陽	17	50.6
寺領	6	60.9	岬	21	58.8	上津	18	58.3	都甲	7	60.0
**今市	30	69.7	埴生	15	50.3	日吉	18	52.9	田染	11	63.2
**四絡	14	60.2	川中西	18	61.9	荒木	26	64.1	台	5	59.3
高浜	7	59.9	玖珂	23	65.4	京町	20	65.2	*馬原	7	65.3
鳶巣	6	68.8	通津	17	67.9	吉野	18	61.5	川辺	6	64.4
五十猛	6	57.3	徳島県			笹原	14	55.0	津房	8	56.4
久手	13	58.9	西麻植	9	67.7	白川	24	64.0	柳ヶ浦	12	50.8
平田	24	59.7	白地	6	64.9	天道	9	64.4	長野	4	65.0
佐香	9	63.8	香川県			明治	20	67.8	西庄内	8	54.7
伊野	7	60.7	東植田	6	62.0	三池	27	66.8	由布院	22	51.7
波多	5	68.9	屋島	24	68.3	大正	21	68.9	長湯	8	64.0
松笠	4	55.2	日新	12	51.4	駛馬南	16	66.9	*姫岳	7	63.5

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
大恩	6	51.4	朝日	23	61.2	睦合	9	53.2	浜町	19	66.2
姫島	11	54.0	別府養護	10	59.2	高道	12	67.9	白糸第二	4	50.7
武蔵東	13	60.5	安心院	14	61.0	横島	19	63.8	下矢部西部	6	61.5
伊美	6	53.7	大恩寺	10	58.9	山北	13	52.8	下矢部東部	6	54.1
岐部	6	54.0	日隈	12	67.1	川辺	6	69.2	御岳	7	55.9
朝来	6	64.8	若宮	12	61.5	八幡	12	69.2	中島南部	5	50.8
南安岐	6	59.0	**三芳	18	64.9	平小城	6	68.9	中島東部	6	59.6
小富士	6	67.6	高瀬	20	63.9	三玉	6	64.9	中島西部	4	55.2
*大在	26	54.1	*三和	6	64.5	来民	13	53.2	瀬島東	11	55.9
中島	25	59.7	熊本県			中富	7	59.5	朝日	6	69.5
春日町	31	55.6	白坪	28	69.5	山本	6	59.2	小峰	6	56.0
南大分	35	58.5	画図	17	61.1	吉松	12	54.2	緑川	3	51.1
八幡	13	65.8	健軍	26	66.7	内田	12	68.2	袴野	4	56.5
東大分	19	52.3	田迎	18	61.1	六郷	8	54.7	太田郷	42	67.3
桃園	17	62.1	御幸	12	56.3	城北	7	66.1	郡築	12	65.5
*城南	33	57.8	松尾北	4	55.6	千田	6	64.4	宮地東	4	62.0
豊府	20	50.8	竜田	19	53.0	河原	6	69.9	昭和	6	64.2
明野西	23	53.0	小島	12	67.9	*水源	6	66.3	*竜峯	10	66.7
明野東	19	67.3	楠	26	56.5	竜門	6	58.6	鏡	23	66.7
三佐	15	60.2	東町	16	61.6	花房	6	65.5	有佐	10	66.3
金池	40	52.3	川上	13	57.6	大津	21	67.1	宮原	17	58.7
坂ノ市養護	8	58.3	中緑	6	61.8	泗水東	6	61.6	鮎婦	6	68.9
鶴崎養護	8	51.3	銭塘	6	54.1	泗水西	6	63.3	田上	6	67.6
坂ノ市	17	66.0	奥古閑	13	59.3	旭志	15	60.6	千丁	21	64.9
小佐井	9	50.5	三角	15	57.4	菊陽中部	14	53.1	竜北西部	14	64.5
丹生	8	53.7	三角東	6	52.9	菊陽南	6	60.4	竜北南部	7	62.7
敷戸	22	66.5	不知火	13	59.7	西合志第一	7	64.2	種山・内之木場	3	50.9
植田	38	52.7	杉上西	6	62.0	西合志中央	13	58.1	泉第三	5	52.9
東植田	18	53.9	松橋	15	58.2	坂梨	7	65.8	水東	5	67.3
判田	13	58.1	小川	15	63.8	古城	6	67.5	久木野	9	54.5
河原内	5	50.8	砥用	15	62.2	*碧水	16	54.1	佐敷	17	63.1
竹中	6	54.4	豊富	6	60.3	内牧	22	50.0	大野	7	66.2
松岡	12	68.5	富合	19	51.4	蓬萊	6	54.4	告	3	59.0
川添	6	59.6	清里	6	57.1	万成	4	58.4	吉尾	4	64.8
高田	11	69.8	*玉名町	35	56.2	北里	6	57.3	湯浦	13	62.9
明治	19	60.0	築山	10	51.2	色見	6	63.0	女島	5	60.1
別保	13	63.5	大浜	12	51.9	上色見	5	62.1	丸米	6	62.2
野口	16	55.9	八嘉	11	50.4	二瀬本	6	56.4	津奈木	14	61.3
**境川	21	66.7	玉名	6	50.5	馬見原	6	56.8	赤崎	6	63.4
西	22	64.6	石貫	6	50.9	産山北部	6	67.1	平国	6	67.0
南立石	17	50.2	三ツ川	6	52.5	津森	10	60.4	槻木	3	51.1
鶴見	26	64.9	南関第二	12	58.2	甲佐	14	56.6	野原	3	57.3
亀川	26	54.0	南関第三	8	53.0	乙女	10	58.2	五木西	4	58.3
上人	31	65.5	大野	12	66.7	竜野	6	68.8	高沢	6	53.6

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
亀場	11	50.5	沖縄県			大正	8	56.0	川棚	12	60.0
志柿	6	66.9	識名	61	55.5	島原第一	27	69.0	西大村	22	54.6
山之浦	5	62.4	長崎県			西郷	13	67.9	大村中央	31	63.1
上	14	55.6	伊良林	49	67.1	小浜	20	58.1	大村	25	64.5
赤崎	6	55.8	上長崎	31	69.0	富津	8	58.9	三城	19	58.9
御所浦北	6	56.3	新興善	12	69.0	雲仙	7	51.6	萱瀬	7	50.5
牧島	6	53.7	北陽	27	52.4	加津佐	17	59.6	音琴	6	61.0
河内	5	68.5	勝山	21	67.5	南有馬	13	54.3	蚊焼	12	65.7
都呂々	6	62.3	佐古	19	51.5	大三東	17	64.0	川原	7	50.3
宮崎県			稲佐	35	64.9	湯江	17	61.0	為石	10	53.3
三財	18	68.8	矢上	30	55.1	小林	7	63.1	亀岳	12	67.5
田原	9	67.9	日見	23	59.5	大塚	14	63.1	口石	17	50.4
須美江	3	67.6	*大園	41	57.1	野田	9	67.9	江迎	13	52.9
幸ヶ丘	5	65.6	茂木	24	56.9	鶴田	12	60.0	猪調	8	54.1
明道	18	64.4	*坂本	25	57.9	島原第二	24	66.6	佐々	13	51.1
穂北	16	63.9	西浦上	42	53.7	島原第三	28	67.0	田代	6	52.3
北郷	10	63.5	愛宕	25	65.6	島原第五	19	61.1	志佐	18	50.1
延岡西	20	63.0	三原	22	53.0	堂崎	12	54.1	世知原	14	55.4
都城西	18	61.1	高尾	35	67.8	深江	15	66.1	平戸	24	50.1
小川		60.7	土井首	25	69.6	口之津第三	6	65.2	田平北	17	50.1
住吉	24	60.7	八幡	18	54.1	本野	13	61.9	調川	13	50.2
内山	3	60.3	俵浦	5	58.6	御館山	17	67.2	渡良	6	64.6
佐土原	17	59.3	日野	22	64.0	*上諫早	6	69.0	船越	6	57.3
西池	35	56.9	*相浦	32	65.5	*小野	18	61.0	佐須奈	6	52.9
紙屋	8	52.5	*大野	29	65.0	真崎	18	55.0	福石	20	65.5
五ヶ所	5	51.7	*柚木	12	59.4	真津山	12	65.6	久田	6	69.9
美々津・田ノ原	3	50.8	*江上	11	58.0	小栗	12	66.6			
山本	7	50.0	日宇	27	64.2	東大村	5	50.7			
鹿児島県			神代	13	68.6	彼杵	13	66.4			
太田	13	69.4	岩戸	6	59.5	波佐見南	13	50.2			

# 中学校 70 % 以上

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
<b>青森県</b>			鮭川	5	75.5	沖郷	10	75.6	**南八幡	7	86.2
八戸第三	13	85.6	戸沢	10	73.5	三沢西部	3	74.3	高南	19	82.2
<b>宮城県</b>			角川	6	70.7	<b>福島県</b>			桐生北	15	81.0
県立もう	5	100	*堀内	3	74.9	岳陽	19	85.2	境野	12	75.0
<b>山形県</b>			長沢	4	80.9	福島第二	17	83.8	伊勢崎第二	19	70.2
山形第一	26	72.2	舟形	7	84.1	<b>茨城県</b>			伊勢崎第三	26	75.1
山形第三	28	80.1	鶴岡第二	19	70.7	八郷南	11	71.4	殖蓮	18	81.5
山形第五	18	78.5	豊浦	8	79.8	見川	11	74.7	太田西	16	77.4
山形第八	11	77.1	西郷	6	73.4	中郷	14	75.0	毛里田	11	70.4
東沢	4	80.1	温海	8	79.1	金砂郷北	11	82.1	金島	6	71.5
蔵王第一	11	73.9	菅野代	2	76.6	古河第二	33	82.6	古巻	10	78.4
南山形	7	85.3	酒田第二	19	91.2	<b>栃木県</b>			藤岡	23	70.7
本沢	5	80.3	酒田第五	12	93.0	宮の原	25	71.8	神流	6	84.8
宮川	9	86.3	浜中	4	77.5	皆川	7	80.0	**富岡	18	72.5
山元	3	88.1	菅里	9	77.7	栃木西	22	77.0	富岡西	13	80.2
天童第一	16	84.5	*遊佐	13	75.7	栃木東	22	75.0	額部	6	78.6
天童第二	18	80.8	松山	10	83.7	東陽	16	70.0	安中第二	19	72.9
天童第三	19	76.5	*立川	13	71.4	北押原	8	99.8	*赤城南	10	78.1
中山	15	73.0	*藤島	16	71.9	*鹿沼西	29	87.0	大胡	14	91.6
*作谷沢	3	73.5	余目	24	91.1	鹿沼東	30	77.0	箕郷	15	74.9
中	3	77.6	三川	12	77.5	赤見	13	88.0	群馬中央	20	73.9
**月山沢	3	82.1	櫛引	12	71.5	佐野南	17	78.0	子持	17	70.2
宮宿	10	74.9	朝日	10	70.9	佐野北	19	76.4	小野上	5	71.9
西五百川	7	74.1	米沢第三	20	75.5	*日光	11	81.3	*吉井	15	70.9
西里	6	86.3	米沢第四	16	82.9	三島	12	74.5	多胡	3	72.3
溝延	6	85.3	南原	8	72.3	西那須野	17	76.8	下仁田東	20	72.2
七軒	4	74.7	赤湯	13	82.5	小川	12	75.4	月形	5	70.2
本郷	7	76.3	中川	4	92.3	*田沼東	19	86.1	長野原東	9	81.6
左沢	11	83.0	吉野	3	71.6	藤岡第一	19	71.9	高山	8	74.1
陵南	22	77.9	漆山	6	72.9	古里	13	70.3	大泉北	12	75.4
陵東	15	86.5	玉庭・東沢	3	80.8	<b>群馬県</b>			群馬大付属	15	77.1
白岩	7	85.7	**長井	20	79.7	前橋第二	15	77.6	<b>千葉県</b>		
白岩・畑	2	74.1	平野	5	81.1	前橋第三	24	73.1	八街中央	15	78.5
萩野	9	81.1	白鷹西	12	70.7	*前橋第五	21	70.6	多古	13	70.0
富沢	6	79.0	白鷹東	15	83.8	桂萱	17	81.7	葛飾	19	77.5
最上東	11	79.1	中津川	3	72.8	前橋東	15	77.6	<b>埼玉県</b>		
最上西	8	72.6	小国	13	72.5	木瀬	14	89.3	岸	24	95.4
及位	8	82.8	小国北部	3	76.2	荒砥	12	80.4	大原	22	90.5
安楽城	7	73.6	新庄	19	80.3	塚沢	22	78.1	白幡	21	85.1
大豊	7	75.5	玉庭	4	70.3	長野	7	75.8	南浦和	19	81.4



学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
芝東	21	92.3	*中央第一	11	76.5	生麦	21	75.0	東浦	28	78.9
幸並	13	90.5	港南	8	72.0	矢向	17	71.4	額田	11	76.7
仲町	16	89.6	朝日	9	71.2	中田	27	74.5	西尾東部	9	76.2
芝西	17	85.9	三河	6	70.5	豊田	21	80.6	寺津	9	75.8
川口南	12	85.3	城南	13	84.9	仲尾台	18	77.8	西尾	20	72.1
芝	29	76.3	牛込第一	18	80.0	横浜国大付属	10	74.7	鶴城	20	73.4
川口西	18	73.4	駒形	15	76.0	横浜			小原	6	83.6
元郷	25	72.3	今戸	16	71.5	老松	26	73.1	藤岡	9	85.5
新座	22	72.6	蔵前	15	83.6	白山	27	71.0	富山	3	88.1
大宮南	16	85.6	*台東	13	73.1	橘	10	72.3	田口	7	75.4
日進	32	85.2	目黒第八	15	73.3	片浦	4	75.7	津具	5	70.5
宮原	17	81.1	目黒第七	15	83.5	千代	15	80.1	千郷	10	78.6
馬室	7	71.2	目黒第六	16	81.6	城山	21	86.2	形原	19	71.1
北本東	13	78.9	目黒第四	16	70.9	大楠	10	85.0	塩津	9	90.6
北本	22	74.0	浮間	14	71.9	伊勢原	31	85.1			
川越第一	16	77.8	滝野川	17	80.5	山梨県			岐阜県		
所沢	25	88.5	**神谷	17	85.0	甲府南	32	87.5	白鳥	21	74.5
向陽	31	78.5	矢口	20	70.4	静岡県			石徹白	3	87.8
小手指	12	73.5	広尾	23	75.7	北郷	6	77.7	上之保	6	77.5
所沢東	18	73.0	中野第三	19	80.9	大井川	21	75.3	下有知	6	70.9
長若	3	92.6	大宮	15	72.5	蜷塚	20	78.8	高山	3	78.6
皆野	18	91.3	和泉	12	71.3	庄内	17	86.0	付知	10	70.1
大滝	6	78.6	砧	36	76.6	南陽	27	70.9	田瀬	3	79.1
秩父第一	30	87.3	松沢	20	89.1	新津	12	72.1	中野方	3	71.3
神川	14	77.5	真和	13	92.0	八幡	18	70.8	多治見	14	77.9
富士見	29	87.8	豊島第十	13	83.3	中部	22	83.0	小泉	17	82.6
荒川	25	78.0	志村第一	21	76.0	高台	24	84.2	瑞浪	14	70.8
吉岡	6	72.3	板橋第二	16	70.1	笠井	14	81.7	瑞陵	11	71.5
豊里	11	96.6	尾久八幡	18	81.2	清水第二	30	86.4	佐見	4	83.3
寄居	16	73.1	日暮里	9	75.2	清水第五	21	86.7	黒川	6	72.1
昭和	20	98.5	荒川第二	12	84.0	清水第六	27	85.7	東白川	7	77.3
加須北	9	98.2	荒川第七	10	73.0	清水第七	28	81.1	共和	10	71.2
加須東	10	87.2	荒川第十	11	80.9	袖師	16	92.3	下呂	17	72.1
加須西	17	87.2	小松川第一	12	90.8	愛知県			萩原北	6	80.0
騎西	12	95.9	立川第三	18	70.6	今池	22	71.9	竹原	6	83.5
大利根	13	88.2	三鷹第三	24	76.5	城山	42	73.9	高富	16	71.5
*羽生	26	76.9	鈴ヶ森	12	72.3	千種台	27	71.4	精華	18	83.1
須賀	7	80.0	鶴川第二	14	70.0	黄金	20	78.2	梅林	25	73.1
栗橋西	7	71.2	神奈川県			白山	13	97.9	岐南	16	71.8
桜木	16	74.4	浦島丘	24	78.8	田光	15	81.1	笠松	21	77.5
東京都			大道	14	79.3	汐路	21	82.9	白川	3	73.1
*練成	17	87.0	西柴	20	70.8	津賀田	25	75.3	平瀬	3	78.0
麴町	27	76.8	**鶴見	16	91.5	一宮中部	24	82.2	古川	17	72.8
中央第三	18	74.8	末吉	27	81.1	七宝	15	90.4	河合	3	89.0
						常滑	21	81.8	*日枝	23	82.7

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
松倉	17	84.2	水原	3	88.4	高綱	13	80.8	*井波	14	73.6
中山	23	73.9	*川東	9	77.1	開成	13	82.1	福野	19	71.1
新潟県			巢本	6	78.5	王滝	4	85.4	庄川	10	70.9
関屋	29	80.7	橋田	5	80.4	伊那	22	77.4	*城端	13	87.7
*白新	17	77.5	茨曾根	3	83.4	*中川西	3	85.3	井口	3	82.0
*寄居	14	84.4	臼井	7	76.2	長谷	5	88.5	平	6	77.2
二葉	19	77.4	根岸	4	81.7	高陵	15	100	上平	3	81.7
舟栄	20	81.0	新道	6	84.0	伊賀良	10	82.7	若林	5	85.3
宮浦	30	80.1	京ヶ瀬	10	73.8	竜峡	9	99.7	津沢	7	71.1
東新潟	25	74.2	亀代	8	75.1	鼎	15	99.8	福光	17	82.0
石山	17	72.6	岩室	11	84.6	高森	13	98.3	*福岡	16	77.0
松浜	12	73.3	弥彦	9	79.7	壳木	3	100	富山大付属	12	87.7
坂井輪	29	79.2	地藏堂郷	16	87.7	七二会	7	86.9	石川県		
両川	7	89.6	吉田	25	75.5	長野西部	12	94.4	錦城	24	78.0
内野	16	75.4	峰岡	6	74.5	秋山	3	86.2	東和	9	76.0
*赤塚	7	76.2	黒埼	21	75.5	泰阜南	3	80.4	小松南部	19	81.1
中野小屋	6	71.1	中之口	9	70.4	富山県			丸内	24	76.9
木戸	26	70.9	津川	10	78.9	*飯野	8	79.9	西南部	16	79.5
小針	24	71.8	鹿瀬	4	70.9	魚津東部	20	73.3	泉	49	85.1
長岡東	20	82.5	三島	10	77.3	**滑川	23	74.0	高岡町	19	82.0
長岡南	26	73.6	入広瀬	5	75.1	上市	23	80.0	小将町	16	87.4
長岡北	15	71.7	仙田	3	78.6	雄山	23	75.0	福井県		
栖吉	7	71.1	白倉	3	89.7	舟橋	3	94.7	*気比	19	86.3
宮内	18	75.2	石黒	3	70.4	*富山北部	13	98.3	愛発	3	75.0
東北	24	79.2	小国	14	86.3	*富山東部	14	96.8	東浦	3	70.2
山本	7	79.4	小黒	3	83.5	堀川	27	95.0	西浦	3	82.8
岡南	6	73.4	菱里	6	87.2	*水橋	13	92.9	滋賀県		
城南	19	77.3	牧	9	80.3	山室	18	92.6	*彦根西	16	71.0
城西	20	90.4	沖見	3	73.5	岩瀬	18	90.5	稲枝	14	76.5
中ノ俣	3	73.9	源	3	100	新庄	24	89.9	長浜西	22	76.3
津有	9	84.5	三和	10	86.8	*奥田	30	87.3	*長浜南	10	73.2
高士	3	90.6	*名南	6	80.0	富山西部	12	85.9	長浜東	13	81.0
直江津	23	71.8	三面第二	3	81.2	芝園	23	85.0	長浜北	18	72.6
保倉	6	77.0	真野	10	70.7	**和合	13	81.0	水口	20	73.6
上越第二	13	76.6	塩沢・塩沢	12	77.4	三成	7	80.5	東草野	6	88.7
谷浜	5	94.7	猿橋	15	78.7	大泉	12	77.6	浅井	11	77.9
桑取	3	98.8	新発田東	14	72.7	富山南部	22	75.5	浅井東	4	83.7
**柏崎第一	15	72.7	川東	7	79.2	*呉羽	21	73.2	びわ	10	86.1
北鱒石	3	82.8	長野県			*月岡	7	74.0	和歌山県		
*米山	3	93.5	上田第一	22	70.0	射北	12	74.2	九度山	9	80.3
新津第二	12	83.7	上田第二	15	94.5	牧野	5	82.3	西和	40	71.3
金津	9	70.2	上田第三	20	94.3	高陵	22	78.5	*和歌山大付属	12	76.7
新井	28	75.3	川西	8	93.2	**志貴野	26	76.3	海南第三	17	79.6
新井南	9	74.4	松本ろう	3	88.0	氷見西部	10	73.0	下津第一	9	82.8

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
保田	6	77.0	城陽	33	93.8	赤坂	9	80.6	八東北	9	73.2
城山	3	75.2	緑	27	75.7	広島県			八雲	7	71.8
中芳養	3	79.8	東三国	23	82.1	似島学園	6	71.8	海潮	6	79.5
太田	3	72.6	大阪教大付属	9	85.9	己斐	15	75.7	出雲第一	27	86.5
三里	6	75.0	平野	7	92.6	廿日市	11	87.7	出雲第二	24	72.1
奈良県			羽曳野	7	92.6	大野	14	75.0	出雲第三	14	74.6
高取	10	73.5	能勢東	8	77.9	能美	10	85.4	出雲第四	7	76.9
京都府			豊中第三	44	78.2	*宮原	16	73.0	出雲第五	5	81.5
瑞穂	10	88.0	豊中第五	33	74.5	志和	9	83.6	河南	11	86.7
和知	10	72.0	新喜多	12	90.1	安芸	16	83.2	佐香	5	79.9
成和	10	74.7	兵庫県			船越	13	80.9	佐田	9	81.8
川口	6	81.1	**本山	37	83.3	海田	25	88.2	湖陵	9	72.3
**大江	10	88.9	御影	24	76.7	江田島	14	73.7	鵜鷺	3	82.1
加茂川	35	85.2	*烏帽子	17	76.3	切串	7	74.3	浜田第四	4	73.9
衣笠	31	87.2	長峰	23	72.5	三原第一	12	71.3	布施	3	83.7
雲ヶ畑	3	87.5	上野	26	84.4	三原第二	20	78.7	旭	4	82.6
小野郷	3	86.9	**生田	26	75.9	久保	15	80.9	益田	17	75.4
上京	18	77.9	楠	21	70.0	長江	14	70.0	山口県		
嘉楽	18	81.4	雲雀丘	22	86.4	吉和	17	72.0	桜田	6	88.0
柳池	6	84.7	西代	31	80.0	日比崎	10	72.2	住吉	17	85.8
初音	7	85.6	刈藻	25	80.7	向東	12	71.8	長穂	3	76.1
中京	15	76.5	*大橋	16	75.3	東野	7	78.1	須々万	4	74.1
梅逕	11	84.7	鷹取	28	87.5	御調	13	73.3	周陽	9	72.9
七条	20	85.8	飛松	36	87.1	*世羅西	7	78.2	鼓南	3	93.1
下鴨	23	92.2	高倉	21	79.1	*城北	35	75.4	太華	17	71.8
*洛北	13	72.0	垂水	46	71.7	城東	15	73.0	小野	5	83.0
花背第二	3	87.0	歌敷山	36	85.7	幸千	13	86.1	東岐波	9	88.5
堰源	3	96.9	神陵台	23	77.0	向丘	14	72.0	上宇部	28	75.3
洛東	20	78.8	伊丹南	32	70.1	柄	13	86.2	神原	19	83.9
*山科	31	76.8	*伊丹東	23	71.5	走島	4	72.1	藤山	19	72.7
花山	23	79.6	三田学園	15	70.3	鳳	23	73.8	文洋	29	73.1
安祥寺	15	72.1	*大久保	37	72.9	**大成館	20	75.7	通津	6	77.0
嵯峨	21	80.0	望海	39	71.5	*松永	14	73.1	川下	23	75.4
四条	40	90.8	加古川	34	71.6	*芦田	10	78.7	岩国	24	70.0
桂	54	77.7	岡山県			府中第三	10	71.6	徳島県		
高雄	3	79.7	湯野	3	97.9	常金	7	71.0	福井	4	78.7
大阪府			成羽	10	97.8	吉舎	10	77.4	香川県		
東	22	87.1	金浦	13	97.1	加茂	10	76.5	桜町	42	75.5
*高津	16	90.7	神島外	4	78.6	五日市	37	71.1	山田	16	82.9
**夕陽丘	17	86.7	北木	6	70.7	山野	3	72.2	丸亀東	26	89.0
阿倍野	20	94.8	藤田	9	94.7	島根県			丸亀西	30	81.0
高倉	26	91.5	吉永	13	90.5	松江第三	26	80.8	*善通寺西	17	86.5
相生	24	88.4	西大寺	25	88.4	大野	4	86.8	観音寺中部	21	95.7
新生野	11	83.9	御北	7	84.3	安来第一	17	76.3	伊吹	4	81.6
			八浜	6	82.1						

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
観音寺	17	98.2	福岡県			日田北部	13	79.0	松陵	9	75.3
天王	9	100	飯塚第一	24	94.1	熊本県			竜北	13	84.8
白鳥	16	90.5	鎮西	8	83.2	*出水	38	92.4	東陽	6	95.0
*大川第一	10	90.7	小呂	2	86.1	白川	27	83.8	*湯出	3	72.7
志度	10	95.1	舞鶴	19	80.8	藤園	18	94.5	*坂瀬川	6	91.6
志度東	11	95.0	比良松	16	79.9	花陵	27	72.5	熊大付属	12	84.6
大川	19	70.8	良山	21	86.0	江原	14	90.1	県立もう	7	79.9
津田	13	79.1	柳城	18	82.8	桜山	16	87.1	天草ろう	3	71.0
牟礼	12	99.7	福岡教大付属	9	92.0	*湖東	20	85.3	若草養護	3	76.9
**三木	24	94.8	小倉	26	82.0	帯山	50	75.7	芳野	6	88.2
大部	4	96.0	志徳	15	77.9	*錦ヶ丘	24	83.1	宮崎県		
土庄	21	78.2	天籟	18	83.2	熊本東部	11	70.6	西岳	8	80.8
**池田	10	83.2	中原	15	84.3	河内	9	84.8	都井	6	74.1
塩江	9	81.6	大谷	21	74.0	玉南	9	77.4	恒富	15	73.9
香川	8	81.8	花尾	15	85.1	菊水	12	77.0	長崎県		
**香川第一	15	100	水巻南			南関北	10	76.6	桜馬場	32	75.0
綾南	14	77.0	大分県			南関南	12	76.8	岩屋	22	86.9
飯山	10	75.2	青山	28	73.2	鹿北	11	71.1	長大付属	15	74.8
国分寺	13	81.6	別府中部	21	70.2	菊池北	15	80.8	山澄	17	81.7
高見	3	100	東山	3	79.4	*菊池南	20	76.8	旭	16	84.4
和光	6	74.6	河内	3	78.0	泗水	13	87.5	清水	23	91.5
豊浜	13	98.0	田染	6	73.7	菊陽	16	72.7	*愛宕	15	71.4
栗島	3	88.7	昭和	9	75.5	産山	6	76.6	花園	16	75.6
詫間	17	78.0	大野北部	3	86.0	西原	10	70.0	福石	33	71.0
仁尾	11	85.4	坂ノ市	15	73.9	滝水	3	72.9	三会	9	98.9
高瀬	18	79.3	*賀来	8	83.8	名連川	4	71.1	島原第三	10	75.3
*三野津	10	80.6	明野	12	79.9	八代第五	10	81.2	島原第一	24	83.7
豊中	14	90.4	王子	36	83.9	八代第六	9	85.3	小浜	17	93.0
長尾	13	97.1	上野ヶ丘	28	81.9	*八代第七	9	76.0	北串	6	76.3
高知県			**碩田	24	86.5	八代第八	7	80.6	玖島	26	74.2
城北	18	84.7	日田南部	15	100	日奈久	9	75.3	諫早	24	71.8
朝倉	13	81.4	三隈	20	85.7	二見	6	74.7	久田	3	70.1
			日田東部	23	75.8						



# 中学校 50 % 以上

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	
北海道			日新	15	66.5	山方	17	53.3	前橋第四	15	58.5	
蘭東	16	50.5	瀬見	3	67.4	中里	6	53.7	前橋第六	12	62.3	
港北	21	60.1	大蔵	10	53.8	佐野	13	55.3	芳賀	8	62.0	
北辰	22	61.3	沼台	3	61.2	有明	10	55.6	南橘	19	69.6	
御前水	12	53.6	金山	12	66.2	日高	15	56.4	高崎第二	16	66.8	
港南	18	59.6	真室川	9	64.2	大島	14	56.8	高崎第四	17	68.5	
成徳	16	59.4	大泉	6	60.7	坂本	8	56.8	*高崎第五	15	66.9	
青森県			上郷	6	51.9	那珂第一	16	57.4	高崎第六	17	66.8	
*八戸第一	21	68.0	大山	11	62.9	泉丘	26	57.5	倉賀野	11	60.3	
*八戸第二	19	64.6	鶴岡第三	31	66.2	磯原	19	57.9	桐生東	15	58.6	
長者	18	53.2	福栄	3	59.0	勝田第二	19	58.4	桐生西	16	63.4	
下長	12	64.6	山戸	3	51.8	茨城キリスト 教学園	4	59.0	昭和	9	52.2	
三条	13	60.0	酒田第一	22	69.2	本山	4	59.2	広沢	12	54.2	
豊崎	5	68.4	酒田第三	18	63.0	下館	26	60.1	伊勢崎第一	25	67.4	
大館	18	61.4	酒田第四	15	59.8	桜	11	60.6	*太田北	16	62.6	
岩手県			鳥海	9	52.6	東海	24	60.6	太田東	12	57.9	
紫波第三	9	50.0	羽黒	16	62.3	新治	10	61.2	太田南	14	57.7	
川井	7	50.4	三沢東部	3	62.0	柿岡	14	61.2	強戸	9	51.1	
秋田県			上郷	6	60.7	那珂湊	29	62.0	*宝泉	15	60.9	
大潟	3	59.4	大塚	6	65.0	阿字ヶ浦	5	63.7	安中第一	24	69.0	
宮城県			中郡	7	58.9	大久保	18	64.0	沼田	27	57.9	
八軒	26	64.1	屋代	7	63.3	赤塚	13	64.9	渋川	19	65.3	
山形県			高島第一	12	66.7	岩瀬西	19	66.3	渋川北	19	67.4	
山形第二	24	67.7	糠野目	6	51.5	平磯	14	67.3	川場	7	67.9	
山形第四	25	68.3	小玉川	3	54.3	常北	14	68.6	北橘	13	50.0	
山形第六	24	69.9	足中	2	55.0	平沢	14	69.3	富士見	18	60.7	
蔵王第二	3	58.7	西根	7	68.8	栃木県			新里	14	53.4	
山寺	3	60.9	吉島	7	64.3		陽西	29	68.6	倉淵	10	61.5
高楯	10	56.3	三沢西部・入田沢3	68.5	旭		24	60.2	伊香保	6	68.8	
上山北	18	62.2	宮内	15	65.8		一条	29	60.5	榛東	11	63.1
上山南	18	62.7	米沢第二	17	54.2	陽南	23	52.0	万場	8	67.9	
山辺	16	65.9	高畑第三	10	62.3	小山第二	22	67.4	妙義	6	52.2	
高松	8	69.3	米沢第五	13	64.6	間々田	22	59.6	下仁田西	6	61.0	
大井沢	3	58.2	茨城県			豊田	9	56.5	中之条第一	13	63.7	
西川西部	7	50.6	鉾田北	12	51.0	葛生	16	67.7	中之条第五	5	56.0	
西川東部	10	54.2	河原子	12	51.3	馬頭	19	63.8	東東	6	63.1	
大谷	6	50.3	緑岡	18	51.7	芳賀	21	63.0	婦恋西	10	59.8	
大高根	6	57.0	勝田第一	20	52.4	群馬県			草津	10	53.6	
八向	6	52.9	千代川	12	52.8		前橋第一	29	65.8	入山	3	57.2
			金砂郷南	10	53.2							
			太田	15	53.2							

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
六合	3	69.1	青山	19	66.5	狛江第一	24	61.0	桜井	13	55.7
太田	6	55.6	落合	12	51.3	東大和第三	16	60.0	安城西	14	62.0
岩島	7	69.1	四谷第一	15	64.3	拝島	20	58.2	明祥	9	65.2
藤原	3	50.1	牛込第二	16	60.0	小河内	3	61.6	安城北	33	60.7
玉村	16	63.3	御徒町	15	53.0	東愛宕	7	61.6	福地	9	62.4
世良田	6	58.1	寺島	21	68.7	神奈川県			平坂	21	63.7
木崎	9	57.1	両国	21	69.2	錦台	22	66.1	吉良	22	65.8
生品	10	54.6	墨田	15	66.6	大綱	26	68.0	東栄	9	67.0
綿打	9	67.3	荏原第五	19	53.8	新田	25	59.1	稲武	7	61.1
笠懸	13	64.9	目黒第十一	12	69.7	市場	21	66.6	岐阜県		
明和	11	54.6	目黒第十	18	63.1	寛政	14	65.0	明方	6	64.5
大泉南	13	63.9	目黒第九	16	60.3	*平楽	21	62.7	八幡	19	64.0
邑楽	17	62.0	目黒第二	11	60.2	鴨宮	18	52.6	和良	6	62.0
千葉県			粕谷	21	54.9	城南	10	55.7	高鷲	6	63.0
前原	22	67.5	大森第十	15	58.4	酒匂	14	64.6	大和	12	63.0
高根	16	64.0	*中野第九	21	66.0	泉	30	66.7	武儀	10	67.9
船橋	24	52.3	中野第二	17	66.8	国府津	9	68.7	昭和	5	67.4
鋸南第二	11	69.7	中野第一	17	62.0	白鷗	15	69.0	美濃	19	68.1
市川第二	21	57.4	中野富士見	15	62.1	太洋	13	55.6	旭ヶ丘	24	67.0
南総	22	63.4	中野第四	18	66.0	泰野北	7	55.3	富野	3	58.7
富士見	14	65.0	瀬田	19	61.8	静岡県			明智	10	61.0
旭第二	27	64.0	豊玉	13	60.0	神久呂	10	63.4	福岡	7	66.8
六実	12	55.4	石神井南	22	68.3	浜松東部	19	66.9	釜戸	6	54.5
八日市場第二	23	58.6	西台	20	59.2	入野	11	60.6	久田見	6	68.6
光	15	54.2	板橋第五	13	69.3	丸塚	17	61.1	*川辺中部	14	61.0
大須賀	7	50.8	赤羽	19	62.7	浜松南部	31	62.6	白川	13	63.9
一の宮	12	50.9	岩淵	18	61.0	愛知県			美濃北	9	60.0
八日市場第一	14	51.4	荒川第一	18	52.6	振甫	24	54.5	阿木	5	63.5
埼玉県			荒川第四	16	68.0	天神山	28	69.3	中津川第二	19	57.3
与野南	18	69.4	荒川第五	12	57.8	笹島	9	56.5	坂本	11	55.0
鴻巣北	15	67.4	荒川第六	14	67.2	沢上	15	67.9	蘇原	18	67.9
箕田	5	60.3	南千住	6	67.1	山王	23	64.5	那加	27	66.8
鴻巣	25	59.4	**尾竹橋	12	67.8	*一柳	28	63.6	*岐阜北	18	54.3
吹上	18	61.0	瑞江第三	19	55.5	南光	23	54.1	伊奈波	35	61.4
桶川	17	66.2	瑞江	19	58.5	東港	33	56.8	長森	33	56.0
高階	24	65.7	薬師	12	63.0	南山	28	55.9	藍川	19	64.3
南高麗	5	68.5	南	35	62.0	幡山	9	57.6	境川	18	64.0
川角	9	64.1	町田第三	28	64.6	岩津	18	65.6	中島	8	65.0
大原	19	52.6	武蔵野第三	21	68.1	香山	3	66.2	竹鼻	30	60.8
男衾	7	63.5	三鷹第一	28	57.6	城北	18	60.6	羽島	16	62.6
八潮	27	50.3	三鷹第五	22	63.2	一色	25	57.5	朝日	7	69.0
東京都			東村山第三	21	62.8	佐久島	3	53.3	宮	4	62.9
中央第四	21	56.0	東村山第五	21	69.1	碧南南	28	63.4	向陽	14	56.0
中央第二	12	60.8	調布	23	64.6	高浜	41	54.8	山田	3	61.0

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
神岡	19	62.0	大和	19	60.3	庄西	6	63.0	向日ガ丘養護	14	63.4
漆山	3	61.8	浦田	3	69.9	般若	9	52.0	大阪府		
栃洞	4	62.0	吉川	8	62.3	岩尾滝	3	64.6	東雲	8	66.7
大八	6	67.0	関谷	10	67.0	石動	21	56.0	茨木東	31	69.8
糸貫	10	66.0	山北南	9	54.0	蟹谷	6	54.4	兵庫県		
真正	9	54.2	高千	6	52.5	吉江	12	54.8	**本庄	29	68.3
穂積	18	58.8	金泉	5	57.0	石川県			鷹匠	33	69.3
本巢	7	50.0	寺泊	12	65.3	東浅川	3	54.7	布引	27	57.9
中津川第一	15	59.0	長野県			野田	41	67.9	神戸	10	62.1
新潟県			駒ヶ根東	9	67.1	瀧南	6	63.8	夢野	26	63.0
山ノ下	20	69.5	下条	7	67.6	*能都	15	62.1	兵庫	23	51.3
大江山	7	55.5	大河原	3	58.5	福井県			吉田	22	55.2
*藤見	26	68.6	富山県			角鹿	12	64.3	有馬	21	66.1
関原	7	67.5	上青	6	65.0	滋賀県			桜の宮	6	55.9
長岡西	18	69.5	黒部	7	66.0	彦根東	27	65.6	淡河	6	62.2
三条第一	26	53.3	鷹施	10	63.6	*彦根南	31	66.0	舞子	27	69.0
三条第三	19	53.6	*高志野	11	60.8	貴生川	6	58.0	神出	10	67.0
*柏崎第二	13	60.9	魚津西部	32	69.3	土山	12	64.9	岩岡	6	55.6
中通	5	61.6	早月	11	61.4	甲賀	13	60.0	羽束	5	69.7
新津第一	20	63.0	大久保	11	58.2	甲南	12	53.7	長坂	11	55.1
新津第三	3	57.7	大沢野	14	54.4	大東	11	64.7	八景	20	67.5
新津第五	17	59.1	上滝	15	53.4	杉野	3	63.1	天王寺川	26	64.2
千田	6	66.4	八尾	21	66.1	今津	13	66.9	*伊丹北	22	56.4
真人	5	62.2	杉原	6	65.3	和歌山県			伊丹西	34	60.8
上北谷	5	57.2	音川	3	65.4	橋本中央	14	68.2	*朝霧	21	63.7
今町	9	57.8	*速星	16	68.0	打田	14	65.0	錦城	12	57.0
村上第一	24	69.0	楡原	7	67.4	鞆淵	3	60.0	岡山県		
糸魚川	21	53.6	*小杉	22	64.1	河北	27	64.3	六島	2	67.9
白根	18	66.1	大門	20	59.5	河西	25	68.9	日比	18	66.0
新飯田	3	65.6	新湊中部	12	69.1	河南	8	53.6	広島県		
葛塚	22	51.7	新湊南部	10	67.3	東海南	14	64.8	祇園	24	68.2
岡方	8	60.4	新湊東部	13	62.0	湯浅	17	62.7	砂谷	4	52.1
長浦	7	58.5	新湊西部	10	61.3	八幡	6	67.4	三高	6	63.7
中浦	11	62.3	戸出	12	69.9	湯川	6	60.7	沖	6	60.3
聖籠	11	61.4	南星	23	69.4	早蘇	3	50.3	大柿	12	54.8
紫雲寺	13	58.5	高岡西部	25	68.6	船着	3	50.8	和庄	24	69.9
黒川	4	52.6	伏木	24	65.0	川中	3	60.4	八本松	13	50.5
加治	11	67.3	五位	10	60.0	新庄	6	59.8	*倉橋東	6	63.0
愛宕	17	54.2	芳野	16	58.4	大島	4	57.0	豊北	7	64.3
国上	6	68.0	五位・西広谷	3	60.0	緑丘	20	63.6	美土里	9	58.1
曾郷	10	67.4	氷見南部	15	63.7	四村川	3	67.5	忠海	11	64.8
味方	7	62.3	氷見北部	25	56.2	*笠田	17	61.2	竹原	21	59.5
上川	9	56.6	西条	9	52.7	京都府			高西	7	59.2
大河津	7	59.4	*出町	23	69.0	*銅駝	6	67.5	三庄	13	58.1

学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %	学校名	学級数	処置率 %
重井	6	55.5	福岡県			大豊	8	57.3	宮崎県		
木江	4	64.5	稲築東	16	57.8	玉陵	13	57.8	内山	3	65.1
甲山	13	66.2	諏訪	28	65.2	腹栄	11	54.9	浦城	3	60.6
大田	7	50.0	白光	22	69.0	横島	11	57.4	小川	3	60.3
*福山東	28	56.4	勝立	13	51.3	玉東	10	56.3	新田	7	60.2
鷹取	21	66.2	東谷	10	62.9	鶴城	7	67.7	岩戸	9	59.5
済美	12	57.5	曾根	24	65.7	鹿本	13	64.4	北郷	6	58.7
府中第二	24	68.7	霧丘	33	63.5	米野岳	14	69.2	西郷	10	57.6
至誠	9	69.1	戸畑	12	65.0	菊阿	3	64.8	飯野	17	52.3
三次	14	65.0	沢見	11	60.1	西合志	13	66.6	妻ヶ丘	18	50.7
十日市	17	65.8	枝光	12	58.0	小国	16	64.3	紙屋	6	50.0
飛渡瀬	3	67.5	大分県			馬見原	6	54.0	長崎県		
島根県			河内	4	56.0	阿蘇	13	55.7	山里	13	65.4
松江第一	25	58.5	野上	8	57.8	益城	13	61.5	梅香崎	28	63.2
安来第三	10	63.0	一尺屋	6	59.2	袴野	3	59.2	戸町	24	50.8
島根	4	60.8	宇佐北部	13	60.8	八代第二	26	68.5	長崎	18	55.3
野波	4	63.6	山ノ手	22	62.4	八代第三	16	60.5	柚木	8	66.7
大田第三	5	59.5	*別府北部	25	51.4	木山	14	61.4	早岐	21	68.2
*平田	20	68.4	浜脇	12	69.0	鏡	27	69.8	光海	11	67.5
三刀屋	15	58.6	*朝日	15	54.4	上松	3	65.4	宮	6	50.7
斐川東	17	69.1	祖峰	9	57.4	袋	6	67.3	東明	9	56.8
斐川西	17	67.4	直入	8	66.9	*葛渡	3	65.2	日宇	28	58.6
大社	22	67.3	大在	10	54.7	佐敷	15	50.0	国見	20	64.5
浜田第二	17	61.9	植田	25	60.5	大野	6	53.5	瑞穂	12	64.7
江津	16	62.3	*判田	6	66.4	吉尾	7	61.1	有明	19	55.5
松平	3	68.0	竹中	4	57.4	湯浦	11	65.2	加津佐	17	63.5
青山	10	60.0	戸次	9	56.1	人吉第四	3	56.6	島原第二	20	62.4
くろみ養護	6	57.5	大東	18	55.1	槻木	3	53.4	郡	19	69.8
安田	4	62.7	*鶴崎	20	60.6	岡原	6	54.3	西大村	24	69.7
横田	7	58.5	*城東	33	63.6	五木第二	3	63.8	有喜	9	50.3
山口県			滝尾	14	61.7	一勝地	7	54.7	大島西	4	56.1
岐陽	27	60.9	南大分	31	57.2	神瀬	3	66.4	江迎	12	52.1
須金	3	57.1	安岐	19	55.1	高沢	3	55.0	佐々	14	50.2
中須	3	64.5	津久見第一	16	61.0	亀川	9	64.0	田平	15	52.0
日新	26	67.6	熊本県			天附	7	68.5	御厨	15	50.6
徳島県			託麻	13	69.4	大矢野	29	54.6	志佐	13	50.8
瀬戸	7	63.7	鶴城	23	52.7	阿村	3	50.4	雲仙	3	50.9
香川県			住吉	10	63.4	栖本	6	60.5	佐須奈	3	52.4
坂出	17	58.5	青海	8	68.1	福連木	3	63.3	南有馬	12	65.2
琴南	7	59.2	松橋	23	55.7	黒石原養護	18	69.2			
大野原	16	69.6	玉名	26	58.5						



## 編集後記

京都大会は地元のご苦勞がみのり盛況裡に終了した。次号第29号が京都大会号となり、それをもって49年度の会誌完了と相成る。加盟団体だよりで賑々しく現場活動が報告され、会員諸氏の研究や感想および生々しい資料を提供されている。たとえば、佐世保市立港小の洗口場の設計図などすぐ役立つであろう。

文部省の学習指導要領全面的改訂の趣旨伝達のこともあって、昭和46年、青森、熊本を皮切りに始まった文部省、日学歯共催の学校歯科保健講習会は、5カ年計画で好調の中に進められ、この昭和50年で早くも一巡し終わることになる。今回は長野（東日本）長崎（西日本）の2会場で熱のこもった講習会が持たれた。その各講師の講義などの内容は詳細に登載されている。

近年、わが国の歯は、その数が余りにも大き過ぎ、すでに暴風圏内に入った姿である。このむし歯の山を医療によって扱いきれぬまでの大きさに予防するのが、何よりも先決である。昨今、高まっている歯科医療不信やトラブルの源泉は正にここにある。ここで、強力な学校教育の力を借りたい。昨春、第56回歯科医師国家試験口腔衛生学の問題に、“学校歯科保健の目標について述べよ”が出題されている。学校歯科への期待は大きい。会員各位の一層のご活躍をお願い申し上げる。

＜栃原＞

### 日本学校歯科医会会誌 第28号

印刷	昭和50年 1 月20日
発行	昭和50年 1 月31日
発行人	東京都千代田区九段北4-1-20 (日本歯科医師会内) 日本学校歯科医会 栃原義人
編集委員	丹羽輝男・榊原悠紀田郎 山田茂・本村静一
印刷所	東京都新宿区下落合2-4-12 一世印刷株式会社